

平成 29 年度
教員の養成・採用・研修の
一体的改革推進事業

委託事業成果報告書

平成 30 年 3 月 30 日

特定非営利活動法人 TOSS

様式第 10（無断複製等禁止の標示）

本報告書は、文部科学省の初等中等教育等振興事業委託費による委託事業として、特定非営利活動法人T O S Sが実施した平成29年度「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」の成果を取りまとめたものです。

したがって、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続が必要です。

平成 29 年度

教員の養成・採用・研修の 一体的改革推進事業

報告書

特定非営利活動法人 TOSS

目次

はじめに	3
第1章 事業の概要	4
1. 実施テーマ	4
2. 実施体制	4
3. 課題認識(現状の取組)	4
4. 調査研究の目的	4
5. 調査研究の成果目標	5
6. 調査研究の具体的な内容・取組方法	5
7. 研究の限界	5
第2章 英語必修化に伴う3・4年生向けカリキュラム・教材・指導案、及び研修事業	6
1. 中学年の年間カリキュラムの作成	6
2. ALTとの役割分担のある指導案やモジュールの指導案(年間 35 時間)の作成	10
3. フラッシュカード・ICT 等の各種教材の開発と効果検証	21
4. 児童が話せるようになる外国語活動の研修会開催と効果検証	25
5. 文部科学省が示す 700 語程度の単語の習得計画とアルファベット習得のためのカリキュラム	48
6. 児童と教員の指導力への効果検証	60
第3章 総括	71
第4章 Appendix	73
1. 年間カリキュラム(3 年生)	
2. 年間カリキュラム(4 年生)	
3. 指導案(3 年生)	
4. 指導案(4 年生)	
5. 教材(3 年生)	
6. 教材(4 年生)	
7. ICT 教材 ※電子媒体にて別添	

はじめに

平成23年度から5・6年外国語活動が必修化され、各校で取り組みがなされてきた。しかし、現状の日本の英語力は世界からかなり遅れをとった状態にあり、さらに下落している傾向にある。アジア圏でもほとんどの調査で最下位であり、TOEFL(iBT)の国別ランキングでも **Speaking Section** は世界最下層に位置している。今後、子ども達が生きていくグローバル社会に向けて、こうした低迷したままの英語によるコミュニケーション能力を、より高めるための方策が求められる。それには、文字中心の読み書きを重視した指導から、新学習指導要領案にあるような、聞くこと、話すことの「やり取り」や、話すことの「発表」等を重視した指導法へと切り替える必要がある。その効果的なカリキュラムのあり方、ICTを活用した各種の教材開発、教員の指導力向上のための研修のあり方の研究が急務である。

特定非営利活動法人 TOSS(以下、「TOSS」)は、授業・教育にすぐに役立つ教育技術・指導法を開発し、集め、互いに追試し、検討しあって自らの授業技術を高め、そのような技術や方法を全国の教師の共有財産にしようと努める教師の研究団体として活動を続けてきた。代表の向山洋一が1983年に立ち上げた「教育技術の法則化運動」がその前身となっている。優れた教師が授業の技術を自分だけの「名人芸」にするのではなく、そして困っている教師が一人だけで苦しむのではなく、それぞれが持っている教育技術・方法を情報交換し、全国の教師の共有財産にしていこうと願い、数多くの教師がこの運動に参加してきた。

発足当初から次の4つの理念を掲げている。

- ① 教育技術はさまざまである。できるだけ多くの方法を取りあげる。(多様性の原理)
- ② 完成された教育技術は存在しない。常に検討・修正の対象とされる。(連続性の原理)
- ③ 主張は教材・発問・指示・留意点・結果を明示した記録を根拠とする。(実証性の原理)
- ④ 多くの技術から、自分の学級に適した方法を選択するのは教師自身である。(主体性の原理)

2000年に TOSS(Teachers' Organization of Skill Sharing)と名前を変えて再出発したが、この4つの理念は受け継がれている。

外国語指導法についての研究は、TOSSでは1990年代からスタートさせている。その当初から、とりわけ小学校での外国語活動では、音声でのやり取りを中心に積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地を養うことが重要であると考え、「口頭コミュニケーション」による「やり取り」の能力を大切にしてきた。

本調査研究では、そうしたこれまでの TOSS の外国語指導の取り組みの成果を生かしながら、新学習指導要領で求められている英語での児童のコミュニケーション能力を高めるためのより具体的な指導法と教師の研修のあり方を研究した。1年間の取り組みであるため、中学年を対象を絞り、「英語必修化に伴う3・4年生向けカリキュラム・教材・指導案、及び研修事業の開発」の研究課題の元に、効果的なカリキュラムのあり方、ICTを含めた各種の教材開発、そして教員の指導力を向上させるための研修のあり方等を具体的に研究し、アンケート調査や Web などを活用した各種の手法を通してその効果を検証した。

第1章 事業の概要

1. 実施テーマ

英語必修化に伴う3・4年生向けカリキュラム・教材・指導案、及び研修事業

2. 実施体制

所属部署・職名	氏名	役割分担
特定非営利活動法人 TOSS・理事長	向山 洋一	全体統括
玉川大学・教授	谷 和樹	実施にあたっての全体の事務・教材開発統括
特定非営利活動法人 TOSS・事務局	美崎 眞弓	会計実務
(株)騒人社・代表取締役	師尾喜代子	カリキュラム作成助言・教材開発
小笠原村教育委員会・指導主事	小平 秀朗	研修会実施実務
小笠原村立小笠原小学校・副校長	島村雄次郎	カリキュラム・教材検証実施実務

3. 課題認識（現状の取組）

平成23年度から5・6年外国語活動が必修化され、各校で取り組みがなされてきた。しかし、現状の日本の英語力は世界72カ国中35位で昨年よりも下落している。アジア圏でも10位(EF EPI 2016年度)、TOEFL(iBT)の国別ランキングでは2015年のSpeaking Sectionは世界最下位と、依然低迷したままである。

英語によるコミュニケーション能力をより高めるためには、文字中心の読み書きを重視した指導から、新学習指導要領案にあるような、聞くこと、話すことの「やり取り」や、話すことの「発表」等の指導法へと切り替える必要がある。その効果的なカリキュラムのあり方や、ICTを含めた各種の教材開発、そして、それらの教員の指導力向上のための研修のあり方の研究が急務であると考えられる。

4. 調査研究の目的

平成23年度から5・6年外国語活動が必修化され、各校で取り組みがなされてきたが、現状の日本の英語力は依然低迷したままである。英語によるコミュニケーション能力をより高めるためには、文字中心の読み書きを重視した指導から、新学習指導要領案にあるような、聞くこと、話すことの「やり取り」や、話すことの「発表」等を重視した指導法へと切り替える必要がある。

小学校での外国語活動では、導入の当初から音声でのやり取りを中心に外国語に慣れ親しませる活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地を養うことを目標として様々な活動を行うことが求められていたが、必ずしも児童の英語力が向上したとは言えない実態が続いている。

本調査研究では、こうした実態を打破し、児童の英語でのコミュニケーション能力を高めるための効果的なカリキュラムのあり方や、ICTを含めた各種の教材開発、そして教員の指導力を向上させるための研修のあり方を具体的に研究し、アンケート調査やWebなどを活用した各種の手法を通してその効果を検証することを目的とする。

5. 調査研究の成果目標

- ① 中学年の年間カリキュラムを作成する。
- ② ALTとの役割分担のある指導案やモジュールの指導案(年間35時間)を作成する。
- ③ フラッシュカード・ICT等の各種教材を開発し、その効果を検証する。
- ④ 児童が話せるようになる外国語活動の模範授業と理論を学ぶ研修会を開催し、その効果を検証する。
- ⑤ 文部科学省が示す700語程度の単語の習得計画とアルファベット習得のためのカリキュラムを作成する。
- ⑥ 上記の児童への効果と教員の指導力を検証するために、実施してのアンケート調査やWebなどによる各種の調査を実施する。

6. 調査研究の具体的な内容・取組方法

- ① 中学年の年間カリキュラムを作成する。平成28年11月に東京都教育委員会が作成した「第3・4学年外国語活動指導資料(試行版)」をもとに、よりコミュニケーション力を重視したものとする。
- ② ALTとの授業の役割分担のある指導案(年間35時間)を作成する。また、それに加えてモジュール(15分間を3回)を含めた年間35時間の指導案も作成する。
- ③ 授業で使えるフラッシュカード、カルタ、ワークシートなどの各種教材を開発する。また、PCがつながっていればすぐに授業で使えるICT教材も別途開発する。
- ④ 児童が実際に話せるようになる外国語活動の授業の理論を含めた研修会を開催する。また、講師を招いての外国語活動の模範授業を実施し、フラッシュカード等の教材の有効な使い方、ICT機器の効果的な使い方を研修することで、すべての教員が担任主導の英語の授業ができる技術を身に付ける。
- ⑤ 文部科学省が示す、身に付ける700語程度の単語の精選と習得計画を作成しする。また、アルファベット習得のためのカリキュラムを作成し、帯時間(モジュール等)での学習計画を立案、実施する。いずれも、3～6年生での授業に配分できるよう組み立てる。
- ⑥ 上記の児童への効果と教員の指導力を検証するために、本委託事業を実施してのアンケート調査やWebなどによる各種の調査を、外部機関の専門家をアドバイザーとして依頼し、実施する。

7. 研究の限界

各調査項目にて示す。

第2章 英語必修化に伴う3・4年生向けカリキュラム・教材・指導案、及び研修事業

1. 中学年の年間カリキュラムの作成

1-1. 取組概要

中学年の年間カリキュラム作成は平成29年6月初旬から、『外国語年間指導計画例〔素案〕』（平成29年1月30日小学校の新たな外国語教育における補助教材の検証及び新教材の開発に関する検討委員会第2回配布資料）をもとに行った。

上記をもとにした作成の主な流れを以下に明記する。

- ① 文部科学省素案の表から『表現例(児童の発話例)』を抜き出す。
- ② ダイアログ(対話)の形にする。
- ③ 会話がつながるように、関連したダイアログを増やし組み合わせる。
- ④ 児童の負担にならない程度にダイアログを増やす。
(例:3年生カリキュラム付け足したダイアログ 21)
- ⑤ 文部科学省素案の「目標」及び「指導語彙数(例)」を付け加える。
- ⑥ ダイアログを精選する。
(例:3年生カリキュラム 付け足すダイアログ 21→15→12 9削除)
- ⑦ アルファベットの単元は「帯学習」として取り上げるため、ユニット自体は3時間扱いとした。(3年生)
- ⑧ 連携先である小笠原村立小笠原小学校の実態に沿ったカリキュラムになるように、Unit10を「小笠原バージョン」とし、小笠原に訪れる外国人との会話を想定してユニットを増やす。
- ⑨ 3年生のカリキュラムと4年生のカリキュラムの整合性を図る。
- ⑩ 各ユニットの最終形を記載する。

※『外国語年間指導計画例〔案・暫定版〕』発表後は、暫定版に合わせてカリキュラムを再検討した。

新学習指導要領では、中学年から「聞くこと」「話すこと」を中心とした外国語活動を通じて外国語に慣れ親しみ、外国語学習への動機付けを高めた上で、高学年から発達段階に応じて段階的に「読むこと」、「書くこと」を含めた4技能を総合的・系統的に扱う教科学習を行うことが求められている。そのために、上記の作成過程では、より楽しく「聞くこと」「話すこと」ができるように、ダイアログ作成に当たった。

また、ユニットで学んだダイアログを次のユニットでも生かす「ダイアログのつながり」も重視した。以下に例を挙げる。

【3年 Unit7 This is for you. / カードを送ろう】

A: Do you have pets? B: No, I don't. (Unit3 で学習)

A: Do you want pets? B: Yes, I do. (Unit7 で学習)

A: What pet do you want? B: I want a dog. (Unit5 で学習)

A: Do you like dogs? B: Yes, I do. (Unit4 で学習)

A: Let's go to the pet shop! B: Yes, let's. (Unit5 で学習)

上記のように「ダイアログのつながり」を意識することは、以下の新学習指導要領にある「中学年の外国語活動の導入の要点」の「②内容構成」でも示されている。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進するため、学習過程を繰り返し経るような指導の改善・充実が図られる必要がある。

(新学習指導要領解説 外国語活動編 P.7)

「学習過程を繰り返し経る」ことで、子どもたちは英語が話せるようになり楽しくなると考え、カリキュラムを作成した。

1-2. 年間カリキュラム（3年）の作成

(1) 45 分の流れの確定

小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック(文部科学省)には以下記載に従い、ダイアログが決め、授業の 45 分の流れを確定させた。

1コマ(45分)の基本的な流れは、〈(例)挨拶→ウォームアップ／導入／復習→中心となる活動→振り返り→挨拶〉としている。まず、英語で挨拶し、外国語活動が始まる雰囲気をつくり、ウォームアップなどで緊張をほぐす。次に、中心となる活動へ移るが、1時間の活動においても、できれば聞く活動から、まねる活動、自ら発話する活動へと段階的に組み立てるとよい。

(小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック P.38)

右記は本カリキュラムにおける 45 分の組み立て例である。ポイントは授業の最後の『自ら発話する活動』に結びつくように、45 分を5分程度のパーツで考え、さらに「5 メインダイアログ指導」「6 会話をつなげる」という活動を 45 分内に組み込んだところにある。

5 組み立て例 <10時間目>

1 あいさつ

2 歌

3 自己紹介

4 復習

5 メインダイアログ指導

A: Do you like soccer?

B: Yes, I do. / No, I don't.

①単語練習(スポーツ)

②状況設定・繰り返し口頭練習

③アクティビティ!

6 会話をつなげる

A: How are you?

B: I'm fine.

A: Do you like baseball?

B: No, I don't. I don't like baseball.

A: Do you like soccer?

B: Yes, I do. I like soccer.

A+B: Let's play soccer!

7 アクティビティ2

8 単語練習(野菜)

図 2-1-1: 3年生カリキュラム 10 時間目 Unit4-1

(2) 三構成法

本カリキュラムでは、「5 メインダイアログ指導」に三構成法を取り入れる構成とした。三構成法とは向

山浩子氏が提唱された「状況設定付き聞き話す同時指導」のことであり、以下の3つの指導からなる(詳細後述:第2章2節)。

三構成法

- ① 単語練習
- ② 状況設定とダイアログの口頭練習
- ③ アクティビティ・ゲーム

さらに、本事業のカリキュラムは、勝敗のあるゲームより、会話そのものを楽しむ勝敗のないアクティビティを重視する構成としている。

(3) アクティビティ

本カリキュラムでは、「会話をつなげる」ことを重視している。このことは、例えば、前単元で学んだ会話を本単元の内容と絡めて、何度も「繰り返し話す」ことで定着を図るものである。この「繰り返す」ことについて、小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック(文部科学省)には以下のように記載されている。

意味のある言語活動を通して、児童に繰り返し体験的に理解させることが重要であり、「知識及び技能」は体験の結果として身に付くものであることに留意したい。

(小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック P.19)

三構成法で意味のある状況を提示し、繰り返し言語活動に取り組むことで、結果的に子どもたちが英語を話せるようになるカリキュラムとなっている。

1-3. 年間カリキュラム(3年)

巻末 Appendix 参照。

1-4. 年間カリキュラム(4年)の作成

(1) 各単元の最終形を明確にする

各単元の出口における言語活動を「最終形」として、指導内容を明確化した。

時数	新出		主な既習	最終形
	文科省(暫定版より)	追加		
3時間目	How's the weather? It's sunny/rainy/cloudy/snowy.			
4時間目	Let's (play cards) Yes, lets. / Sorry. Stand up / Sit down. / Stop. / Walk / Jump / Run.			
5時間目		Do you like to play tag? Yes, I do. / No, I don't.		
6時間目				

図 2-1-2: Unit2 ダイアログ例

表にあるような「最終形」を話すことができるようになるために、各単位時間にメインとなるダイアログを位置付けた。

(2) 新出と既習をつなぐ

「最終形」では、ある場面を設定して、必然性のあるやり取りを長くさせたい。そこで、第3学年や前時まで学習した内容を「主な既習」として位置付け、新出とつなぎながら一単位時間の終盤に、ある場面を設定して「会話をつなぐ」活動を位置付け、長いやり取りができるように組み立てた。

(3) 状況を伴った場面設定

ダイアログを効果的に習熟させるために「三構成法」(詳細後述:第2章2節)で指導をする。中でも、第二段階の「状況設定」と第三段階の「アクティビティ」では、具体的な会話場面を設定する。これは、状況の中でのやりとりを聞いたり、話したりをすることで、エピソードとしてダイアログを記憶することができるからである。

(4) 学習内容を繰り返し指導し定着を図る

「最終形」となる複数のダイアログを活用して、やりとりをするためには、学習内容の定着が必要となる。この点について、「小学校学習指導要領解説 外国語編」の「指導計画の作成上の配慮事項」には、次のように記されている。

ウ 実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動を行う際は、2の(1)に示す言語材料について理解したり練習したりするための指導を必要に応じて行うこと。また、第3学年及び第4学年において第4章外国語活動を履修する際に扱った簡単な語句や基本的な表現などの学習内容を繰り返し指導し定着を図ること。

(小学校学習指導要領解説 外国語編 P.61)

よって、本カリキュラムでは、学習した内容をその場限りとするのではなく、単元を通して繰り返し指導することで、学習内容の定着を図った。そのために、一単位時間の展開の中に復習の時間を設定し、既習の学習内容を繰り返し使用できるように学習過程を工夫した。

1-5. 年間カリキュラム (4年)

巻末の Appendix 参照。

2. ALT との役割分担のある指導案やモジュールの指導案（年間 35 時間）の作成

1-1. 取組概要

文部科学省の暫定年間指導計画(2017 年 7 月)をもとに単元計画の作成し、表現に慣れ親しませるための教材の方向性について決定した。

「第 2 章 1. 中学年の年間カリキュラムの作成」で作成されたカリキュラムをもとに、ALT と打ち合わせができる指導案となるよう配慮し、担任が主導で行えるよう、準備物、既出表現を明確にした。

(1) 指導案の特徴

本指導案の具体的な特徴は、以下の通りである。

- ① 授業は、三構成法(1. 単語練習、2. 状況設定とダイアログ練習、3. アクティビティ)で組み立て、必然性のある場面を設定し、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力の育成を図った。
- ② 既習事項を組み合わせて長く会話が続くようにし(Long talk: 会話をつなげる)、繰り返し使わせることで「コミュニケーションで活用できる力」を育むことを図った。
- ③ 授業で使用するクラスルームイングリッシュについて、シンプルな言葉を精選し、HRT(担任)がT1として英語で授業を進められるようにした。
- ④ 英訳を付け、ALT に見せるだけですぐに授業ができるようにした。
- ⑤ Unit10「ようこそ小笠原へ」では、児童が、自分の住んでいる地域への理解を深め、その特徴や良さについて発信することができるよう図った。

4年生では、さらに、3年生での既習事項を組み合わせ、「コミュニケーションで活用できる力」の更なる育成を図った。

(2) 背景となる理論

向山浩子氏が提唱する「三構成法」に従い構成した。三構成法とは、以下の 3 つの指導からなる「状況設定付き聞く話す同時指導法」である。

①単語練習

フラッシュカードや ICT 教材を使ってイラストを見せながら、英語を聞かせてインプットする。聞いてインプットした英語を真似して言わせる。

②状況設定・ダイアログ練習

どのような場面で話されているのか、という場面、状況を明確にした上で教師の会話(ダイアログ)を聞かせ、意味をつかませてから、くり返し口頭練習をする。

③アクティビティ・ゲーム

ゲーム性のある楽しい活動の他、状況を明確にしたやりとりができるアクティビティを行うことで、表現の定着を図るとともに、ゲームそのものではなく、コミュニケーションを楽しむ。

(3) 三構成法を取り入れた外国語・外国語活動の授業の実践

三構成法の効果を検証するために、事前に実践者を募り試行した。小学校の教員(担任)数名の感想を以下に示す。

- 単語練習を授業の最初にやることで、子どもたちを一気に巻き込み、授業モードにさせることができる。
- 単語とイラストが一致しており、簡単な言葉を繰り返す、というわかりやすい活動であるため、発達障がいの子どもたちも、やるべきことが明確で、集中しやすい。
- 単語練習のやり方を工夫すると、短時間で繰り返し練習できる。カードのめくり方を工夫することで、飽きずに取り組んでいる。男女、列対抗、列指名など多様な方法があり、繰り返し楽しく練習できる。
- 状況設定は、しっかりと行えば、日本語を使わなくても、児童が本時に何をすればよいのかがわかるので、取り組みやすい。日本語で伝えるとくどくなるので、めあてを日本語で言うより効果的だと思う。
- ほしいものを伝え合う、というめあてを示さなくても、ふりかえりの時には、自分のほしいものが言えた、と多くの子が書いていた。
- アクティビティでは、学んだことを使い会話がたくさんできるし、話せたという感覚がもてるようだ。ゲーム性をもたせると、また違う楽しさもある。
- 今は **Talk with 3 people**.というアクティビティを中心に行っています。ゲームだと子どもが勝つことに夢中になってしまうことがあります。会話中心のアクティビティならそれはありません。話せないと楽しめないのも、今ではダイアログ練習を熱心にやる子が増えてきています。
- 他の教科では学力が低い児童でも、読んだり書いたりする作業がないため、聞いて繰り返すという活動を楽しく行い、授業の終わりには言えるようになっていました。「英語だけは得意です。」とうれしそうに授業に取り組み、堂々と発言をしています。他の教科から考えると信じられない姿です。

以上の結果から、児童が意欲的に取り組むこと、訳さず推測する習慣が身につくこと、会話中心のアクティビティというシンプルな活動でも楽しく行えること、発達障がいの子どもも集中して取り組み、学力不振の子どもも言えるようになるといったケースもある。今後より多くの実践者を募り、検証を進める必要がある。

1-2. 指導案(3年)の実例

小笠原村教育委員会と連携の上、小笠原小学校にて実施した授業指導案について、以下、研究の要点を述べる。

【試行授業 1: Unit5】

(1) Unit5 What do you like? 『何が好き?』

①表現

A: What ~ do you like? B: I like ~.

②新出語彙

fruit, apples, bananas, grapes, pineapples, strawberries, peaches, sport, swimming,

tag rugby, sumo

③単元目標

- ・日本語と英語の音声の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする語や表現に慣れ親しむ。
- ・何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。
- ・相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。

※文部科学省 第3 学年外国語活動例(案・暫定版)より

④単元計画(4時間扱い)

	表現(ダイアログ)	新出語彙	アクティビティ・ゲーム
1	A: What fruit do you like? B: I like bananas.	fruit, apples, bananas, grapes, pineapples, strawberries, peaches	・ペア会話活動 ・ワークシートを使って インタビュー
2	A: What sport do you like? B: I like soccer.	sport, swimming, tag rugby, sumo	・ペア会話活動 ・仲間集め
3	A: What Japanese food do you like? B: I like sushi.	Japanese culture, 囲碁, 将棋, けんだま, 百人一首, 着物, あやとり, 風鈴, Japanese food, すし, うど ん, そば, おにぎり, 天ぷら, おでん	・ペア会話活動 ・ワークシートを使って インタビュー
4	A: Do you like sport? B: Yes, I do. A: What sport do you like? B: I like soccer.	なし	・ペア会話活動 ・聞きたいことを聞き合 おう

本単元は、好きな色、好きなスポーツ、好きな果物、好きな食べ物について尋ね合う単元である。児童の興味・関心をより高める工夫として、ここに日本文化という観点を加え、「日本の文化について好きなこと」「好きな和食」について尋ね合う表現も扱うことにした。

指導案は、「ベーシックバージョン」、「発展バージョン」の2パターンを作成し、学級の実態に応じて授業できるようにした。

ベーシックバージョンの第4時では、児童が試行授業を4時間経験していることから「つなげる」という観点を加え

A: Do you like sports? B: Yes, I do.
A: What sport do you like? B: I like soccer.

としている。

これに対して、発展バージョンでは、既習の表現を用いてより一層長く会話を続けることをねらい、

A: Do you like sports? B: Yes, I do.
 A: What sport do you like? B: I like soccer.
 A: Do you have a soccer ball? B: Yes, I do.

という表現でやりとりをすることとした。

【試行授業 2: Unit7】

(2) Unit7 This is for you. 『カードをおくろう』

①表現

A: What do you want?
 B: A star, please.
 A: Here you are.
 B: Thank you.

②新出語彙

this、a、for、big、small、形(square、rectangle、heart、star、diamond)、bus、flower、
 動物 (dog、cat、panda、mouse、bear)

③単元目標

- ・日本語と英語の音声の違いに気付き、形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。
- ・相手に伝わるように工夫しながら、欲しいものを紹介しようとする。

※文部科学省 第3学年外国語活動例(案・暫定版)より

④単元計画(4時間扱い)

	表現(ダイアログ)	新出語彙	アクティビティ・ゲーム
1	A: Do you want water? B: Yes, I do.	Water, green tea, tea, juice, coffee	・ペア会話活動 ・ワークシートを使って インタビュー
2	A: What do you want? B: Water, please!	hamburger, hot, cold, fan, water, かき氷, stove, jacket, つかいすてカイロ	・ペア会話活動 ・仲間集め
3	A: What do you want? B: A heart, please. A: Big or small? B: Big, please.	big, small, diamond, rectangle, heart, circle, triangle, star, square,	・ペア会話活動 ・ワークシートを使って インタビュー

4	A: Do you like animals? B: Yes, I do. A: What animal do you like? B: I like dogs. A: Do you have a dog? B: No, I don't. A: Do you want a dog? B: Yes, I do.	・ペア会話活動 ・聞きたいことを聞き合おう
---	--	--------------------------

本単元は、**want**を用いて、ほしいものを尋ねたり答えたりするやりとりを通して、「カード作り」をするという場面である。より一層、生活に即した場面設定にするため、それぞれの時間での状況設定を工夫した。

第1時は喉が渴いた相手にほしいものを尋ねる場面、第2時は、自分の気分、体調に合わせてほしいものを伝える場面、第3時は、アイスクリームのトッピングを決める場面である。それぞれの場面で十分に**want**を使ってやりとりをし、慣れ親しみ、第4時では、友達同士の会話の場面の中で、知っている英語を使って、やりとりをなるべく続けていく。

第3時では、アイスクリームのイラストをかいたワークシートを使用し、そこに、友達にハートや星などをかいてもらうことで、準備がそれほど必要がなく、楽しい活動をすることができるよう工夫した。第4時は、友達との会話を楽しむことに焦点を当てて作成を行った。

1-3. 指導案（3年）

巻末 Appendix 参照。

1-4. 指導案（4年）の実例

小笠原村教育委員会と連携の上、小笠原小学校にて実施した授業指導案について、以下、研究の要点を述べる。

【試行授業 3: Unit5】

(1) Unit5 Do you have a pen? 『おすすめの文房具セットをつくろう／理想の部屋をつくろう』

①表現

A: Do you have ~?

B: Yes, I do. / No, I don't.

②新出語彙

文房具 (glue stick, scissors, pen, stapler, magnet, marker, pencil sharpener, pencil case)

身の回りの物 (desk, chair, clock, calendar)

③単元目標

- ・文房具など学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・文房具などの持ち物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。
- ・相手に配慮しながら文房具などの持ち物について尋ねたり答えたりしようとする。

※文部科学省 第4学年外国語活動例(案・暫定版)より

④単元計画(4時間扱い)

	表現(ダイアログ)	新出語彙	アクティビティ
1	A: Do you have a pen? B: Yes, I do./No, I don't.	pen, pencil, book, notebook, glue stick, ruler	・ペア会話活動 ・文房具カード集め
2	A: Do you have any pens? B: Yes, I do. I have two (pens).	scissors, stapler, magnet, stiker, marker, pencil sharpener	・ペア会話活動 ・Yes/No 集め
3	A: How many sofas do you have? B: I have five (sofas).	desk, chair, bed, sofa, futon	・ペア会話活動 ・Long talk (会話をつなげる)
4	A: Do you have any sofas? B: Yes, I do. A: How many sofas do you have? B: I have 5 (sofas). A: One sofa, please. B: Here you are. A: Thank you. B: You're welcome.	T.V, computer, clock	・ペア会話活動 (理想の部屋づくり) ・発表

本単元では、文房具及び身の回りの物についての語彙を扱う計画となっている。そこで、単元の前半2時間を文房具の語彙を用いた活動、後半2時間を身の回りの物の語彙を用いた活動とした。

また、本単元の表現である A: Do you have ~? B: Yes, I do./No, I don't.に加え、第3学年における既習事項である A: How many? B: Five. を組み合わせ、長く会話が続けられるようにし、「コミュニケーションで活用できる力」を図っている。

指導案は、「ベーシックバージョン」、「発展バージョン」の2パターンを作成し、学級の実態に応じて授業できるようにした。

ベーシックバージョンの第4時では、アクティビティにおいて、実際に物(イラスト/ラベルシール)を用いてやり取りをさせることにより、活動に変化を付け、より長く会話ができるようにした。

さらに以下に Unit5 第4時間目のアクティビティ「理想の部屋作り」について示す。

【アクティビティ ※ペア会話活動『理想の部屋づくり』】

1. クラスを半数ずつ(Aチーム、Bチーム)に分ける
2. Aチーム・・・お部屋シート(または白紙)を持つ
3. Bチーム・・・家具(イラストまたは、ラベル印刷した家具シール)を持つ
4. Bは、Aが希望する家具シールを渡す
5. Aは、自分のシートに、家具シールを貼り、「理想の部屋」を完成させていく
6. 3分程度で、AとBの役割を交代する

A: Do you have any sofas?

B: Yes, I do.

A: How many sofas do you have?

B: I have 5 (sofas).

A: One sofa, please. ※家具シールを渡す

B: Here you are.

A: Thank you. ※シートに家具シールを貼る

B: You're welcome.

【試行授業 4: Unit7】

(2) Unit7 What do you want? 『ほしいものは何かな』

①表現

A: What do you want?

B: I want ~.

②新出語彙

野菜 (potato, cabbage, corn)、cherry、meat、pork、beef

③単元目標

- ・食材の言い方や欲しい物を尋ねたり、要求したりする表現に慣れ親しむ。
- ・欲しい食材などを尋ねたり要求したり考えたメニューを紹介する。
- ・相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。

※文部科学省 第4学年外国語活動例(案・暫定版)より

④単元計画(3時間扱い)

	表現(ダイアログ)	新出語彙	アクティビティ
1	A: Do you like curry? B: Yes, I do.	potato, cabbage, corn	・ペア会話活動

	A: Do you want carrots? B: No, I don't. A: Do you want mushrooms? B: Yes, I do.		
2	A: Do you like curry? B: Yes, I do. A: Do you want carrots? B: No, I don't. A: What do you want? B: I want potatoes.	meat, chicken, pork, beef, fish, egg	・ペア会話活動 ・Yes/No 集め
3	A: Do you want carrots? B: No, I don't. A: What do you want? B: I want potatoes. A: How many do you want? B: I want two potatoes.	cherry, pineapple, peach, orange, grape, kiwi fruit	・ペア会話活動 ・Long talk 「カレーを作ろう」 (会話をつなげる) ・発表

本単元では、料理の場面(状況)を設定した。料理を作る過程で、欲しい食材についてやり取りを行う。パフェ、ピザ、カレー、お弁当作りなどが考えられる。自分の「オリジナル料理」が完成するので、児童にとって楽しい活動となることが予想される。本単元では、「カレー作り」の状況を設定した。

また、本単元の表現 A: What do you want? B: I want ～. に、既習事項である How many? や Do you like ～? を組み合わせ、長く会話が続けられるようにし、「コミュニケーションで活用できる力」を図った。

第4時では、会話をつなげる(Long talk)アクティビティである「カレーを作ろう」に取り組ませる。いくつもの野菜や肉を入れてカレーを作る状況は、何往復もの会話をする事になり、ダイアログに十分に慣れ親しませることができる。このアクティビティには、ワークシートを作成してある。印刷してすぐ授業をすることが可能である。

1-5. 指導案（4年）

巻末 Appendix 参照。

1-6. ALT との役割分担のある指導案やモジュールの指導案（年間 35 時間）の作成

文部科学省から示された「小学校外国語・外国語活動研修ガイドブック」（平成29年7月）に、チームティーチングに関する記載がある。今後、必修化・教科化に伴い、ALT とのチームティーチングが増えていくことが予想される。

ALT とのチームティーチングを行う上で重要になるのが「授業に関する打ち合わせ」であり、一番の壁

は言語の壁である。場合によっては、言葉が通じない中での打ち合わせも想定されるが、そういった状況で、英語訳付きの指導案は、今後必須になると考えられる。

本指導案は、担任が主導することを前提にしているため、ALTの欄にはデモンストレーションを一緒に行うこと、単語練習の補助をすること、アクティビティの内容などが記載されている。1枚の指導案を一緒に読み進めることで、授業に関する共通理解を図ることができる指導案としたい。

また、3・4年生においては、モジュール学習を行う可能性は低い、「担任主導」に切り替えるための方法の一つとして、モジュール学習に取り組むことも有効であると考えた。文部科学省事業である「外国語教育強化地域拠点事業」においても、モジュール学習を進めることで、担任の英語力・英語の指導力が高まったという実践も見られる。5、6年生においては、モジュール学習を実施する小学校もある。体験的に学びながら身に付けた技能を活かして、伝え合っている、という教科の特性から、時間は短くとも英語に触れる頻度が多い方がいい、と考えている学校もあると考えられる。

そこで、今回は実践はなされなかったが、15分×週3回を想定した授業案を以下に例示する。

3年生 Unit5 What do you like? 45分×4時間の単元計画

	目標	語彙・表現
第1時	好きな果物を聞く表現に親しむ。	果物 What fruit do you like? I like ~.
第2時	好きなスポーツを聞く表現に親しむ。	スポーツ Do you like sport? Yes, I do. What sport do you like? I like soccer.
第3時	何が好きかを伝える表現を使い、伝え合おうとする。	Do you like Japanese food? Yes, I do. What Japanese food do you like? I like sushi.
第4時	友達と好きなものについて話し、会話を続けて、相手について知ろうとする。	Do you like sport? Yes, I do. What sport do you like? I like soccer. Let's play soccer. OK.

3年生 Unit5 What do you like? 何が好き? モジュールを取り入れた単元計画

	主な内容	評価
第1時 45分 モジュールなし	好きな果物を聞き合う。 単語 果物 What fruit do you like? I like~.	好きな果物の言い方に慣れ 親しみ、それらを使って会話をしている。(観察) 【知識・技能】
第2時 15分×3 この週は45分授業は実施なし	① Unit4で既出の色を使って会話 What color do you like?	好きな果物、色、スポーツの聞き方、答え方に慣れ親し

	I like pink.	み、それらを使って会話をしている。(観察) 【知識・技能】
	②果物と色について聞き合う What color do you like? What fruit do you like? 相手の英語を聞き、聞かれたことに答える。	
	③スポーツについて聞き合う What sport do you like? I like ~.	
第3時 15分×3 この週は 45 分授業は実施なし	①好きな日本食について伝え合う。 What Japanese food do you like? I like sushi. Me, too. I like sushi.	相手に聞かれたことに応じて、適切に答えたり、相手の反応に応じて質問をしたりしている。(観察) 【思考・判断・表現】
	②What ~ do you like? I like ~. スポーツ、色、果物、日本食など、様々なことについて尋ね合う。	
	③話題を一つ選び、それについて既出の表現を使って、詳しく聞く。 What Japanese food do you like? I like sushi. What (kind of) sushi do you like? I like ikura.	
第4時 45分 第4週 45分授業 モジュールなし	友達と好きなものについて話し、会話を続けて、相手について知ろうとする。	友達に聞かれたことに対して適切に答えたり、相手の話に応じて、知っている表現で会話を続けようとしている。 【学びに向かう人間性】

4年生 Unit7 What do you want? 45 分 × 3 時間の単元計画

	目標	語彙・表現
第1時	ほしいかどうかを聞いたり答えたりする。	野菜 Do you want ~? Yes, I do. /No, I don't.
第2時	ほしいものを聞いたり答えたりする。	野菜、肉、魚、卵 What do you want? I want ~.

第3時	いくつほしいかを聞いたり答えたりして、カレーを作る場面での会話をする。	野菜、肉、魚、卵、果物 What do you want? I want ~. How many ~s do you want? I want ~.
-----	-------------------------------------	--

4年生 Unit7 What do you want? モジュールを取り入れた単元計画

	主な内容	評価
第1時 45分 モジュールなし	ほしいかどうかを聞いたり答えたりする。 Do you like pork curry? Yes, I do. Do you want carrots? Yes, I do.	相手にほしいかどうかを聞いたり答えたりする表現に慣れ親しみ、それらを使って会話をしている。 (観察)【知識・技能】
第2時 15分 ×3 この週は45分の授業は実施なし	①好きなもの、ほしいものを聞いたり答えたりする。 Do you like dogs? Yes, I do. Do you want dogs? Yes, I do. Do you like lions? Yes, I do. Do you want lions? No, I don't. ②ほしいものは何かを聞いたり答えたりする。 What do you want? I want carrots and onions. ③既出の表現を使って、会話を続ける。 Let's make curry and rice. Do you want carrots? No, I don't. I have five carrots. Do you want potatoes? No, I don't. I have three potatoes. What do you want? I want onions. I have no onions.	状況に応じて、必要なものを伝え合っている。(観察) 【思考・判断・表現】
第3時 45分 モジュールなし	いくつほしいかを聞いたり答えたりして、カレーを作る場面での会話をする。	相手の状況に応じて、ほしいものを聞いたり答えたりして、カレー作りに必要なものを集めるための会話をしている。(ワークシート、観察)【学びに向かう人間性】

なお、前提として、上記、モジュールを取り入れた単元計画は、週に3回のモジュール学習を行う体制が学校にあり、モジュール学習の時間帯に英語の行わない週は、国語、算数、総合的な学習など、ほかの授業等を行っているものとする。

3. フラッシュカード・ICT等の各種教材の開発と効果検証

3-1. 取組概要

- ① カリキュラム作成チームが文部科学省の案をベースにカリキュラムを作成
 - ② ①を受けて、指導案作成チームが指導案を作成
 - ③ ①、②を受けて、教材開発チームが教材(ICT教材など)の原案を作成
 - ④ ③を受けて、施行授業のために以下の教材を制作
 - A 英単語フラッシュカード 3年(Unit5・Unit7)、4年(Unit5・Unit7)
 - B 状況設定フラッシュカード 3年(Unit5・Unit7)、4年(Unit5・Unit7)
 - C 英語かるた 3年(Unit5・Unit7)、4年(Unit5・Unit7)
- ※作成教材リスト、詳細については巻末 Appendix を参照

3-2. 教材の作成

本事業の教材作成における基本原理を以下と定めた。

教材の基本原理……音声とイメージ(絵やジェスチャー)を用いて英会話(やり取り)を先に指導する。

「単語の指導」と「やり取りの指導」は異なるが、「単語の指導」は従来から多種存在する。すなわち、「単語のフラッシュカード(文字、絵にかかわらず)」をリピートさせる指導は現在も日本中で行われている。

しかし、「やり取りの指導」について確立され広く普及している指導法・教材は、学校教育においては不在である。

より詳しく述べると、音声と絵を用いて、日本語の翻訳を介さずに、「聞く」→即座に「言う(応答する)」という技能を連続で繰り返す(＝やり取り、インターアクション)を身につけさせるという意味での英会話やり取り指導は不在であった。(複数の会話リストを文字で並べたものを暗唱させる英会話指導や、日本語に翻訳しながらの遅い英会話指導や、会話の例文をスキットとして音読させるなどの英会話指導は存在していたが、どれも即座のやり取りの技能を身につけさせることはできないと考える。英会話を指導しているつもりでも、その目標を達成できていない。)

さらに、授業時数が限られている公立の小学校(中学校・高校も)では特に英会話指導は皆無であった(特に中高は背景として受験英語の指導に時間がとられることが挙げられる)。

多額の費用と時間を費やすことのできる、学校外のいわゆる英会話教室では、より自由度が高い、即解・即答の英会話指導が存在していると考えられるが、授業時数が限られている一般的な学校では、英会話教室と同じことはできない。

そのため、英会話教室を上回る、効率の良い英会話やり取り指導の開発が必要であり、本事業の教材は以下を特徴とした教材の開発を行った。

単語の指導

単語フラッシュカードや単語カルタを用いて音声と絵で指導する。リピートをさせ、カルタゲームで遊ぶ。

やり取りの指導

ICT 教材や状況設定フラッシュカードを用いて指導する。ポイントは、指導単位を「1文」ではなく、双方向の「ダイアログ(対話)」にすることである。

「1文」の指導は「モノログ指導」であり、最終的に「スピーチができる」で止まってしまうことが予想される。しかし、「対話の指導」は「ダイアログ指導」であり、最終的に「やり取り」と「スピーチ」の両方ができる。理由は以下に詳述する。

「ダイアログ指導」は、問い(Q)と答え(A)の組み合わせで構成されている。複数のダイアログを指導した後、答え(A)のみを連続で子どもに言わせると、それだけで既にスピーチができる。

よって、双方向である「ダイアログ指導」つまり(Q+A)を指導した時点で、一方通行の「スピーチ指導」は既に指導済みの状態となる。

「話すこと」は一方通行の「発表」(モノログ)と双方向の「やり取り」(ダイアログ)に分類され、「発表」については、例えばスピーチが挙げられる。自分1人が、自分のペースで一方向的に話す状態である。

一方、「やり取り」とは、言わば一般的な意味でのコミュニケーションである(日記やジェスチャーや手旗信号も広い意味でのコミュニケーションに入るがここでは、一般的な「会話」という意味)。

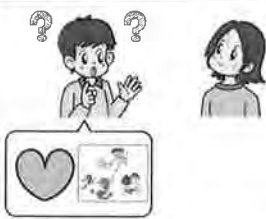
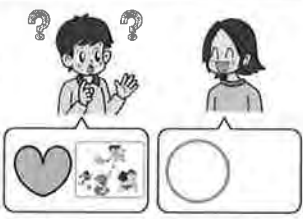
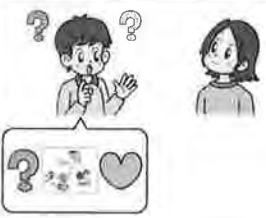
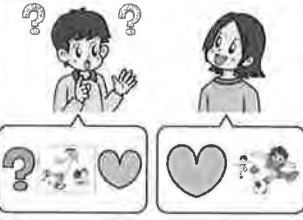
従来の英語指導及び教材は、「やり取り」の指導(=ダイアログ指導)や教材が不在であり、「発表」の指導(=モノログ指導)のみが重要視されていた(この点が、「学校英語は使えない」という事実の原因であると考え)。

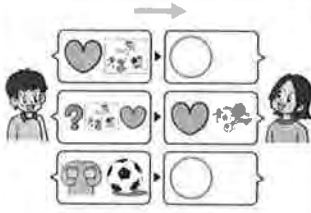
例えば、英語スピーチ大会、英語弁論大会が日本中の中学校で盛んに行われているが、英語コミュニケーション(英会話)ができないということは、一方通行の「スピーチ(=発表)」ができたとしても、双方向の「会話やり取り」や「英語討論」ができるとは限らないことの証拠であると考え。

本教材は、「状況設定」と「ダイアログ(対話)」という2つのキーワードで、「聞く」から瞬時に「言う」(=即座に応答すること)の技能を身につけさせることを主眼に置いて作成した。

以下に、「状況設定フラッシュカード」8枚の札を用いて詳細を解説する。

状況設定フラッシュカード

	絵	教師の発話	解説
画面 1		Q: Do you like sports? (あなたはスポーツが好きですか?)	左側の少年が質問をする。 「Do you like ○○?」という表現は既習である。 子ども達はハートの絵やスポーツの絵を既に見慣れている。
画面 2		A: Yes, I do. I like sports. (はい。私はスポーツが好きです。)	右側の少女が答える。 「Yes, I do.」という表現も、「I like ○○.」という表現も既習である。 教師は、少年の声をやや低めで言い、少女の声をやや高めで言う。
画面 3		Q: What sport do you like? (何のスポーツが好きですか?)	左側の少年が質問をする。 「What ○○ do you like?」という表現は既習である。 やや低めの声で言う。
画面 4		A: I like soccer. (私はサッカーが好きです。)	右側の少女が答える。 「I like ○○.」という表現は既習である。 やや高めの声で言う。
画面 5		Q: Do you have a soccer ball? (あなたはサッカーボールを持っていますか?)	左側の少年が質問をする。 「Do you have ○○?」という表現は既習である。 やや低めの声で言う。
画面 6		A: Yes, I do. I have a soccer ball. (はい。私はサッカーボールを持っています。)	右側の少女が答える。 「Yes, I do.」という表現も、「I have ○○.」という表現も既習である。 やや高めの声で言う。
画面 7		A: No, I don't. I don't have a soccer ball. (いいえ。私はサッカーボールを持っていません。)	右側の少女が答える。 「No, I don't.」という表現も、「I don't have ○○.」という表現も既習である。

画面 8		Q: Do you like sports? A: Yes, I do. I like sports. Q: What sport do you like? A: I like soccer. Q: Do you have a soccer ball? A: Yes, I do. I have a soccer ball.	やや高めの声で言う。 「答え(A)」の部分の四角で囲んだ。視覚のセリフを連続で言うと、既にスピーチの原型ができあがっている。 このように、複数のダイアログ(対話)を連続で指導した後に、答え(A)のみを連続で言わせることによりスピーチ指導を行うと良い。会話(やり取り)→スピーチ(発表)の順。
---------	---	---	--

3-3. 教材

巻末 Appendix 参照。

3-4. ICT 教材

上記教材より、単語フラッシュカード、状況設定フラッシュカードについて、同様のものを教室で投影して利用できるよう、パワーポイント、PDF データとして作成した。

4. 児童が話せるようになる外国語活動の研修会開催と効果検証

4-1. 平成 29 年度 TOSS・文部科学省受託事業 第 1 回外国語活動研修会 in 東京

(1) 日時・場所

日時:2017 年 8 月 9 日(水) 13:30~16:00

場所:AP 西新宿(東京都新宿区西新宿 7 丁目 2 番 4 号 新宿喜楓ビル 6F NOP 室)

(2) 参加者・配布資料

90 名、配布資料別添(カリキュラム、指導案、教材)。

(3) 時程と授業・講座一覧

13:30~14:15

【第1講座】《文部科学省提案》年間指導計画例(案・暫定版)を授業する！

(解説:井戸砂織・加藤心 コメント:谷和樹)

(1)3 年生模擬授業(井戸砂織)

(2)4 年生模擬授業(加藤心)

14:15~14:25

【第2講座】新学習指導要領の解明『外国語科』『外国語活動』(谷和樹)

3・4 年『外国語活動』、5・6 年『外国語科』で教えるべきポイントは何か？

従来の日本の英語教育との違いを知る上で、絶対に知っておきたいこと。

〈休憩10分〉

14:35~15:05

【第3講座】実技指導体験講座(井戸砂織、加藤心)

実際に講師の先生と一緒に声を出し動いてみることで、

『三構成法』『リズムとテンポ』『教材の使い方』を身につけることができます。

《選択制》

A ブース 3年生 Unit5

B ブース “Do you like ~?”

C ブース フラッシュカード

15:05~15:35

【第4講座】これが教室実践と子どもの事実！ 英語が話せるようになる授業とは？

①小学校(井戸砂織) ②中学校(加藤心)

〈休憩・アンケート記入10分〉

15:45～16:00 【第5講座】これからの英語教育のあり方(谷和樹)

今後の日本の外国語教育はどうなるのか？ 目指すべき方向とは？

(3) 参加者のアンケート

●第1講座から、井戸先生と加藤先生の授業がとても分かりやすく、そして情報・会話量の多さに驚きました。少しずつ単語を変えたり、ダイアログを変化させたりして、子どもたちに理解させていくことが分かりました。くり返し教えていくことで、いつの間にか話すことができるようになっていくと感じました。その1時間で100パーセントを求めないという加藤先生のお話に少し安心しました。既習ダイアログとつなげて長く話すというのは、教師がきちんと計画を立てておかなければできません。ですから、今日いただいた資料は本当にすごいです。これを、日本全国で指導していけば、いずれはアジアの中でも英語でコミュニケーションをとることができる子どもを育成することができるのではないのでしょうか。まず、教師自身が英語を学び、指導法を学び、そして子どもの前に立ちたいです。今日参加して、本当に良かったです。

●「つなぐ」「無意識的な学習」などのキーワードを体験しながら理解することができました。とても厚い資料に驚きました。そして、この資料を使いながら実際にどう授業するのかを具体的に学ぶことができました。谷先生が示されたデータを、勤務校、さらには日本中の先生方に示し、事実を知ってもらった上で、本気で英語教育に取り組んでいかなければならないと感じました。「質のよい指導」は私達の使命、その重さを感じるとともに、しっかりやっていかなければと思いました。

●①カリキュラム案の内容・量に驚きました。全時間の流れとやること、ダイアログ例などが細かく書かれており、この1冊があれば、現場の先生方は大変助かると思いました。

②三構成法の基本(「単語練習とは」「状況設定・ダイアログ練習とは」「アクティビティとは」)を学ぶことができました。like→have→wantのつなげ方がとても見事で、「友達が何と答えるか楽しみになるやり取り」がすごいと思いました。

③実技指導体験講座は、現場ですぐに使える(生かす)ことができるようにするために、1番大切なことだと思いました。加藤先生のように、実際に先生の声にかぶせて何度も言う練習をすることで、身に付けることができるのだと思いました。

●三構成法での単語・ダイアログの習得がとても分かりやすいと思いました。1時間の中で、1つの応答を教え、くり返していく中で、会話へと無理なくつなげていけそうです。また、「思考・判断」も含めていくときに、コンテンツで示し自由に会話させることで、自由度が広がりとてもおもしろいと思いました。

●今回の講座を受けたおかげで、つなげることが必要であることが分かりました。また、その具体的な方法を知ることができ、教室で実践できそうです。発表とやり取りを意識することで、子どもたちが使える英語力をどのように伸ばすかという良い視点を知ることができました。

●新学習指導要領が目指す「外国語活動」について大変よく分かりました。新学習指導要領の解説書の内容一つ一つについて具体的な説明があり、これから何をすべきかのイメージがはっきりとしてきました。

参加して良かったです。指導案に沿って、井戸先生と加藤先生の模擬授業が行われ、3・4年生にとって最適の指導案・年間計画だと思いました。**like have** などのごく簡単な単語を使ってアクティビティ練習をする。次時は少しだけ変化した練習をする。これなら3年生の子どもが抵抗なく話すことができそうです。どの子どもも楽しく会話をして、自然に覚えていくことができると思いました。加藤先生が「無意識的に覚える」とはこのことだなあと納得しました。5年生の子ども達が3分間も英語で話し続けるということを聞き、圧倒されました。日本語で考えて英語に訳して話すのではなく、既習したダイアログや単語がしっかりと頭に入っており、「英語を聞いて英語で話す」ができているのだと思いました。これこそ、新学習指導要領の外国語活動・外国語科が目指している姿だと思いました。中学生が英語を使って「発表」から「やり取り」へと変わることを聞き、「4技能の統合」がようやく分かりました。「外国語の授業はほめてほめてほめる」という言葉が印象的でした。「絵は記号」という言葉にも納得です。コンテンツが非常に分かりやすく話しやすかったです。

●3・4年生の外国語活動カリキュラムがとても見やすく、分かりやすく、無駄なく1枚1時間にまとまっていて、このようなものが欲しかったと思いました。講座の中で、特に勉強になったのが、実技体験講座です。模擬授業を受けるだけでなく、指導側のくり返し練習ができたため、講座を受ける前より、自信をもって指導できると思いました。

●リズムとテンポのよい授業の流れがとても良かったです。子ども達も流れにのっていき、英語が話せるという気持ちになると思いました。自然な会話の流れと状況設定はすごく大切で、英語を身に付けるために必要だと改めて感じました。

●井戸先生、加藤先生授業は次々と活動が入るので、集中して楽しく授業が受けられました。これだけ練習をすれば話せるようになると思います。たくさん話させるための工夫がされているところも勉強になりました。サイトを見ると文が分かる工夫も驚きました。まさに絵は記号です。指導の順番も考えられていて、これなら次々と会話がつながっていくと感じました。これだけの指導計画、コンテンツ、指導方法があれば、自分もやってみたい、できそうと思いました。ぜひチャレンジしたいと思います。

●3・4年生のカリキュラムの1時間ごとの指導案が詳しく書いてあり、驚きました。それがどんどんつながっていくということが重要なのだと思いました。加藤先生の講座の中での、知識ではなく技能にしていくということが強く心に残りました。無意識に話せるようになっていくということが言語を身に付ける上で大切だと思いました。

●井戸先生、加藤先生のリズム、テンポ、変化のあるくり返しの活動は、英語が超のつくほど苦手な私でも、よく理解できました。授業についていって勝手にしゃべれるようになっていくという感じでした。子どもたちも楽しむことができる外国語活動でした。15分—15分—15分のモジュール活動で、週に3回行うのは子どもたちにとっても最初としては取り組みやすいと思いました。毎日毎日くり返すことが大切だと痛感しました。

●学習した単語・ダイアログをつなげて会話していくことを実際にやってみると、話すことができることが実感でき、嬉しくなりました。どのような状況設定をして、どのように会話をつなげていくかがとても大切になってくると感じました。子どもたちに合った必然性のある状況設定が大事だと分かりました。三構成法で授業を組み立て積み重ねていけたらと思います。良い授業のイメージをもつことができました。

●リズムとテンポのある授業で最初から引き込まれました。来年度からスタートするために準備を進めていますが、手探り状態です。今回の研修会のように具体的な資料として、3・4年生向けのカリキュラム・教材・指導案があると、とても参考になります。また、コンテンツを作られていて、コンテンツの左上に何をするかという指示が入っていたので、他の先生方とも共有化がしやすいと考えました。講師の先生方のお話から、ゴールのイメージができました。今後の日本を支える子どもたちを育てるために学び続けなければいけないと思いました。今回の研修事業の開発は本当に大切だと分かりました。

●即興的コミュニケーションやスピーチにたどり着くまでの対話(会話練習)の積み重ねの様子を知ることができて良かったです。外国語活動の授業をしているのですが、日々の授業でのターゲットセンテンスは決まっているものの、それが既習やこれからの学習とつながっていることを、子どもも教員も感じづらく、単発の授業になっていることが大きな課題と考えました。長い目で見たカリキュラムを提示し、皆で一緒に研修していきたいと感じました。

(4) 参加者のアンケート結果分析

三構成法(①単語練習②状況設定・ダイアログ口頭練習③アクティビティ)を取り入れた外国語活動の授業について、児童が英語を話すことができるようになって感じたという多くの参加者の方が書いていた。今回の研修会で提案した授業は、児童にとって分かりやすく、かつ楽しみながら英語を話すことができるようになる授業であると考えているという記述も多く見られた。理由として、三構成法で組み立てられた ICT 教材(コンテンツ)を使用したことが大きく関連していると考えられる。

今回開発した3・4年生の各カリキュラム・指導案について、内容が具体的であり、このカリキュラム・指導案があれば、毎時間質が保証された授業をすることができるという喜びの声が非常に多かった。既習ダイアログを「つなげる」ことを意識したカリキュラム・指導案であることで、児童が会話をつなげて長く話すことができるようになる効果的なカリキュラムであると高い評価を多く得た。

新学習指導要領の解説により、今後の外国語教育の方向性を理解したという声も多かった。新学習指導要領を基に求められている力を付ける授業をしていくこと、記事やデータを基に日本の外国語教育に必要なことは何かを考え授業をしていくことをしていきたいと感じた方が多くいた。

教師の授業力についての記述も多かった。講師の授業力に引き込まれたこと、児童にもそのような授業をしていきたいということであった。実技指導体験講座は、外国語活動・外国語科の授業力を身に付けることに役立ったようである。研修会を受ける前より、自信が付いたと記述している方もいた。

(5) 主な成果

参加者の方が以下の3点の有効性を感じたことにおいて、成果があったと考える。

①カリキュラム・指導案 ②三構成法を取り入れた授業 ③ICT 教材(コンテンツ)

児童の英語でのコミュニケーション能力を高めるための効果的なカリキュラム・指導案を作成し、広めることができた。参加した多くの教師が、このカリキュラムであれば児童が英語を話すことができるようになると考え、このカリキュラムに沿って授業をしたいと述べていた。新学習指導要領で求められる力を付けるためのカリキュラム・指導案を期待して参加し、有効性を感じていた。

カリキュラム・指導案を提示するだけでなく、三構成法を取り入れた授業を、実際に参加者の方が体感したことで、児童が英語を話すことができるようになることをより強く実感していた。それには、三構成法で組み立てられた ICT 教材(コンテンツ)が有効であった。意味のある状況において直観的に分かるようにコンテンツを作成している。必然性があり、児童の興味・関心を大事にしたコンテンツは好評であった。

(6) 研修会の様子



4-2. 平成 29 年度 TOSS・文部科学省受託事業 第 2 回外国語活動研修会 in 東京

(1) 日時・場所

日時:平成30年1月4日(木) 13:30～16:00

場所:AP 西新宿(東京都新宿区西新宿 7 丁目 2 番 4 号 新宿喜楓ビル 6F NOP 室)

(2) 参加者・配布資料

195 名、配布資料別添(カリキュラム、指導案、教材)。

(3) 時程と授業・講座一覧

13:30～14:35

【第1講座】≪文部科学省提案≫年間指導計画例(案・暫定版)を授業する！

(1) 3年生模擬授業 ①(小林智子氏)

Unit5 What do you like? 『何が好き?』

3年生模擬授業 ②(井戸砂織氏)

Unit10 Welcome to Ogasawara! 『ようこそ小笠原へ!』

(2) 4年生模擬授業 ①(竹内淑香氏)

Unit 6 alphabet 『アルファベットで文字遊びをしよう』

4年生模擬授業 ②(加藤 心氏)

Unit 10 Welcome to Ogasawara! 『ようこそ小笠原へ!』

(3) 授業を受けた子どもたちはどう変わったか? 子どもの事実と成果に迫る

(小笠原小学校副校長 島村雄次郎氏)

(4) コメント(谷和樹氏、井戸砂織氏、小嶋悠紀氏)

14:45～15:15

【第2講座】実技指導体験講座(井戸砂織氏 加藤心氏 小林智子氏 竹内淑香氏)

※実際に講師の先生と一緒に声を出し動いてみることで、『リズムとテンポ』『三構成法』『教材の使い方』を体感することができます！

15:15～15:30

【第3講座】加藤氏講座『ここまで話せるようになる！中学校における英語教育の事実』

15:40～15:55

【第4講座】小嶋悠紀氏講座『特別支援の視点から見た子どもが英語を話す指導法の工夫』

15:55～16:10

【第5講座】井戸砂織氏講座『新カリキュラムに対応する教室実践のあり方』

16:10～16:30

【第6講座】谷和樹氏講座『これからの日本の英語教育』

(3) 参加者のアンケート

●指導案が何より有りがたいです。来年度以降の外国語活動をする上で参考にして、授業につかえそうです。今後コンテンツが公開されて、教室で実践するのが楽しみです。

3構成法を実際に体感することができ、リズム、テンポが確認できたことがとても良かったです。こまかな技術についても実際に見せていただくことができ、イメージが持てました。

●英語を学ぶ必要性や意義について谷先生の講座で嫌というほど現場を見せられ、強く必要だと感じました。本日いただいた3、4年のカリキュラムをしっかりと読み込み、現場に活かします。勤務地では、2018年度、3、4年生35時間外国語活動をやる予定です。しかし、まだ準備ができていません。今日の学びを持ち帰り、広めていきます。

●谷先生の講座から、日本人が英語を学ぶ必要がある理由がよくわかりました。新カリキュラムについてどのように進めていくか、三構成法について詳しく実感することができました。また、ゴールとしてどのようにつなげていくかについてもよくわかりました。月1回以上、新カリキュラムでの単元計画、授業作りをしていきます。

●「すごく英語をやりたくなる」講座でした。それは①自分でもできそう②の教材、サイト、カードを使えばできる③楽しかった。④小笠原の先生の実践⑤井戸先生の「作る」までできる子供たちの事実を知ったからです。ぜひ、5、6年バージョンを作っていただきたいです。文科省の方に3、4年バージョンをできるだけ早くUPしていただき、学校の同僚と学習したいです。

●分厚い資料ありがとうございました。勤務校では、英語をどのように進めていくか、ほぼ白紙なので、とても貴重な資料となります。小林先生、井戸先生、武田先生、加藤先生、模擬事業を見せてくださり、解説もありがとうございました。授業を受けて、実践をやることで、英語の授業がとても身近になりました。楽しく明るく授業をやりたいです。特別支援からみた英語の授業が「短く繰り返す」ことが大切だと小嶋先生のわかりやすい例示で納得です。TOSSの方法が良いことがよく分かりました。井戸先生の子供の映像は本当に凄いです。普通の子がいるが生き生きと楽しそうにたくさん話していると言う日を見ることができ良かったです。加藤先生の子供の事実にも驚きました。中学生が自分の意見を自分の言葉で伝えている！ステップもなるほどでした。

●提案性、最新情報など来てもらってほんとによかったです。講座をしてくださった先生方の授業をしたいと言うものばかりでした。竹内先生のフラッシュカードの仕方、初めて聞きました。学校でぜひやってみたいです。またこのようなセミナーに参加したいです

●今日は、本当に来てよかった。今までで1番良かったです。不安だった移行期の英語について大切な

すすめ方やキーワードをセットでたくさん教えていただきました。早速アウトプットしなければいけないと思いました。次々に繰り広げられる授業と提案、充実した資料を食い入るように見ました。現場に広げようがんばります。

●前回、そして、今回も参加しました。参加してとても良かったです。3、4年のカリキュラムの冊子は、参加者にとって、とても良いものでした。ここまで作れたご報告に心に感謝申し上げます。職場に戻って、管理職等に伝えます。

●幅広い学年指導の内容を、様々な点から切り取った講座が次々に行われており、大変勉強になりました。なぜ英語を学ぶのかについての話は驚きの連続でした。またクラスにいる発達障害の子供たちへいろいろな方法をためしても、成り立たないことが多いので、もっと特別支援について知っておくべきだと思います。今日学んだことをしっかり勤務校で伝えていきたいです。

●新学習指導要領の本格実施に向けて、研修を深めたいと思い参加させて頂きました。繰り返しと言うキーワードについては指導要領を読むために、薄型英会話だと言っておりました。小笠原での実践をもとに構成された教材が、全国に、外国語活動の指導に活用できるのは大変ありがたく嬉しい限りです。外国語の指導の重要性を強く感じました北海道に戻り自分ができることを探ししっかりやっていきたいと思っています。まずは来年度着きたい時などご指導できるポジションについていきたいと思っています。ありがとうございました!!!

●この資料を使って、学校で現職教育を行います。素晴らしい資料をありがとうございました。

文科省の「繰り返し」や「意味のある文脈の中で」などキーワードを知ることができて良かったです。たくさんの実践を知ることができ、本当に良かったです。また、特別支援に対応する技術も知ることができ、本当によかったです。最終講座で、日本の英語教育の現状を知り、言葉が出ませんでした。素晴らしいセミナーをありがとうございました。

(4) 参加者のアンケート結果分析

今回の参加者の多くは、3年、4年の指導案集系を手に入れることができ、その使い方を模擬授業を通して学ぶことができ、この研修を有意義であったと感じている。何より、学校現場ですぐに役に立つと考えている人が多かった。また、小学校、中学校に置ける実践の報告・解説は、目指すべき子ども像の最終形を見ることで、授業イメージをより鮮明に持つことができたようだ。

特別支援の観点から見た脳科学的な知見も参加者の感想の中に何度も出てきた。各学校へ戻って研修する場合もぜひ、伝えたいと思う大変有意義な内容であったと考えられる。

最終講座で「これからの日本の英語教育」についての話も、参加者の心に残っていた。教師自身が学び、力をつけていく必要がある。

さらに、今回の研修を受けて、3年、4年のカリキュラム冊子と同じ形式で5年、6年のカリキュラムを望む声も多く挙がっていた。2020年英語完全実施を受けて、学校現場はカリキュラム、使用する教材や英語の教え方について、さらに実践を深めていく必要があると感じた。

(5) 主な成果

本研修会の主な成果は以下の6点である。

- ① 文部科学省が示しているカリキュラムに沿った全時間の3、4年の指導案集を提案できた。
- ② 作成した指導案通り、ICT 教材を使って模擬授業を行い、最終形を提案できた。
- ③ 小嶋氏が脳科学的な見地で、本事業で開発を行った単語練習の有効性を説いた。
- ④ 谷氏が、データを使って英語教育の必要性を説いた。
- ⑤ 小笠原小学校の先生が、指導案とICT 教材を使って小笠原の子どもたちに授業した成果が伝わり、教員へ「自分にもできそう」と自信を持たせることができた。
- ⑥ 参加者の本研究会に満足している人は95%であった。

(6) 研修会の様子



(7) 研修会の効果検証

① 調査概要

概要

この調査は平成 29 年度、文部科学省受託の「英語必修化に伴う3・4年向けカリキュラム・教材・指導案、及び研修事業の開発」事業の一環として、先生方の「外国語活動」に対する意識や実態を調査した。

調査目的

本研修会によって、教員の外国語活動における指導力の変化について定量的な検証を行うことを目的とする。

調査方法

研修会の事前と事後に、調査票による同様の調査項目に回答するアンケート調査。

調査期間

2018 年 1 月 4 日(木)

調査対象

「第 2 回外国語活動研修会 in 東京」に参加の教員

回答数

有効回答数 156(研修会参加者 195 名、回収率 80.0%)

② 調査票の設計

以下の方針に従い、調査票を設計した。

1 本事業における、研修会の目的は「児童が実際に話せるようになる」ための「教員の(外国語活動における)指導力を向上させる」ことである。本調査では教員の指導力を、本事業における研修の成果目標及び、取組内容・取組方法に照らし、以下と定義する。

教員の外国語活動における指導力

- A 外国語活動の授業の理論を理解している
- B 教材(ICT 機器の効果的使用を含む)を有効に使用することができる
- C 担任主導の英語の授業ができる

※ただし、以上は「児童が話せるようになる」ことを目的とすることを前提とする

2 上記の教員の外国語活動に置ける指導力の前提として、「学習指導要領に示される指導目標、及び指導内容」を実効的に指導することができる能力と捉えた。

※ただし、文部科学省が示す外国語活動についての学習指導要領、及び、指導内容・教材が改訂されるため、本事業が企画された平成 29 年 4 月当時の状況を鑑みて作成

3 上記に定義された「指導力」の前提条件に、上記事項の認知、及び興味・関心を設定する。

③ 調査項目

調査項目は以下の通り。

＜外国語活動の認知、興味・関心＞に関する項目

・学習指導要領における、外国語活動の目標を知っている(研修前 Q2／研修後 Q10)

※1:全く知らない、5:非常によく知っている、とした順序尺度による評価

・学習指導要領における、外国語活動の指導内容を知っている(研修前 Q3／研修後 Q11)

※1:全く知らない、5:非常によく知っている、とした順序尺度による評価

・外国語活動を児童に教えることに興味がある(研修前 Q4／研修後 Q12)

※1:全く興味がない、5:非常に興味がある、とした順序尺度による評価

・外国語活動を児童に教えることに自信がある(研修前 Q5／研修後 Q13)

※1:全く自信がない、5:非常に自信がある、とした順序尺度による評価

＜外国語活動の指導内容＞に関する項目

【知識及び技能】

外国語の知識及び技能を「体験的に身に付けることができる」指導に関して、各指導内容における調査項目は以下の通り。

・指導内容「言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知る」(研修前 Q6／研修後 Q14)

A. 授業の理論をよく理解している

B. 教材(ICT 機器の効果的使用を含む)を有効に使用することができる

C. 担任主導の英語の授業ができる

※1:全くあてはまらない、5:非常によくあてはまる、とした順序尺度による評価

・指導内容「日本と外国の言語や文化について理解する」(研修前 Q7／研修後 Q15)

A. 授業の理論をよく理解している

B. 教材(ICT 機器の効果的使用を含む)を有効に使用することができる

C. 担任主導の英語の授業ができる

※1:全くあてはまらない、5:非常によくあてはまる、とした順序尺度による評価

【思考力、判断力、表現力等】

外国語の思考力、判断力、表現力等を「具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどを表現することを通して、身に付けることができる」指導に関して、各指導内容における調査項目は以下の通り。

・指導内容「自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を使って、相手に配慮しながら、伝え合う」(研修前 Q7／研修後 Q15)

- A. 授業の理論をよく理解している
- B. 教材(ICT 機器の効果的使用を含む)を有効に使用することができる
- C. 担任主導の英語の授業ができる

※1:全くあてはまらない、5:非常によくあてはまる、とした順序尺度による評価

・指導内容「身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどが伝わるよう、工夫して質問をしたり質問に答えたりする」(研修前 Q8／研修後 Q16)

- A. 授業の理論をよく理解している
- B. 教材(ICT 機器の効果的使用を含む)を有効に使用することができる
- C. 担任主導の英語の授業ができる

※1:全くあてはまらない、5:非常によくあてはまる、とした順序尺度による評価

＜本研修会の満足度＞

本研修会の満足度について、1:全くあてはまらない、5:非常によくあてはまる、とした順序尺度の項目を設定した。

＜本研修会への感想・意見＞

自由記述式で本研修会の感想・意見を調査した。

＜デモグラフィック＞

回答者の性別、年齢、教員経験年数、所属校の種別、現在の役職を調査項目とした。

④ 調査結果(回答者の状況)

回答者の性別・年齢

本調査において、156名の回答を得た(参加者数は195名、回収率80.0%)。

回答者の性別は、男性51.8%、女性45.5%、年代の中央値は40才代であった。

	度数	%
1.20才代	16	10.4%
2.30才代	55	35.7%
3.40才代	57	37.0%
4.50才代	25	16.2%
5.60才代以上	1	0.6%

図 2-4-1: 回答者の年齢

回答者の教員経験年数、所属校、及び、役職

教員経験年数の平均年数は15.0(SD8.8)であった。また、教員の所属校及び、役職の分布については、右図の通りであった。

	度数	%
1.小学校	133	86.9%
2.中学校	14	9.2%
3.高等学校	6	3.9%
4.特別支援学校	0	0.0%
5.その他	2	1.3%

図 2-4-2: 回答者の所属校

	度数	%
1.担任	110	73.3%
2.副担任	9	6.0%
3.学年主任	22	14.7%
4.生徒指導主任	7	4.7%
5.教務主任	10	6.7%
6.主幹教諭	6	4.0%
7.教頭	1	0.7%
8.校長	0	0.0%
9.養護教諭	0	0.0%
10.上記に無い	16	10.7%

図 2-4-3: 回答者の現在の役職

⑤ 調査結果

<外国語活動の認知、興味・関心>に関する項目

学習指導要領における、外国語活動の目標の認知に関して、研修前と研修後の差異の検討を行うために、Q2・Q10の回答結果に対してt検定を行った。その結果、研修前よりも研修後の方が有意に高い認知を示していた($t=-8.85$ 、 $df=155$ 、 $p<.001$)。

項目	研修前		研修後		t値
	M	SD	M	SD	
Q2 - Q10	3.13	0.94	3.75	0.78	-8.85***
Q3 - Q11	3.06	0.92	3.79	0.74	-10.5***
Q4 - Q12	4.38	0.84	4.55	0.67	-3.16***
Q5 - Q13	2.94	0.98	3.67	0.78	-12.2***

*** $p<.01$, **** $p<.001$

図 2-4-4: <外国語活動の認知、興味・関心>に関する項目の
平均値とSD および t 検定の結果

学習指導要領における、外国語活動の指導内容の認知に関して、研修前と研修後の差異の検討を行うために、Q3・Q11の回答結果に対してt検定を行った。その結果、研修前よりも研修後の方が有意に高い認知を示していた($t=-10.5$ 、 $df=155$ 、 $p<.001$)。

外国語活動を児童に教えることに興味に関して、研修前と研修後の差異の検討を行うために、Q4・Q12の回答結果に対してt検定を行った。その結果、研修前よりも研修後の方が有意に高い興味を示していた($t=-3.16$ 、 $df=155$ 、 $p<.001$)。

外国語活動を児童に教えることの自信に関して、研修前と研修後の差異の検討を行うために、Q5・Q13の回答結果に対してt検定を行った。その結果、研修前よりも研修後の方が有意に高い自信を有することを示していた($t=-12.2$ 、 $df=155$ 、 $p<.001$)。

<外国語活動の指導内容>に関する項目

外国語活動の児童への各指導内容に関する項目について以下の結果を得た。

【知識及び技能】

外国語の知識及び技能を「体験的に身に付けることができる」指導に関して、各指導内容における調査結果は以下の通りである。

① 指導内容「言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知る」

上記指導内容について研修前と研修後の差異の検討を行うために、各々対応する回答結果に対して、t検定を行った。結果は以下の通りである。

授業理論の理解については、研修前よりも研修後の方が有意に高い理解を有することを示していた(Q6A・Q14A、 $t=-11.6$ 、

$df=154$ 、 $p<.001$)。

教材(ICT 機器の効果的使用を含む)の有効な使用ができると

いう認知については、研修前よりも研修後の方が有意に高い使用ができるという認知を有することを示していた(Q6B・Q14B、 $t=-7.45$ 、 $df=154$ 、 $p<.001$)。

担任主導の英語の授業ができるという認知については、研修前よりも研修後の方が有意に高い授業ができるという認知を有することを示していた(Q6C・Q14C、 $t=-5.73$ 、 $df=155$ 、 $p<.001$)。

項目	研修前		研修後		t値
	M	SD	M	SD	
Q6A - Q14A	2.92	1.03	3.78	0.73	-11.6***
Q6B - Q14B	3.35	0.87	3.78	0.78	-7.45***
Q6C - Q14C	3.44	1.11	3.81	0.90	-5.73***

** $p<.01$, *** $p<.001$

図 2-4-5: 指導内容「言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知る」に関する項目の平均値とSD およびt検定の結果

② 指導内容「日本と外国の言語や文化について理解する」

上記指導内容について研修前と研修後の差異の検討を行うために、各々対応する回答結果に対して、t検定を行った。結果は以下の通りである。

授業理論の理解については、研修前よりも研修後の方が有意に高い理解を有することを示していた(Q7A・Q15A、 $t=-12.0$ 、 $df=155$ 、 $p<.001$)。

教材(ICT 機器の効果的使用を含む)の有効な使用ができると

いう認知については、研修前よりも研修後の方が有意に高い使用ができるという認知を有することを示していた(Q7B・Q15B、 $t=-8.0$ 、 $df=154$ 、 $p<.001$)。

項目	研修前		研修後		t値
	M	SD	M	SD	
Q7A - Q15A	2.83	1.01	3.66	0.77	-12.0***
Q7B - Q15B	3.21	0.91	3.70	0.85	-8.0***
Q7C - Q15C	3.26	1.09	3.75	0.88	-7.9***

** $p<.01$, *** $p<.001$

図 2-4-6: 指導内容「日本と外国の言語や文化について理解する」に関する項目の平均値とSD およびt検定の結果

担任主導の英語の授業ができるという認知については、研修前よりも研修後の方が有意に高い授業ができるという認知を有することを示していた(Q7C・Q15C、 $t=-7.9$ 、 $df=155$ 、 $p<.001$)。

【思考力、判断力、表現力等】

外国語の思考力、判断力、表現力等を「具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどを表現することを通して、身に付けることができる」指導に関して、各指導内容における調査結果は以下の通りである。

① 指導内容「自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を使って、相手に配慮しながら、伝え合う」

上記指導内容について研修前と研修後の差異の検討を行うために、各々対応する回答結果に対して、 t 検定を行った。結果は以下の通りである。

授業理論の理解については、
研修前よりも研修後の方が有意に高い理解を有することを示していた(Q8A・Q16A、

$t=-12.3$ 、 $df=155$ 、 $p<.001$)。

教材(ICT 機器の効果的使用を含む)の有効な使用ができるという認知については、研修前よりも研修後の方が有意に高い使用ができるという認知を有することを示していた(Q8B・Q16B、

$t=-10.0$ 、 $df=155$ 、 $p<.001$)。

担任主導の英語の授業ができるという認知については、研修前よりも研修後の方が有意に高い授業ができるという認知を有することを示していた(Q8C・Q16C、 $t=-8.4$ 、 $df=155$ 、 $p<.001$)。

項目	研修前		研修後		t値
	M	SD	M	SD	
Q8A - Q16A	2.90	0.98	3.75	0.76	-12.3***
Q8B - Q16B	3.17	0.92	3.73	0.80	-10.0***
Q8C - Q16C	3.26	1.11	3.83	0.86	-8.4***

** $p<.01$, *** $p<.001$

図 2-4-7: 指導内容「自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を使って、相手に配慮しながら、伝え合う」に関する項目の平均値とSD および t 検定の結果

② 指導内容「身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどが伝わるよう、工夫して質問 をしたり質問に答えたりする」

上記指導内容について研修前と研修後の差異の検討を行うために、各々対応する回答結果に対して、 t 検定を行った。結果は以下の通りである。

授業理論の理解については、研修前よりも研修後の方が有意に高い理解を有することを示していた(Q9A・Q17A、 $t=-11.4$ 、 $df=154$ 、 $p<.001$)。

教材(ICT 機器の効果的使用を含む)の有効な使用ができるという認知については、研修前よりも研修後の方が有意に高い使用ができるという認知を有することを示していた(Q9B・Q17B、 $t=-10.0$ 、 $df=155$ 、 $p<.001$)。

担任主導の英語の授業ができるという認知については、研修前よりも研修後の方が有意に高い授業ができるという認知を有することを示していた(Q9C・Q17C、 $t=-8.0$ 、 $df=155$ 、 $p<.001$)。

項目	研修前		研修後		t値
	M	SD	M	SD	
Q9A - Q17A	2.92	0.99	3.72	0.76	-11.4***
Q9B - Q17B	3.19	0.88	3.71	0.80	-10.0***
Q9C - Q17C	3.24	1.08	3.75	0.88	-8.0***

*** $p<.001$, ** $p<.01$

図 2-4-8: 指導内容「身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどが伝わるよう、工夫して質問 をしたり質問に答えたりする」に関する項目の平均値とSD および t 検定の結果

<本研修会の満足度>

本研修会の満足度は、平均値 4.71 (SD0.67) であった。全体の 79.4%が非常に満足と回答した。(1:非常に不満足、5:非常に満足)。

	度数	%
1.非常に不満足	1	0.6%
2	3	1.9%
3	4	2.6%
4	24	15.5%
5.非常に満足	123	79.4%

図 2-4-9: 研修会の満足度

<本研修会への感想・意見>

自由記述式で以下の回答を得た。以下抜粋を記載する。

- これから3.4年で英語を実施していく時に、学校でもなかなか話題にされずどうなることかと思っていた。今回見せて頂いた教材(フラッシュカードサイト)があればどの人も出来ると思った。ぜひ文科省のHPに教材を早くUPしてほしいです。今日の資料とサイトやカードを使って校内の先生に伝えていきたい。
- 学んだことを自分のものにしていけるように日々努力を続けます。
- とても勉強になりました！
- 内容が具体的で分かりやすかったです。
- これからどのようなことを具体的にしていけばよいのか、もっと知りたいです。
- 英語を学ぶ意義と話せるようにする方法について体験を通して学ぶことが出来ました。
- どのようにつないで話せるようにしていくのか具体的なことがよくわかりました。
- 英語をなぜ学ぶのか、論文数のちがいなど出しながら説得していきたいです。
- このような研修会が全国各地で行われれば必ず外国語教育が変わると思います。
- 具体的な指導法がよくわかりました。現場で実践してみたいです。
- 是非来年以降もこの研修を続けてほしいです。来年度は実証の結果がどうだったのか評価について学びたいです。
- 今日知った指導法が日本の外国語教育の中心(核)となることを願っています。
- 短い指示と反復練習を大切に授業づくりしていきたい。
- 提案性新情報、大阪から来ましたが来て良かったと思いました。復習をして自分の中で人に説明が出来るくらいになりたいです。
- 来年度もまた参加したい。
- 最高です。非常に詳しく教えて頂きました。
- 英語の授業を自分でしたいと思いました。

- ただ聞くだけでも質の高い情報が得られましたが、実技もあってさらに身に付けることができ、とてもよかったです。
- すごく分かりやすく、参加して良かった。指導案もとてもすごく、校内でも提案したい。
- 子どもの事実がものすごい。授業でここまで子どもは伸びるという事実を知りました。
- 具体的ですぐに授業に活かします。
- 具体的で教室で活かせる研修会でした。こういう実践に即つながる研修会が私の勤務する市町村委員会でもやってほしいと思いました。
- 実践と理論の両方をコンパクトに学ぶことができとてもよかったです。
- 英語を学ぶことの重要性を再認識しました。
- 英語教育の重要性をより深く認識できました。
- 実践的な内容だったのでとてもよかったです。校内で実践できるようにしたいです。
- 定期的にこれからも実施してください。
- エビデンスに基づいた指導法の良さがよくわかりました。
- 今年の4月から初めて小学校で教えることになり、ゼロスタートの不安があるが、具体的なヒントをたくさんいただいた。
- とても分かりやすく、子どもたちに外国語活動の授業がしたくなりました。
- 3時間があっという間でした。
- 実践、理論のバランスが大変良いです。
- 教室で足元から実践していきます。
- スピードがはやく、もっとじっくり各先生の講義を受けたかったです。
- 授業のレベルの高さに驚きました。
- 教室で足元から実践していきます。
- 授業のレベルの高さに驚きました。
- 大変有意義な研修会でした。
- 教員に対する研修の仕方が参考になり面白かった。
- 大変勉強になりました。英語勉強します。
- 勤務校におとしていきます。
- 重要なキーワードの数々、そして密度の高い資料ありがとうございました。
- カリキュラムありがとうございました。有意義な研修でした。
- 三構成法、とても勉強になりました。
- もっと勉強しなければならないということを思うばかりでした。参加して良かったです。
- とても厚い資料が大変うれしいです。
- 日本の国を支える人材を育てたいと強く思った。
- ゆっくり話していただけるとありがたいです。
- とても具体的な内容で勉強になりました。校内に情報や学びを知らせたいと思いました。
- 大切なポイントをたくさん教えていただきました。
- とても勉強になりました。
- ありがとうございました。

- 非常にぜいたくな時間を過ごすことができたと思います。
- 参加して良かったです。
- 前半のワークショップは、3 学期の授業に即生かせそうだと思う。
- ありがとうございました。
- カリキュラムとコンテンツが一体となった素晴らしいプログラムだと感じました。
- 具体的な指導を教えていただけてすぐにやろうと思いました。
- 子ども達を”未来で活躍させる人財”に育てるために、自分が出来ることをつきつめていかなければ…と思いました。
- 具体的な指導法を知ることができ、やってみたいと思えました。
- 実践も理論もしっかりとしたところが学びになりました。
- とてもすばらしかったです。
- とても良かったです。何よりもすぐに使える資料をいただけたこと、実際にやったことですぐにできそうです。またやっていただきたいです。ありがとうございました。
- 都合で受講できたのは最後の 3 講座だけでしたが、とても勉強になりました。参加することができて良かったです。最後まで細やかにご指導くださった事務局の先生方に感謝申し上げます。
- 体験が多くあり、自分でも授業したくなりました。
- 三構成法がとてもよく理解できました。
- フラッシュカードの練習の際、なかったので出来なかったのが残念でした。ただ、実際に指導の仕方を練習する機会が多く、自分や他の教員に教えることがしやすいので良かったです。
- 勉強になりました。
- 三構成法、2・1・0 の単語練習、繰り返し、9 文字以内の指示、そして楽しそうにやる、正しい指導法を行えば、井戸先生のクラスの子たちのように会話ができるようになるというイメージを持つことができました。
- 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 今後の英語教育について様々学ぶことができました。
- 来年 5.6 年生版をぜひ作って欲しいです。
- 具体的な指導法や実践を知ることができてとても勉強になった。
- 非常に参考になりました。
- 次回も受けたい。何度でも受講できる機会を作って欲しい。
- コンテンツの作成が難しいと感じました。
- 世界という地位の中で見ると日本の英語教育への必要性をひしひしと感じた。

⑥ 分析結果

回答者の属性

回答者の性別は男女共に偏りが無いが、30才代、40才代で全体の7割を占めることを考えると、実際の学校現場と比べてやや多い傾向にあるといえる。

所属校・役職に関しては、回答者のほとんどすべてが小学校担任である。

外国語活動の認知、興味・関心

回答者の80%以上が、外国語活動を児童に教えることについては、興味があると示されている(Q4)。

一方で、次期学習指導要領の移行期間を2018年度に間近に控えた2017年度1月の状況において、外国語活動の指導目標や指導内容についての回答から、よく周知されているとは言えない状況と言える(Q2、Q3)。

また、外国語活動を児童に教えることへの自信についても、研修前は半数以上の回答者が、自信が無いもしくは、どちらとも言えないと回答している(Q5)。

このことは、自由記述式の感想に多数回答のあった、具体的な授業や、指導方法が分からないということが原因と考えられる。

本研修においては、研修前、研修後の比較を行ったところ、指導の目標、指導内容についての知識が有意に高まったことが調査により示された。また、指導への興味・関心、及び自信に関しても有意に効果があったことも示された。

本研修は指導内容や目標の伝達だけではなく、実際の教材の利活用(ICT教材を含む)や、模擬授業といった外国語活動の技能の研修を行ったが、このような具体的な指導方法の研修を通し、小学校教員が外国語活動の指導の自信をつけることが重要であると考えられる。

外国語活動の指導内容

指導内容において、それぞれ、外国語指導の指導力の要素と考えられる、「A 授業の理論の理解」「B 教材の有効活用の可否」「C 担任主導の授業の可否」について調査を行ったが、研修前は、いずれの指導内容においても、「A 授業の理論」の理解に関する平均値が最も低いことが示されていた。しかし、研修後の結果を比較すると、「A 授業の理論」の変化が最も大きく、研修を通して「A 授業の理論」を効果的に伝達できたことが示された。

授業の理論として、本研修会では、「三構成法」を中心に講義を行ったが、本理論が明快で理解しやすいということが仮説として考えられる。

また、他の「B 教材の有効活用の可否」「C 担任主導の授業の可否」についても統計的に有意に効果があったことが示され、これら実技に関しても参加者の指導力に効果があったと言える。

満足度

全体の79.4%の回答者から本研修に非常に満足と回答を得たことは、本研修会をきっかけに実際の担任するクラスにおいて、外国語活動を指導する際の大きな動機に繋がると考えられる。

⑦ 主な成果

- ・研修会参加者の次期学習指導要領における外国語活動の目標、指導内容の理解について、有意に本研修会の効果が見られた。
- ・研修会参加者の外国語活動の指導における自信と興味について、有意に本研修会の効果が見られた。
- ・学習指導要領が定める、外国語活動の各指導内容に関して、本研修会により、「A 授業の理論の理解」「B 教材の有効活用の可否」「C 担任主導の授業の可否」に関して有意に効果が示された。
- ・知識の伝達のみならず、具体的で効果的な教材の活用方法、指導方法を参加者へ伝達することができた。
- ・参加者が高い満足度を得る研修会を行うことができた。

⑧ 研究の限界

本調査では、研修会そのものの効果を測定することを目的としたため、実際に授業できる能力ではなく、授業ができるという認知についての調査結果であることに留意が必要である。

本研修会に参加した者と、参加していない者を比較し、実際の授業における効果の調査は今後の課題とする。

4-3. 平成 29 年度 TOSS・文部科学省受託事業 第 1 回外国語活動研修会 in 小笠原

(1) 日時・場所

日時:平成29年8月28日(月)

場所:東京都小笠原村立小笠原小学校

(2) 参加者・配布資料

9 名、配布資料(カリキュラム、指導案、教材)

(2) 時程と授業

①8:00～8:45

学びの場4年生 外国語活動授業参観

②14:00～15:30

外国語活動研修会 4年生教室

講師:小林智子(英語教育アドバイザー教員) 群馬県沼田市立沼田東小学校

前半:新学習指導要領に向けた外国語活動理論編

～「三構成法」について～

三構成法とは、①単語練習、②状況設定(場面を明確にして対話文を聞かせること)・ダイアログ練習、③アクティビティやゲーム という3つの流れを行うことである。教材もこの流れに沿って作られており、単語練習用のフラッシュカードはもちろん、②の場面を設定した会話を絵カードにしたものも用意されており、授業で使ったものをそのまま研修会にも使用した。

後半:外国語活動実技編

1. 楽しく子どもを惹きつける単語練習の仕方
2. 状況設定(場面を明確にした対話文を聞かせ、訳さずに意味を理解させること)の仕方
状況設定フラッシュカードの活用方法及び、ダイアログ練習のさせ方
3. ゲーム・アクティビティ
かるたカードを使った活動を紹介した後、先生方にも活動を考えていただいた。

(3) 参加者のアンケート

問) 今回の子どもへの授業について、総合的にどのくらい満足していますか。

非常に満足	2名
満足	3名
どちらともいえない	1名
不満	0名
非常に不満	0名
参観していない	2名
無回答	1名

問) 今回の研修会について、総合的にどのくらい満足していますか。

非常に満足	3名
満足	4名
どちらともいえない	1名
不満	0名
非常に不満	0名
無回答	1名

自由記述

- どうもありがとうございました。教材がとっても使いやすく、ストレスなく授業展開できます。新しフラッシュを作る際の参考にもなりました。
- すぐにできそうな内容で勉強になりました。リズムのある授業がとてもすてきでした。ありがとうございました。
- 活動過程が明確で、進めやすいなと思いました。指導要領について学ぶ時間も必要だと感じております。
- わかりやすく実践的な研修がとても学び深い時間でした。考えをいかしていける努力をしていきたいと思っています。ありがとうございました。
- フラッシュカードの活用法、リズムやテンポよく笑顔で授業をすすめることは、すぐにでも自分の音楽の授業に生かしたいと思いました。ありがとうございました！
- 貴重な研修の機会をありがとうございました。実際の・実践的で楽しく実りある研修となりました。共通の教材を使って模擬授業(一部分ですが)してみるの、とてもやりやすく、少しの自信がもてました。ありがとうございました。
- 5分間隔の短い活動が大変新鮮でした。9つの活動は盛り沢山だなあ、と思いましたが、それを実際にできれば、子供は楽しく学習できると思いました。視覚的な教材の必要性を改めて感じると共に、教材もご準備いただき、とても助かりました。
- リズミカルなテンポのよいすてきな授業をありがとうございました。教師がアイドルのようになって、子どもたちをひっぱるといいんだなあ勉強になりました。

(4) 参加者のアンケート結果分析

授業を参観された6名中、5名の先生が、「大変満足」または「満足」と回答した。また、研修に参加された9名中、7名の先生が「大変満足」または「満足」と回答した。無回答だった1名も、自由記述では「どうもありがとうございました。教材がとっても使いやすく、ストレスなく授業展開できます。新しフラッシュを作る際の参考にもなりました。」と、研修に関して肯定的な回答をしていた。

「どちらともいえない」と回答していた1名は、自由記述欄は無回答だった。

(5) 主な成果

1. 担任から支援を要と言われていた児童が、授業の終わり頃になると、自ら手を挙げて発言するようになった。多様な練習に加え、様々な活動の中で繰り返し英語を口にするうちに、自信を持てるようになっていった様子が伺えた。
2. 子どもへの授業を実施することで、授業の流れ、教材の使い方の具体的なイメージをもっていただくことができた。
3. 先生方が研修に使えるように、カードを用意したことで、実際に使っていただくことができ、授業で使用する際のイメージを持っていただくことができた。
4. 理論的な説明をすることで、授業案に対するご理解を頂くことができ、実際の授業でもこれに沿って行っていただくことができた。
5. カードを使つての模擬授業を実際にやってみることで、自信がもてた。
6. かるたカードを使つての活動を考えていただくことで、講師対受講者という一方的な研修にならず、受講者同士の交流が生まれ、参加型の研修となった。
7. かるたカードを使つての活動を考えていただくことで、アイデアを共有しながら多様な活動が生み出された。多様な活動を知っていることで、児童の実態に応じた活動を選択することができるようになることが期待される。

(6) 研修会の様子



5. 文部科学省が示す 700 語程度の単語の習得計画とアルファベット習得のためのカリキュラム

5-1. 700 語程度の単語の習得計画

(1) 700 語程度の単語・語句の選定(既存)

文部科学省から平成29年9月21日、新教材説明会配布資料にある年間指導計画(3年生35時間、4年生35時間、5年生70時間、6年生70時間)に示された単語・語句の一覧を、品詞・領域別に次ページのよう
に整理を行った。

なお、アルファベット大文字・小文字も含まれていたが、「単語・語句」ではないと考え、表には含めなかった。また、**stand** と **up** のように別々に扱われているものや、**take a bath** のように定型句として扱われているものがあつたが、定型句として使われているものは定型句として整理した。また、色は **I like blue.** (3年生 Unit4) のように「名詞」として使うものと、**A red rectangle, please.** (3年生 Unit7) のように「形容詞」として使うものとを、分けて分類した。

平成29年9月21日 文部科学省 年間指導計画 単語・語句 一覧表

	学年・ユニット	単語	品詞・領域		学年・ユニット	単語	品詞・領域
1	3.7	a	冠詞	61	4.2	sunny	形容詞－天気
2	3.8	an	冠詞	62	6.2	bitter	形容詞－味・食感
3	4.2	the	冠詞	63	6.2	hard	形容詞－味・食感
4	3.1	goodbye	間投詞－あいさつ	64	6.2	salty	形容詞－味・食感
5	3.1	hello	間投詞－あいさつ	65	6.2	soft	形容詞－味・食感
6	3.1	hi	間投詞－あいさつ	66	6.2	sour	形容詞－味・食感
7	3.2	how	疑問詞	67	6.2	spicy	形容詞－味・食感
8	3.5	what	疑問詞	68	6.2	sweet	形容詞－味・食感
9	3.9	who	疑問詞	69	3.4	black	形容詞－色
10	4.8	why	疑問詞	70	3.4	blue	形容詞－色
11	5.6	where	疑問詞	71	3.4	brown	形容詞－色
12	3.3	many	形容詞	72	3.4	green	形容詞－色
13	3.3	right	形容詞	73	3.4	orange	形容詞－色
14	3.7	big	形容詞	74	3.4	pink	形容詞－色
15	3.7	small	形容詞	75	3.4	purple	形容詞－色
16	3.9	furry	形容詞	76	3.4	red	形容詞－色
17	3.9	long	形容詞	77	3.4	white	形容詞－色
18	3.9	round	形容詞	78	3.4	yellow	形容詞－色
19	3.9	scary	形容詞	79	3.4	do	助動詞
20	3.9	shiny	形容詞	80	3.4	don't	助動詞
21	4.2	OK	形容詞	81	5.5	can	助動詞
22	4.3	fresh	形容詞	82	5.5	can't	助動詞
23	4.5	short	形容詞	83	3.1	I	人称代名詞
24	4.6	closed	形容詞	84	4.8	my	人称代名詞
25	4.6	open	形容詞	85	4.8	our	人称代名詞
26	4.8	favorite	形容詞	86	5.5	he	人称代名詞
27	5.1	new	形容詞	87	5.5	she	人称代名詞
28	5.6	beautiful	形容詞	88	6.4	we	人称代名詞
29	5.6	delicious	形容詞	89	6.9	us	人称代名詞
30	5.6	exciting	形容詞	90	3.2	you	人称代名詞
31	5.6	fun	形容詞	91	5.1	your	人称代名詞
32	5.8	busy	形容詞	92	5.9	because	接続詞
33	5.8	special	形容詞	93	6.4	but	接続詞
34	6.2	traditional	形容詞	94	3.7	for	前置詞
35	6.3	famous	形容詞	95	4.2	on	前置詞
36	6.3	old	形容詞	96	4.4	about	前置詞
37	6.7	best	形容詞	97	5.4	at	前置詞－時
38	4.6	off	形容詞または副詞	98	5.7	by	前置詞－場所
39	4.2	cold	形容詞－気温	99	5.7	in	前置詞－場所
40	4.2	hot	形容詞－気温	100	5.7	under	前置詞－場所
41	3.2	fine	形容詞－気分	101	6.1	from	前置詞－場所
42	3.2	good	形容詞－気分	102	3.3	that	代名詞
43	3.2	great	形容詞－気分	103	3.7	this	代名詞
44	3.2	happy	形容詞－気分	104	3.8	it	代名詞
45	3.2	hungry	形容詞－気分	105	3.3	I'm sorry.	定型句
46	3.2	sad	形容詞－気分	106	3.6	here you are	定型句
47	3.2	sleepy	形容詞－気分	107	3.6	thank you	定型句
48	3.2	tired	形容詞－気分	108	3.6	you're welcome	定型句
49	5.9	active	形容詞－性格	109	4.2	let's	定型句
50	5.9	brave	形容詞－性格	110	4.2	turn right/left	定型句
51	5.9	cool	形容詞－性格	111	4.8	go straight	定型句
52	5.9	fantastic	形容詞－性格	112	4.9	brush my teeth	定型句
53	5.9	friendly	形容詞－性格	113	4.9	check my school bag	定型句
54	5.9	gentle	形容詞－性格	114	4.9	do my homework	定型句
55	5.9	kind	形容詞－性格	115	4.9	go home	定型句
56	5.9	strong	形容詞－性格	116	4.9	go to school	定型句
57	5.9	tough	形容詞－性格	117	4.9	have breakfast	定型句
58	4.2	cloudy	形容詞－天気	118	4.9	leave my house	定型句
59	4.2	rainy	形容詞－天気	119	4.9	put away my futon	定型句
60	4.2	snowy	形容詞－天気	120	4.9	take a bath	定型句

	学年・ユニット	単語	品詞・領域		学年・ユニット	単語	品詞・領域
121	4.9	take out the garbage	定型句	181	5.5	swim	動詞
122	4.9	wash my face	定型句	182	5.6	buy	動詞
123	5.1	very much	定型句	183	5.6	eat	動詞
124	6.8	am good at ~	定型句	184	5.6	see	動詞
125	6.8	Are you good at~?	定型句	185	5.6	visit	動詞
126	3.1	See you (see +you)	定型句ーあいさつ	186	5.8	enjoy	動詞
127	3.2	how are you	定型句ーあいさつ	187	6.9	join	動詞
128	4.1	Good afternoon.	定型句ーあいさつ	188	6.9	practice	動詞
129	4.1	Good morning.	定型句ーあいさつ	189	6.9	meet	動詞?
130	5.1	Nice to meet you.	定型句ーあいさつ	190	3.1	am	動詞ーbe動詞
131	6.2	Welcome to ~.	定型句ー間投詞	191	3.2	are	動詞ーbe動詞
132	5.8	how much	定型句ー値段	192	3.3	is	動詞ーbe動詞
133	4.4	wake up	定型句ー動詞	193	6.5	was	動詞ーbe動詞
134	4.6	try again	定型句ー動詞	194	6.5	ate	動詞ー過去形
135	5.4	clean my room	定型句ー動詞	195	6.5	enjoyed	動詞ー過去形
136	5.4	get the newspaper	定型句ー動詞	196	6.5	saw	動詞ー過去形
137	5.4	set the table	定型句ー動詞	197	6.5	went	動詞ー過去形
138	5.4	walk my dog	定型句ー動詞	198	6.4	dancing	動名詞
139	5.4	wash the dishes	定型句ー動詞	199	6.4	jogging	動名詞
140	5.8	would like	定型句ー動詞	200	6.4	playing	動名詞
141	5.9	is good at~	定型句ー動詞	201	6.4	reading	動名詞
142	6.8	want to be	定型句ー動詞	202	6.4	shopping	動名詞
143	3.4	like	動詞	203	6.4	singing	動名詞
144	4.2	jump	動詞	204	6.4	walking	動名詞
145	4.2	look	動詞	205	6.5	camping	動名詞
146	4.2	play	動詞	206	6.5	fishing	動名詞
147	4.2	put	動詞	207	6.5	hiking	動名詞
148	4.2	run	動詞	208	3.3	no	副詞
149	4.2	sit down	動詞	209	3.3	yes	副詞
150	4.2	stand up	動詞	210	3.6	please	副詞
151	4.2	stop	動詞	211	3.9	not	副詞
152	4.2	touch	動詞	212	4.2	inside	副詞
153	4.2	turn around	動詞	213	4.2	outside	副詞
154	4.2	walk	動詞	214	4.4	a.m.	副詞
155	4.4	study	動詞	215	4.4	p.m.	副詞
156	4.5	have	動詞	216	6.4	so	副詞
157	4.7	want	動詞	217	5.4	always	副詞ー頻度
158	4.8	go	動詞	218	5.4	never	副詞ー頻度
159	5.1	spell	動詞	219	5.4	sometimes	副詞ー頻度
160	5.1	think	動詞	220	5.4	usually	副詞ー頻度
161	5.1	watch	動詞	221	3.1	friends	名詞ーその他
162	5.3	study	動詞	222	5.1	class	名詞ーその他
163	5.5	cook	動詞	223	5.1	name	名詞ーその他
164	5.5	do judo	動詞	224	6.3	nut	名詞ーその他
165	5.5	do kendo	動詞	225	6.6	athletics	名詞ーオリパラ
166	5.5	jump high	動詞	226	6.6	football	名詞ーオリパラ
167	5.5	play badminton	動詞	227	6.6	gymnastics	名詞ーオリパラ
168	5.5	play kendama	動詞	228	6.6	Olympic games	名詞ーオリパラ
169	5.5	play shogi	動詞	229	6.6	para swimming	名詞ーオリパラ
170	5.5	play soccer	動詞	230	6.6	Paralympic games	名詞ーオリパラ
171	5.5	play tabletennis	動詞	231	6.6	sitting volleyball	名詞ーオリパラ
172	5.5	play the piano	動詞	232	6.6	wheelchair basketball	名詞ーオリパラ
173	5.5	play the recorder	動詞	233	6.6	wheelchair marathon	名詞ーオリパラ
174	5.5	play volleyball	動詞	234	6.6	wheelchair tennis	名詞ーオリパラ
175	5.5	ride a bicycle	動詞	235	4.8	place	名詞ーカテゴリー
176	5.5	ride a unicycle	動詞	236	3.5	color	名詞ーカテゴリー
177	5.5	run fast	動詞	237	3.5	food	名詞ーカテゴリー
178	5.5	sing well	動詞	238	3.5	fruit	名詞ーカテゴリー
179	5.5	skate	動詞	239	3.5	sport	名詞ーカテゴリー
180	5.5	ski	動詞	240	3.6	alphabet	名詞ーカテゴリー

	学年・ユニット	単語	品詞・領域		学年・ユニット	単語	品詞・領域
241	4.2	weather	名詞－カテゴリー	301	3.5	banana	名詞－果物
242	4.3	day	名詞－カテゴリー	302	3.5	grape	名詞－果物
243	4.6	letter	名詞－カテゴリー	303	3.5	kiwi fruit	名詞－果物
244	4.7	meat	名詞－カテゴリー	304	3.5	lemon	名詞－果物
245	4.7	vegetable	名詞－カテゴリー	305	3.5	melon	名詞－果物
246	5.1	animal	名詞－カテゴリー	306	3.5	orange	名詞－果物
247	5.8	dessert	名詞－カテゴリー	307	3.5	peach	名詞－果物
248	5.8	drink	名詞－カテゴリー	308	3.5	pineapple	名詞－果物
249	6.2	culture	名詞－カテゴリー	309	4.7	blue berry	名詞－果物
250	6.2	festival	名詞－カテゴリー	310	4.7	cherry	名詞－果物
251	3.4	baseball	名詞－スポーツ	311	6.7	drama festival	名詞－学校行事
252	3.4	basketball	名詞－スポーツ	312	6.7	entrance ceremony	名詞－学校行事
253	3.4	dodgeball	名詞－スポーツ	313	6.7	field trip	名詞－学校行事
254	3.4	soccer	名詞－スポーツ	314	6.7	graduation day	名詞－学校行事
255	3.4	swimming	名詞－スポーツ	315	6.7	music festival	名詞－学校行事
256	3.5	table tennis	名詞－スポーツ	316	6.7	school trip	名詞－学校行事
257	3.5	volleyball	名詞－スポーツ	317	6.7	sports day	名詞－学校行事
258	5.1	badminton	名詞－スポーツ	318	6.7	swimming meet	名詞－学校行事
259	3.3	stroke	名詞－その他	319	6.7	volunteer day	名詞－学校行事
260	3.6	king	名詞－その他	320	6.9	test	名詞－学校行事
261	3.6	queen	名詞－その他	321	3.6	drum	名詞－楽器
262	3.8	hint	名詞－その他	322	3.6	violin	名詞－楽器
263	3.8	nest	名詞－その他	323	5.2	autumn	名詞－季節
264	4.1	world	名詞－その他	324	5.2	fall	名詞－季節
265	4.4	bath time	名詞－その他	325	5.2	spring	名詞－季節
266	4.4	bed time	名詞－その他	326	5.2	summer	名詞－季節
267	4.4	dream time	名詞－その他	327	5.2	winter	名詞－季節
268	4.4	homework time	名詞－その他	328	5.3	calligraphy	名詞－教科など
269	4.4	time	名詞－その他	329	5.3	cleaning time	名詞－教科など
270	4.6	exit	名詞－その他	330	5.3	English	名詞－教科など
271	4.6	news	名詞－その他	331	5.3	home economics	名詞－教科など
272	4.6	police	名詞－その他	332	5.3	Japanese	名詞－教科など
273	5.7	treasure	名詞－その他	333	5.3	math	名詞－教科など
274	5.8	menu	名詞－その他	334	5.3	moral education	名詞－教科など
275	5.9	hero	名詞－その他	335	5.3	P.E.	名詞－教科など
276	6.1	nickname	名詞－その他	336	5.3	recess	名詞－教科など
277	6.2	castle	名詞－その他	337	5.3	social studies	名詞－教科など
278	6.7	memory	名詞－その他	338	3.3	circle	名詞－形
279	6.8	future	名詞－その他	339	3.3	cross	名詞－形
280	6.9	junior high school	名詞－その他	340	3.3	triangle	名詞－形
281	6.9	member	名詞－その他	341	3.7	diamond	名詞－形
282	6.9	team	名詞－その他	342	3.7	heart	名詞－形
283	3.4	milk	名詞－飲み物	343	3.7	rectangle	名詞－形
284	3.4	orange juice	名詞－飲み物	344	3.7	square	名詞－形
285	4.6	coffee	名詞－飲み物	345	3.7	star	名詞－形
286	4.6	juice	名詞－飲み物	346	5.2	April	名詞－月
287	5.8	corn soup	名詞－飲み物	347	5.2	August	名詞－月
288	5.8	green tea	名詞－飲み物	348	5.2	December	名詞－月
289	5.8	mineral water	名詞－飲み物	349	5.2	February	名詞－月
290	5.8	soda pop	名詞－飲み物	350	5.2	January	名詞－月
291	5.8	brother	名詞－家族	351	5.2	July	名詞－月
292	5.8	father	名詞－家族	352	5.2	June	名詞－月
293	5.8	grandfather	名詞－家族	353	5.2	March	名詞－月
294	5.8	grandmother	名詞－家族	354	5.2	May	名詞－月
295	5.8	mother	名詞－家族	355	5.2	November	名詞－月
296	5.8	sister	名詞－家族	356	5.2	October	名詞－月
297	6.5	grandparent	名詞－家族	357	5.2	September	名詞－月
298	3.3	apple	名詞－果物	358	4.6	restaurant	名詞－建物・施設
299	3.3	strawberry	名詞－果物	359	5.2	Children's day	名詞－行事
300	3.3	tomato	名詞－果物	360	5.2	Dolls' festival	名詞－行事

	学年・ユニット	単語	品詞・領域		学年・ユニット	単語	品詞・領域
361	5.2	New year's day	名詞－行事	421	5.2	thirtieth	名詞－序数
362	5.2	New year's eve	名詞－行事	422	5.2	thirty first	名詞－序数
363	6.2	firework	名詞－行事	423	5.2	twelfth	名詞－序数
364	6.2	snow festival	名詞－行事	424	5.2	twentieth	名詞－序数
365	6.2	star festival	名詞－行事	425	5.2	twenty eighth	名詞－序数
366	6.5	vacation	名詞－行事	426	5.2	twenty fifth	名詞－序数
367	6.9	event	名詞－行事	427	5.2	twenty first	名詞－序数
368	5.6	Australia	名詞－国	428	5.2	twenty fourth	名詞－序数
369	5.6	Belgium	名詞－国	429	5.2	twenty ninth	名詞－序数
370	5.6	Brazil	名詞－国	430	5.2	twenty second	名詞－序数
371	5.6	Canada	名詞－国	431	5.2	twenty seventh	名詞－序数
372	5.6	China	名詞－国	432	5.2	twenty sixth	名詞－序数
373	5.6	Egypt	名詞－国	433	5.2	twenty third	名詞－序数
374	5.6	Finland	名詞－国	434	3.6	jet	名詞－乗り物
375	5.6	France	名詞－国	435	3.6	yacht	名詞－乗り物
376	5.6	Germany	名詞－国	436	3.7	bus	名詞－乗り物
377	5.6	India	名詞－国	437	4.6	taxi	名詞－乗り物
378	5.6	Ireland	名詞－国	438	5.7	corner	名詞－場所
379	5.6	Italy	名詞－国	439	6.4	town	名詞－場所
380	5.6	Japan	名詞－国	440	4.6	bus stop	名詞－場所・施設
381	5.6	Korea	名詞－国	441	4.8	school	名詞－場所・施設
382	5.6	Peru	名詞－国	442	5.7	book store	名詞－場所・施設
383	5.6	Russia	名詞－国	443	5.7	convenience store	名詞－場所・施設
384	5.6	Spain	名詞－国	444	5.7	department store	名詞－場所・施設
385	5.6	Thailand	名詞－国	445	5.7	fire station	名詞－場所・施設
386	5.6	the UK	名詞－国	446	5.7	gas station	名詞－場所・施設
387	5.6	the USA	名詞－国	447	5.7	hospital	名詞－場所・施設
388	6.6	Malaysia	名詞－国	448	5.7	park	名詞－場所・施設
389	6.6	Norway	名詞－国	449	5.7	police station	名詞－場所・施設
390	6.6	Thailand	名詞－国	450	5.7	post office	名詞－場所・施設
391	6.6	Vietnam	名詞－国	451	5.7	station	名詞－場所・施設
392	3.8	dragonfly	名詞－昆虫	452	5.7	supermarket	名詞－場所・施設
393	3.8	grasshopper	名詞－昆虫	453	6.4	amusement park	名詞－場所・施設
394	3.8	moth	名詞－昆虫	454	6.4	aquarium	名詞－場所・施設
395	3.8	spider	名詞－昆虫	455	6.4	Ferris wheel	名詞－場所・施設
396	6.6	evening	名詞－時間帯	456	6.4	roller coaster	名詞－場所・施設
397	3.4	rainbow	名詞－自然	457	6.4	stadium	名詞－場所・施設
398	3.6	sun	名詞－自然	458	6.4	swimming pool	名詞－場所・施設
399	3.6	tree	名詞－自然	459	6.5	beach	名詞－場所・施設
400	3.7	flower	名詞－自然	460	6.5	zoo	名詞－場所・施設
401	6.2	desert	名詞－自然	461	6.5	lake	名詞－場所・施設・自然
402	6.4	nature	名詞－自然	462	6.5	mountain	名詞－場所・施設・自然
403	5.2	eighteenth	名詞－序数	463	6.5	river	名詞－場所・施設・自然
404	5.2	eighth	名詞－序数	464	6.5	sea	名詞－場所・施設・自然
405	5.2	eleventh	名詞－序数	465	5.3	baseball player	名詞－職業
406	5.2	fifteenth	名詞－序数	466	5.3	doctor	名詞－職業
407	5.2	fifth	名詞－序数	467	5.3	florist	名詞－職業
408	5.2	first	名詞－序数	468	5.3	police officer	名詞－職業
409	5.2	fourteenth	名詞－序数	469	5.3	soccer player	名詞－職業
410	5.2	fourth	名詞－序数	470	6.8	artist	名詞－職業
411	5.2	nineteenth	名詞－序数	471	6.8	astronaut	名詞－職業
412	5.2	ninth	名詞－序数	472	6.8	baker	名詞－職業
413	5.2	second	名詞－序数	473	6.8	bus driver	名詞－職業
414	5.2	seventeenth	名詞－序数	474	6.8	comedian	名詞－職業
415	5.2	seventh	名詞－序数	475	6.8	cook	名詞－職業
416	5.2	sixteenth	名詞－序数	476	6.8	dentist	名詞－職業
417	5.2	sixth	名詞－序数	477	6.8	farmer	名詞－職業
418	5.2	tenth	名詞－序数	478	6.8	figure skater	名詞－職業
419	5.2	third	名詞－序数	479	6.8	flight attendant	名詞－職業
420	5.2	thirteenth	名詞－序数	480	6.8	pilot	名詞－職業

	学年・ユニット	単語	品詞・領域
481	6.8	singer	名詞－職業
482	6.8	vet	名詞－職業
483	6.8	zoo keeper	名詞－職業
484	3.4	black	名詞－色
485	3.4	blue	名詞－色
486	3.4	brown	名詞－色
487	3.4	green	名詞－色
488	3.4	orange	名詞－色
489	3.4	pink	名詞－色
490	3.4	purple	名詞－色
491	3.4	red	名詞－色
492	3.4	white	名詞－色
493	3.4	yellow	名詞－色
494	3.4	ice cream	名詞－食べ物
495	3.4	pudding	名詞－食べ物
496	3.5	cake	名詞－食べ物
497	3.5	egg	名詞－食べ物
498	3.5	hamburger	名詞－食べ物
499	3.5	jam	名詞－食べ物
500	3.5	noodle	名詞－食べ物
501	3.5	pizza	名詞－食べ物
502	3.5	rice ball	名詞－食べ物
503	3.5	salad	名詞－食べ物
504	3.5	spaghetti	名詞－食べ物
505	3.5	steak	名詞－食べ物
506	4.3	pie	名詞－食べ物
507	4.3	sandwich	名詞－食べ物
508	4.3	soup	名詞－食べ物
509	4.6	donut	名詞－食べ物
510	5.1	chocolate	名詞－食べ物
511	5.8	beef steak	名詞－食べ物
512	5.8	bread	名詞－食べ物
513	5.8	curry and rice	名詞－食べ物
514	5.8	French fries	名詞－食べ物
515	5.8	fried chicken	名詞－食べ物
516	5.8	grilled fish	名詞－食べ物
517	5.8	omelet	名詞－食べ物
518	5.8	parfait	名詞－食べ物
519	5.8	rice	名詞－食べ物
520	5.8	spaghetti	名詞－食べ物
521	5.8	yogurt	名詞－食べ物
522	4.4	breakfast	名詞－食事
523	4.4	dinner	名詞－食事
524	4.4	lunch	名詞－食事
525	3.6	box	名詞－身の回り
526	3.6	umbrella	名詞－身の回り
527	3.6	watch	名詞－身の回り
528	4.5	calendar	名詞－身の回り
529	4.5	chair	名詞－身の回り
530	4.5	clock	名詞－身の回り
531	4.5	desk	名詞－身の回り
532	5.7	cup	名詞－身の回り
533	5.8	table	名詞－身の回り
534	4.6	telephone	名詞－身の回りのもの
535	6.3	racket	名詞－身の回りのもの
536	3.9	ears	名詞－身体
537	3.9	eyes	名詞－身体
538	3.9	head	名詞－身体
539	3.9	knees	名詞－身体
540	3.9	mouth	名詞－身体

	学年・ユニット	単語	品詞・領域
541	3.9	nose	名詞－身体
542	3.9	shoulders	名詞－身体
543	3.9	toes	名詞－身体
544	4.2	hand	名詞－身体
545	4.2	leg	名詞－身体
546	3.3	eight	名詞－数字
547	3.3	eleven	名詞－数字
548	3.3	fifteen	名詞－数字
549	3.3	five	名詞－数字
550	3.3	four	名詞－数字
551	3.3	fourteen	名詞－数字
552	3.3	nine	名詞－数字
553	3.3	nineteen	名詞－数字
554	3.3	one	名詞－数字
555	3.3	seven	名詞－数字
556	3.3	seventeen	名詞－数字
557	3.3	six	名詞－数字
558	3.3	sixteen	名詞－数字
559	3.3	ten	名詞－数字
560	3.3	thirteen	名詞－数字
561	3.3	three	名詞－数字
562	3.3	twenty	名詞－数字
563	3.3	two	名詞－数字
564	3.6	thirty	名詞－数字
565	3.6	twenty eight	名詞－数字
566	3.6	twenty five	名詞－数字
567	3.6	twenty four	名詞－数字
568	3.6	twenty nine	名詞－数字
569	3.6	twenty one	名詞－数字
570	3.6	twenty seven	名詞－数字
571	3.6	twenty six	名詞－数字
572	3.6	twenty three	名詞－数字
573	3.6	twenty two	名詞－数字
574	3.6	zero	名詞－数字
575	4.4	fifty	名詞－数字
576	4.4	forty	名詞－数字
577	4.4	sixty	名詞－数字
578	5.8	eighty	名詞－数字
579	5.8	hundred	名詞－数字
580	5.8	ninety	名詞－数字
581	5.8	seventy	名詞－数字
582	3.6	fish	名詞－動物
583	3.6	gorilla	名詞－動物
584	3.6	monkey	名詞－動物
585	3.6	pig	名詞－動物
586	3.6	rabbit	名詞－動物
587	3.7	bear	名詞－動物
588	3.7	cat	名詞－動物
589	3.7	dog	名詞－動物
590	3.7	mouse	名詞－動物
591	3.7	panda	名詞－動物
592	3.8	elephant	名詞－動物
593	3.8	owl	名詞－動物
594	3.8	raccoon dog	名詞－動物
595	3.8	tiger	名詞－動物
596	3.9	chicken	名詞－動物
597	3.9	cow	名詞－動物
598	3.9	dragon	名詞－動物
599	3.9	horse	名詞－動物
600	3.9	sheep	名詞－動物

	学年・ユニット	単語	品詞・領域
601	3.9	snake	名詞－動物
602	3.9	wild boar	名詞－動物
603	4.7	beef	名詞－肉
604	4.7	pork	名詞－肉
605	5.8	daifuku	名詞－日本の食べ物
606	5.8	gyoza	名詞－日本の食べ物
607	5.8	miso soup	名詞－日本の食べ物
608	5.8	ramen	名詞－日本の食べ物
609	3.3	crayon	名詞－筆記用具
610	3.3	eraser	名詞－筆記用具
611	3.3	pencil	名詞－筆記用具
612	3.3	ruler	名詞－筆記用具
613	4.8	arts and crafts room	名詞－部屋・施設
614	4.8	boys' room	名詞－部屋・施設
615	4.8	computer room	名詞－部屋・施設
616	4.8	cooking room	名詞－部屋・施設
617	4.8	entrance	名詞－部屋・施設
618	4.8	girls' room	名詞－部屋・施設
619	4.8	gym	名詞－部屋・施設
620	4.8	library	名詞－部屋・施設
621	4.8	lunch room	名詞－部屋・施設
622	4.8	music room	名詞－部屋・施設
623	4.8	playground	名詞－部屋・施設
624	4.8	school nurse's office	名詞－部屋・施設
625	4.8	school principal's office	名詞－部屋・施設
626	4.8	science room	名詞－部屋・施設
627	4.8	teachers' office	名詞－部屋・施設
628	3.6	hat	名詞－服飾
629	4.2	boot	名詞－服飾
630	4.2	gloves	名詞－服飾
631	4.2	pants	名詞－服飾
632	4.2	rain boots	名詞－服飾
633	4.2	raincoat	名詞－服飾
634	4.2	shorts	名詞－服飾
635	4.2	sweater	名詞－服飾
636	4.2	Tshirt	名詞－服飾
637	5.7	cap	名詞－服飾
638	6.9	uniform	名詞－服飾
639	3.6	book	名詞－文房具
640	3.6	ink	名詞－文房具
641	3.6	notebook	名詞－文房具
642	4.5	glue stick	名詞－文房具
643	4.5	magnet	名詞－文房具
644	4.5	marker	名詞－文房具
645	4.5	pen	名詞－文房具
646	4.5	pencil case	名詞－文房具
647	4.5	pencil sharpener	名詞－文房具
648	4.5	scissors	名詞－文房具
649	4.5	stapler	名詞－文房具
650	3.4	carrot	名詞－野菜
651	3.4	cucumber	名詞－野菜
652	3.4	green pepper	名詞－野菜
653	3.4	onion	名詞－野菜
654	4.3	mushroom	名詞－野菜
655	4.3	watermelon	名詞－野菜
656	4.7	cabbage	名詞－野菜
657	4.7	corn	名詞－野菜
658	4.7	potato	名詞－野菜
659	5.1	lettuce	名詞－野菜
660	3.3	ball	名詞－遊び

	学年・ユニット	単語	品詞・領域
661	3.3	marble	名詞－遊び
662	3.6	card	名詞－遊び
663	4.2	bingo	名詞－遊び
664	4.2	game	名詞－遊び
665	4.2	jump rope	名詞－遊び
666	4.2	tag	名詞－遊び
667	5.7	block	名詞－遊び
668	4.3	Sunday	名詞－曜日
669	4.3	Monday	名詞－曜日
670	4.3	Tuesday	名詞－曜日
671	4.3	Wednesday	名詞－曜日
672	4.3	Thursday	名詞－曜日
673	4.3	Friday	名詞－曜日
674	4.3	Saturday	名詞－曜日

(2) 700 語程度の単語・語句の選定(提案)

以上の他に、「他教科」「日本文化」「地域文化」という本研究独自のカテゴリーの語や語句を追加し、計 700 語とした。

学年・ユニット	単語	品詞・領域
4.3	which	提案－疑問詞
4.10	be famous for	提案－定型句
4.10	go diving	提案－定型句
4.2	like to do	提案－定型句
3.5	ayatori	提案－日本文化
3.5	furin (風鈴)	提案－日本文化
3.5	go (囲碁)	提案－日本文化
3.5	hyakuninisshu	提案－日本文化
3.5	Japanese food	提案－日本文化
3.5	karuta	提案－日本文化
3.5	kimono	提案－日本文化
3.5	soba	提案－日本文化
6.4	shrine	提案－日本文化
6.4	temple	提案－日本文化
3.5	tempura	提案－日本文化
3.5	udon	提案－日本文化
3.5	fan (うちわ)	提案－日本文化
3.10	ogasawara komori	提案－地域文化
3.10	島寿司	提案－地域文化
3.10	南洋踊り	提案－地域文化
6.4	stove	提案－他教科-家庭科
6.4	sofa	提案－他教科-家庭科
6.4	TV	提案－他教科-家庭科
6.4	door	提案－他教科-家庭科
6.4	window	提案－他教科-家庭科
6.4	light	提案－他教科-家庭科

地域文化に関しては、その地域によって扱う言葉を変えることで、高い児童の興味・関心を引き出すことができると考えられる。

「他教科」に関しては、「家庭科」の学習に「快適な住まい」という単元がある。そこで、理想の部屋などを英語で考えることもできるであろうと考えた。6年生の Unit4としたが、時期に合わせて調節するとよい。

これらの 700 語に関して、小学校学習指導要領解説外国語編には、聞いて意味のわかる「受容語」と、話しながら使うことのできる「発信語」とを合わせたものである、という記載がある。

3、4年生で出てくる単語を、その時間の中で定着をさせても、時間が経てば忘れてしまうことから、できるだけ、3、4年生ではくり返し扱ったり、復習をしたりしながら、5、6年生で定着できるように指導していくよう、カリキュラムや指導案を作成した。

5-2. アルファベット習得のためのカリキュラム

文字指導については、①アルファベットの習得 ②十分に慣れ親しんだ簡単な語句を読むこと ③語順の意識 ④音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写す ⑤音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書く、ということが含まれる。

本研究では、アルファベット習得のためのカリキュラムに焦点を当てた。次期学習指導要領によると、アルファベットの指導に関しては

中学年	読み方を聞いて認識できる
高学年	大文字・小文字を活字体で書く

と、なっている。

高学年になると、読む、書くの指導に加わり、「聞く」「話す」内容も高度化することから、以下のような考えをもとに、カリキュラムを作成した。

3年生	大文字の認識・筆順の確認・なぞり書き・写し書き
4年生	大文字・小文字の認識・筆順の確認・なぞり書き・写し書き

また、アルファベットの指導は、授業に慣れ始めた5月くらいから、帯活動として毎回の授業で行うこととした。左右対称な形、一つの線で書けるものから教える、という方法もあるが、教師が何を教えて何を教えていないのかがわからなくなり、混乱が予想される。時にはアルファベットソングを歌いながら、アルファベット順に指導を行うこととする。

3年生 アルファベット指導計画

Unit		アルファベットの指導
Unit1 Hello!	1	なし
	2	なし
Unit2 How are you?	3	なし
	4	なし
	5	A 読み方・筆順・なぞり書き
Unit3 How many?	6	B 読み方・筆順・なぞり書き
	7	C 読み方・筆順・なぞり書き
	8	D 読み方・筆順・なぞり書き
	9	E 読み方・筆順・なぞり書き
Unit4 I like blue.	10	F 読み方・筆順・なぞり書き
	11	G 読み方・筆順・なぞり書き
	12	H 読み方・筆順・なぞり書き
	13	I 読み方・筆順・なぞり書き

Unit5 What do you like?	14	J 読み方・筆順・なぞり書き
	15	K 読み方・筆順・なぞり書き
	16	L 読み方・筆順・なぞり書き
	17	M 読み方・筆順・なぞり書き
Unit6 ALPHABET	18	N 読み方・筆順・なぞり書き
	19	O 読み方・筆順・なぞり書き
Unit7 This is for you.	20	P 読み方・筆順・なぞり書き
	21	Q 読み方・筆順・なぞり書き
	22	R 読み方・筆順・なぞり書き
	23	S 読み方・筆順・なぞり書き
Unit8 What's this?	24	T 読み方・筆順・なぞり書き
	25	U 読み方・筆順・なぞり書き
	26	V 読み方・筆順・なぞり書き
	27	W 読み方・筆順・なぞり書き
	28	X 読み方・筆順・なぞり書き
Unit9 Who are you? きみはだれ?	29	Y 読み方・筆順・なぞり書き
	30	Z 読み方・筆順・なぞり書き
	31	復習 A・N
	32	復習 O・Z
Unit10 Welcome to Ogasawara.	33	復習 A・Z
	34	復習 A・Z
	35	A・Z 認識チェック 小文字の導入

4年生 アルファベット指導計画

Unit		アルファベットの指導
Unit1 Hello, world!	1	なし
	2	なし
Unit 2 Let's play cards!	3	なし
	4	なし
	5	A・a 読み方・筆順・なぞり書き
	6	B・b 読み方・筆順・なぞり書き
Unit3 I like Mondays.	7	C・c 読み方・筆順・なぞり書き
	8	D・d 読み方・筆順・なぞり書き
	9	E・e 読み方・筆順・なぞり書き
	10	F・f 読み方・筆順・なぞり書き
Unit4 What time is it?	11	G・g 読み方・筆順・なぞり書き
	12	H・h 読み方・筆順・なぞり書き

	13	I-i 読み方・筆順・なぞり書き
	14	J-j 読み方・筆順・なぞり書き
Unit5 Do you have a pen?	15	K-k 読み方・筆順・なぞり書き
	16	L-l 読み方・筆順・なぞり書き
	17	M-m 読み方・筆順・なぞり書き
	18	N-n 読み方・筆順・なぞり書き
Unit6 Alphabet	19	O-o 読み方・筆順・なぞり書き
	20	P-p 読み方・筆順・なぞり書き
	21	Q-q 読み方・筆順・なぞり書き
Unit7 What do you want?	22	R-r 読み方・筆順・なぞり書き
	23	S-s 読み方・筆順・なぞり書き
	24	T-t 読み方・筆順・なぞり書き
Unit8 This is my favorite place.	25	U-u 読み方・筆順・なぞり書き
	26	V-v 読み方・筆順・なぞり書き
	27	W-w 読み方・筆順・なぞり書き
	28	X-x 読み方・筆順・なぞり書き
Unit9 This is my day.	29	Y-y 読み方・筆順・なぞり書き
	30	Z-z 読み方・筆順・なぞり書き
	31	復習 Aa-Nn
	32	復習 Oo-Zz
Unit 10 Welcome to Ogasawara.	33	復習 Aa-Zz
	34	復習 Aa-Zz
	35	認識チェック

5-3. アルファベット習得のためのカリキュラムの実例

平成29年度TOSS・文部科学省受託事業における第2回「外国語活動研修会」において、以下の指導計画例を発表した。

4年生 Unit6『アルファベットで文字遊びをしよう』

単元目標

- ・ 身の回りに活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付くとともに、活字体の小文字を識別し、文字の読み方に慣れ親しむ
- ・ アルファベットの文字クイズを出したり、答えたりする。
- ・ 相手に配慮しながらアルファベットの文字について尋ねたり答えたりしようとする。

※文部科学省 第4学年外国語活動例(案・暫定版)より

本単元では、アルファベット(文字)を用いて、コミュニケーションを行う。そこで、アクティビティでは、以下のようなやり取りを考えた。

A: What's this?
B: Donut?
A: No. Try again.
B: How many letters?
A: 5 letters.
B: It's "juice"!
A: No.
B: What's the first letter?
A: It's "a".
B: Do you have "p"?
A: Yes, I do.
B: Hint please.
A: It's red/ sweet/ a fruit.
B: How do you spell?
A: "a・p・p・l・e".
B: It's "apple"!
A: That's right!

このようなやり取りを可能にするのは、児童が文字を理解していることが大前提である。だからこそ、この単元に入る前に、あらゆる角度から文字に慣れ親しませておくことが必要だ。フラッシュカードや歌などで、4月からルーティン(帯)練習として扱っておくことが大事になってくる。普段の授業において、教師と児童とで以下のようなやり取りを行っておく。

T: How do you spell "apple"?
S: "a・p・p・l・e".

T: How many letters in "apple"?
S: 5 letters.

文字に関して、このような年間を通したルーティン(帯)指導の研究が、更に必要である。以下具体的な指導計画について述べる。

6. 児童と教員の指導力への効果検証

6-1. 取組概要

本事業にて事前に作成した年間カリキュラム、指導案、及び教材を利用した試行授業を小笠原村教育委員会の協力の下、小笠原村立小笠原小学校の3年生、4年生において行った。

また、効果検証として教員、児童にアンケート調査を行った。

6-2. 試行授業（3年生）

（1）実施対象

学校：東京都小笠原村立小笠原小学校

教員：担任 男性（教師歴5年）

クラス：3年1組 26名（男子12名 女子14名）

（2）実施試行授業

平成29年10月12日3時間目 3年生 Unit5 1時間目

平成29年10月17日3時間目 3年生 Unit5 2時間目

平成29年10月31日4時間目 3年生 Unit5 3時間目

平成29年11月 7日3時間目 3年生 Unit5 4時間目

平成29年11月14日3時間目 3年生 Unit7 1時間目

平成29年11月21日3時間目 3年生 Unit7 2時間目

平成29年11月29日3時間目 3年生 Unit7 3時間目

平成29年12月13日2時間目 3年生 Unit7 4時間目

（3）試行授業の様子



ICT を活用して単語カードの練習の様子



ICT とカードを使った単語練習の様子



ICT を活用した、アクティビティの練習の様子



アクティビティの練習の様子



かるたカードを使ったアクティビティの様子

(4) 調査

① 教員へのアンケート調査

【調査概要】

試行授業の終了後、本事業にて作成した指導案とカリキュラム、教材について評価を担当教員へ依頼した。また、試行授業一般についても評価を依頼した。

調査項目と調査結果は以下の通りである。

【調査内容と結果】

<指導案・カリキュラム>に関する項目

1. 授業の前に準備すべきものが明確になった。 回答:4
2. ALT との打ち合わせがよりスムーズになった。 回答:無回答 ALT との授業はしていない
3. 児童の発話・活動が確保されていた。 回答:5
4. 授業のめあてを達成できた。 回答:4
5. 教師と児童及び、児童間のやりとりが十分にあった。 回答:5

※1:全くそう思わない、5:とてもそう思う、とした順序尺度による評価

<教材>に関する項目

1. 英単語のフラッシュカードは児童が単語を理解するのに効果的であった。 回答:5
2. 状況設定(会話文)のフラッシュカードは、児童が会話文の意味を理解する上で効果的であった。
回答:4

3. 状況設定(会話文)のフラッシュカードは、児童が会話文を口頭で繰り返し練習するのに効果的であった。 回答:5
4. ICT 教材(パワーポイント)があることで、授業や準備を効率的に進められた。 回答:5
5. かるた教材は、単語や会話文に慣れ親しませるのに効果的であった。 回答:5
- ※1:全くそう思わない、5:とてもそう思う、とした順序尺度による評価

＜試行授業＞に関する項目

1. 担任が中心となり、授業を進めることができた 回答:5
2. クラブルームイングリッシュをしようとした 回答:4
3. クラスの実態に合わせて、活動(アクティビティやゲーム)を工夫しようとした 回答:5
(4・5と回答の場合)授業の実施にあたって、工夫された点(自由記述)
回答:学級の児童の実態を考慮して、順番や活動のルールを変更したことがあった。
4. 外国語活動を児童に教えることに興味がある 回答:5
5. 外国語活動を児童に教えることに自信がある 回答:2
- ※1:全くそう思わない、5:とてもそう思う、とした順序尺度による評価

＜その他＞の項目

1. 試行授業についてのコメント(自由記述)
- 回答:1コマにアクティビティが2つある時間は、内容によっては2つの活動を充分に行なうことができないことがあった。ゆっくり学ぶ児童もいる為、精選した方がよい場合もあった。

① 児童へのアンケート調査

【調査概要】

試行授業の終了後、試行授業について、授業を受けた児童に調査を行った。
調査項目と調査結果は以下の通りである。

【調査内容と結果】

1. かるたや会話カード、単語カード(先生に見せてもらってください)を使った授業は楽しかったですか。
回答:

- | | |
|--------------|------|
| 1. とても楽しかった | 12 名 |
| 2. 楽しかった | 13 名 |
| 3. 楽しくなかった | 0 名 |
| 4. 全く楽しくなかった | 0 名 |

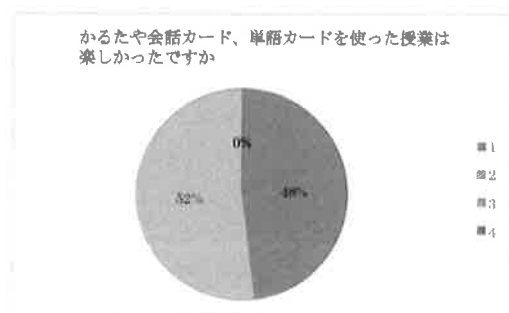


図 2-6-1: 児童向けアンケート(3 年)項目1の回答

2. 授業では、進んで英語を話そうとしましたか。

回答:

- | | |
|----------------|------|
| 1. とても話そうとした | 4 名 |
| 2. 話そうとした | 20 名 |
| 3. 話そうとしなかった | 1 名 |
| 4. 全く話そうとしなかった | 0 名 |

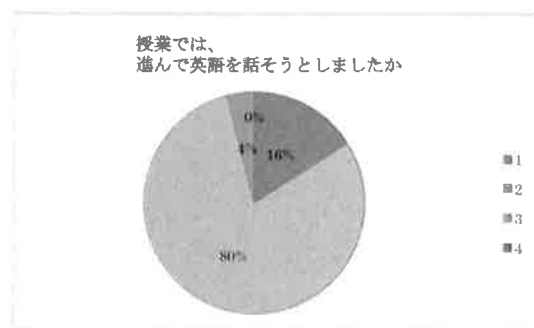


図 2-6-2: 児童向けアンケート(3 年)項目 2 の回答

3. かるたを使った活動は楽しかったですか。

回答:

- | | |
|--------------|------|
| 1. とても楽しかった | 19 名 |
| 2. 楽しかった | 5 名 |
| 3. 楽しくなかった | 1 名 |
| 4. 全く楽しくなかった | 0 名 |

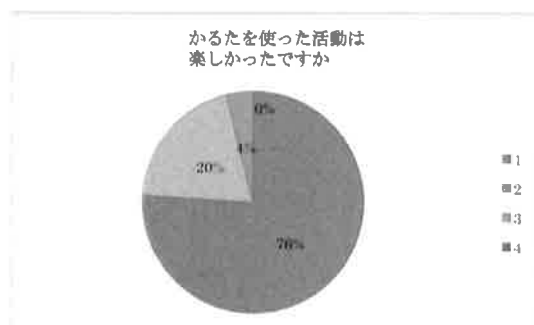


図 2-6-3: 児童向けアンケート(3 年)項目 3 の回答

4. カードを見て、英語が言えましたか。

回答:

- | | |
|-------------|------|
| 1. とても言えた | 6 名 |
| 2. 言えた | 17 名 |
| 3. 言えなかった | 2 名 |
| 4. 全く言えなかった | 0 名 |

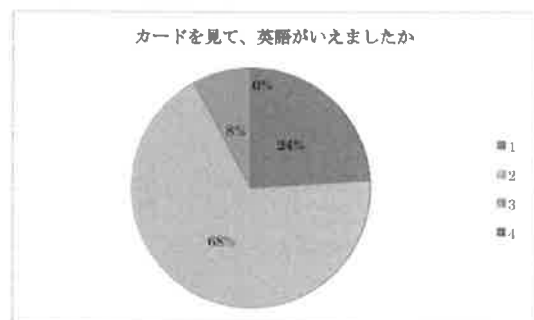


図 2-6-4: 児童向けアンケート(3 年)項目 4 の回答

5. 先生のあとに繰り返して英語が言えましたか。

回答:

- | | |
|-------------|------|
| 1. とても言えた | 18 名 |
| 2. 言えた | 7 名 |
| 3. 言えなかった | 0 名 |
| 4. 全く言えなかった | 0 名 |

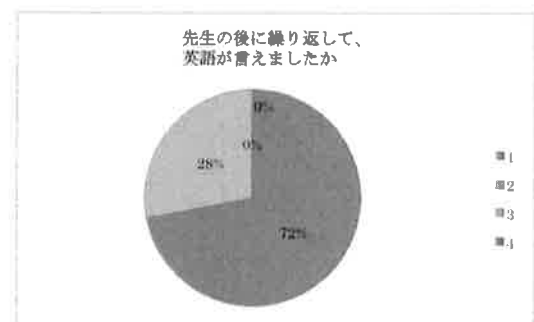


図 2-6-5: 児童向けアンケート(3 年)項目 5 の回答

6. もっと英語が話せるようになりたいですか。

回答:

- | | |
|-------------|------|
| 1. とってもなりたい | 13 名 |
| 2. なりたい | 12 名 |
| 3. なりたくない | 0 名 |
| 4. 全くなりたくない | 0 名 |

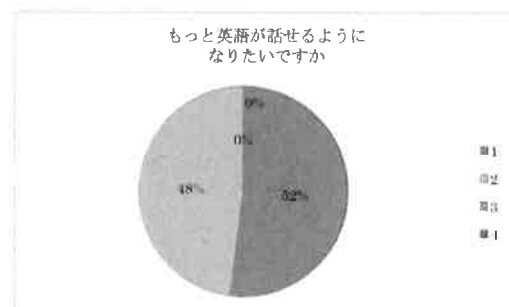


図 2-6-6: 児童向けアンケート(3 年)項目 6 の回答

7. かるたや会話カード、単語カードを使った授業の感想を書いてください。

回答: 自由記述

- ととところどころむずかしいことや単語カードでのやつがむずかしいこともあったけど、とても楽しかった。
- とてもいいねいに、おしえてくれたのでえい語がすこしとくいになりました。
- 先生ががんばってえいごをしゃべっているのがおもしろかったです。
- かるたなどで楽しくおぼえられてよかったです。
- かるたをやって先生がわざとほかのことを言っていておもしろかったです。
- 友だちといっしょにかるたをやれておもしろかったです。
- かるたを班でやったのが楽しかったです。
- 外国語がかんたんにおぼえられてよかったです。
- かるたや会話カード、単語カードはとてもおぼえやすかった。
- 3人の人と会話するゲームが一番楽しかったです。
- 分かりやすく英語がおぼえられたのでとても楽しかったです。
- えいごがおぼえやすくて、たのしくできてよかったです。すごくべんきょうになった。
- 単語カードはえでかいてあったのでわかりやすかったです。
- かるたや会話カードで友だちとこうかんしたのがおもしろかったです。
- カードを使った授業が楽しかったです。
- かるたでえいごを言われたときに、違うカードをとったけど、ちょっとはとれたのでうれしかった。
- いろいろな会話カードや単語カードを使って、わかりやすくてたのしかったです。
- あまり英語を話せなかったので、ちょっとたのしくありませんでした。
- 会話カードで先生の後と言うのがたのしかった。
- かるたでわからなかった単語がたのしくおぼえられてたのしかった。
- たのしかったから、4年生になってもそういう授業をしたい。
- 色々な人と会話をしてよかったです。ほかにもカードで英語をしったりして、英語をたくさん話せるようになりたいです。
- はじめはカードを見ただけじゃ何て言うのかわからなかったけど、せんせいにおしえてもらったからわかったのでうれしかった。
- 単語カードで繰り返し単語をいったり、かるたカードを使った授業が楽しかったです。

(5) 主な成果

- ・指導計画・単語カード・状況設定(会話文)カード・かるたカードが1時間ごとにパッケージ型になっているので授業準備の時間がかなり短縮されていた。
- ・単語カードと状況設定(会話文)カードがパワーポイントのデータでもあったので、実態に合わせて使い分けたり、組み合わせたりして授業することができていた。
- ・担任は2時間目が終わった頃に三構成法の授業の流れが分かったと感想を述べていた。
- ・児童は単語カードの練習でインプットとアウトプットを変化のある繰り返しで行うことで身に付けたことで、ダイアログ練習では自信をもって行うことができていた。
- ・かるたカードは単語練習だけでなくアクティビティやゲームで活用できるので、児童は楽しく活動することができた。
- ・1単元が4時間で、会話を積み重ねていく構成になっているので児童に「英語が話せるようになった」という達成感を味わわせることができた。
- ・毎時間、前の時間の会話の復習から始まるので、ほとんどの児童が会話文を積み重ねていくことができた。
- ・状況設定カードの最後に、その日の会話を1枚にまとめてあるので、その1枚をヒントとして提示しておくことで、まだ練習が足りなかったり、会話に自信がなかったりする児童が参考にしながら会話することができた。また、最初の復習の時間も単語カードとまとまった1枚のカードで復習ができるので、担任もスムーズに復習からその日の会話文の練習に入ることができていた。
- ・教師の使うクラスルームイングリッシュも指導案に掲載されているので、担任はクラスルームイングリッシュを前向きに使う姿勢が見られた。
- ・毎時間の授業が同じ流れになっているので、児童が見通しを持つことができ、安心して授業を受けていた。
- ・指導案に ALT の役割が英語で書いてあることにより、ALT との打ち合わせも指導案を渡すだけで済ませることが期待される。(今回は ALT との授業はなかった)
- ・3人と話をしたら席に着くという指示が毎回あるので、児童がたくさんの友達と会話することができた。
- ・状況設定カードの記号がヒントとして効果的であった。

6-3. 試行授業 (4 年生)

(1) 実施対象

学校： 東京都小笠原村立小笠原小学校

教員： 担任 男性(教師歴 12 年)

クラス： 4 年 1 組 34 名(男子 17 名 女子 17 名)

(2) 実施試行授業

平成29年12月18日2時間目 4年生 Unit5 1時間目

平成29年12月20日1時間目 4年生 Unit5 2時間目

平成29年12月21日1時間目 4年生 Unit5 3時間目
 平成30年 1月12日2時間目 4年生 Unit5 4時間目
 平成30年 3月15日2時間目 4年生 Unit7 1時間目
 平成30年 3月16日2時間目 4年生 Unit7 2時間目
 平成30年 3月19日2時間目 4年生 Unit7 3時間目
 平成30年 3月20日2時間目 4年生 Unit7 4時間目

(3) 試行授業の様子



単語カードを使った練習の様子



かるたカードを使っている様子



かるたカードを使ったアクティビティの様子



アクティビティのデモンストレーションの様子

(4) 調査

① 教員へのアンケート調査

【調査概要】

試行授業の終了後、本事業にて作成した指導案とカリキュラム、教材について評価を担当教員へ依頼した。また、試行授業一般についても評価を依頼した。

調査項目と調査結果は以下の通りである。

【調査内容と結果】

<指導案・カリキュラム>に関する項目

1. 授業の前に準備すべきものが明確になった。 回答:4
2. ALT との打ち合わせがよりスムーズになった。 回答:4
3. 児童の発話・活動が確保されていた。 回答:4

4. 授業のめあてを達成できた。 回答:4
5. 教師と児童及び、児童間のやりとりが十分にあった。 回答:4
※1:全くそう思わない、5:とてもそう思う、とした順序尺度による評価

＜教材＞に関する項目

1. 英単語のフラッシュカードは児童が単語を理解するのに効果的であった。 回答:5
2. 状況設定(会話文)のフラッシュカードは、児童が会話文の意味を理解する上で効果的であった。
回答:5
3. 状況設定(会話文)のフラッシュカードは、児童が会話文を口頭で繰り返し練習するのに効果的であった。 回答:5
4. ICT 教材(パワーポイント)があることで、授業や準備を効率的に進められた。 回答:5
5. かるた教材は、単語や会話文に慣れ親しませるのに効果的であった。 回答:5
※1:全くそう思わない、5:とてもそう思う、とした順序尺度による評価

＜試行授業＞に関する項目

1. 担任が中心となり、授業を進めることができた 回答:5
2. クラスルームイングリッシュを使おうとした 回答:5
3. クラスの実態に合わせて、活動(アクティビティやゲーム)を工夫しようとした 回答:5
(4・5と回答の場合)授業の実施にあたって、工夫された点(自由記述)
回答:学級の児童の実態を考慮して、順番や活動のルールを変更したことがあった。
4. 外国語活動を児童に教えることに興味がある 回答:5
5. 外国語活動を児童に教えることに自信がある 回答:5
※1:全くそう思わない、5:とてもそう思う、とした順序尺度による評価

＜その他＞の項目

1. 試行授業についてのコメント(自由記述)
回答:教材のサンプルがパッケージになっていてありがたかったです。

① 児童へのアンケート調査

【調査概要】

試行授業の終了後、試行授業について、授業を受けた児童に調査を行った。
調査項目と調査結果は以下の通りである。

【調査内容と結果】

1. かるたや会話カード、単語カード(先生に見せてもらってください)を使った授業は楽しかったですか。

回答:

- | | |
|--------------|------|
| 1. とても楽しかった | 11 名 |
| 2. 楽しかった | 15 名 |
| 3. 楽しくなかった | 4 名 |
| 4. 全く楽しくなかった | 2 名 |

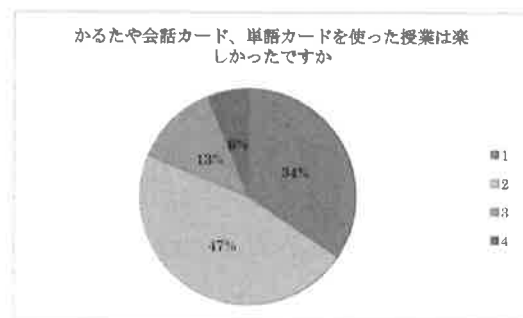


図 2-6-7: 児童向けアンケート(4 年)項目 1 の回答

2. 授業では、進んで英語を話そうとしましたか。

回答:

- | | |
|----------------|------|
| 1. とても話そうとした | 6 名 |
| 2. 話そうとした | 22 名 |
| 3. 話そうとしなかった | 4 名 |
| 4. 全く話そうとしなかった | 0 名 |

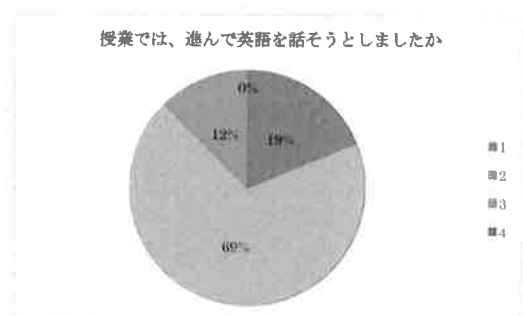


図 2-6-8: 児童向けアンケート(4 年)項目 2 の回答

3. かるたを使った活動は楽しかったですか。

回答:

- | | |
|--------------|------|
| 1. とても楽しかった | 20 名 |
| 2. 楽しかった | 11 名 |
| 3. 楽しくなかった | 1 名 |
| 4. 全く楽しくなかった | 0 名 |

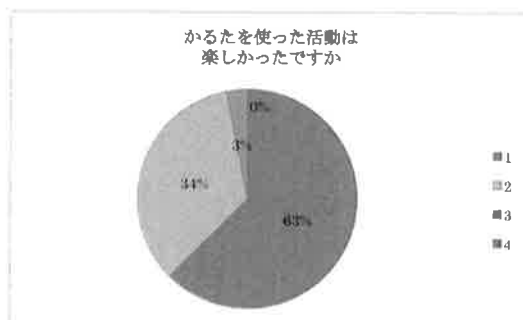


図 2-6-9: 児童向けアンケート(4 年)項目 3 の回答

4. カードを見て、英語が言えましたか。

回答:

- | | |
|-------------|------|
| 1. とても言えた | 7 名 |
| 2. 言えた | 23 名 |
| 3. 言えなかった | 0 名 |
| 4. 全く言えなかった | 2 名 |

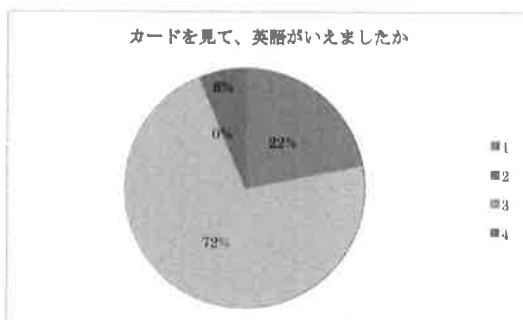


図 2-6-10: 児童向けアンケート(4 年)項目 4 の回答

5. 先生のあとに繰り返して英語が言えましたか。

回答:

- | | |
|-------------|------|
| 1. とても言えた | 11 名 |
| 2. 言えた | 20 名 |
| 3. 言えなかった | 1 名 |
| 4. 全く言えなかった | 0 名 |

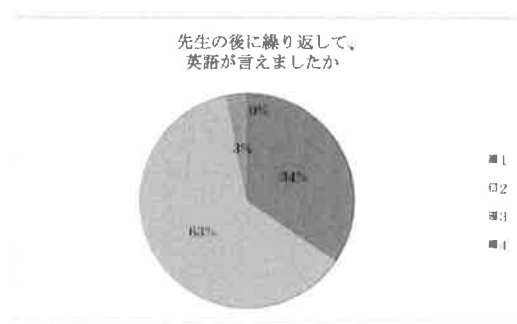


図 2-6-11: 児童向けアンケート(4 年)項目 5 の回答

6. もっと英語が話せるようになりたいですか。

回答:

- | | |
|-------------|------|
| 1. とってもなりたい | 18 名 |
| 2. なりたい | 13 名 |
| 3. なりたくない | 1 名 |
| 4. 全くなりたくない | 0 名 |

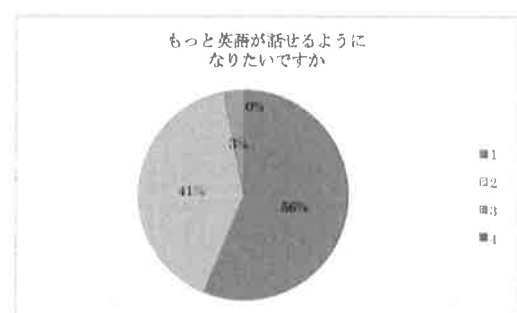


図 2-6-12: 児童向けアンケート(4 年)項目 6 の回答

7. かるたや会話カード、単語カードを使った授業の感想を書いてください。

回答: 自由記述

- ゲームも楽しいし、英語で話せるようになった。
- 会話カードを使うと内容が分かりやすくなった。かるたは色々なものの名前が覚えられた。
- かるたなどはすごかったのしかったです。
- みんなとできてたのしかった。
- かるたはたのしかった。会話カードは聞けばなんとなくわかるような気がした。
- 英語は好きじゃないけど、かるたや単語カードで遊んでたのしかった。
- かるたではたのしく英語が覚えられてよかったです。もっと話せるようになりたいです。
- とてもおもしろかったからまたやりたい。もっともっと英語ではなしたい。
- けっこうたのしいからたくさんやりたい。
- かるたはたのしかったです。
- かるたなどがすごかったのしかった。
- 会話カードですこし英語が話せるようになりました。
- たまにわけがわからなくなったけど、いちおうできた。
- 会話カードを使うと分かりやすいし楽しい。
- たのしかった。英語が書けるようになりたい。
- とてもたのしい。かるたがすごかったのしかった。
- 色々なカードを使うと、英語と分からない英語があるので教えてもらってたのしかった。

- 勉強にもなるし、たのしかったです。
- かるたがみんなでいっしょになりながらおぼえられたのでよかったです。
- 遊びと英語が同時にできてすごくおもしろかったです。
- かるたははんがととてもぎやかになって楽しかった。
- 英語でかるたをやるのははじめてで、たのしかったです。
- カードを使ったから英語をがいえるようになった。

(5) 主な成果

- ・単語カードをリズムボックスに合わせて練習することで、児童が意欲的に取り組むことができた。
- ・文房具の単語カードは児童が知っているものが多かったので、インプットとアウトプットがスムーズにできていた。
- ・毎時間の中心となる三構成法の部分が灰色になっていて、そこ以外のあいさつ、歌などはクラスの実態に合わせて変化させて授業をすることができた。
- ・状況設定カードがヒントとなって、会話文を言えるようになった児童が多かった。
- ・学力差の大きいクラスであったが、単語練習で英語をアウトプットする自信をもち、ダイアログ練習に意欲的に参加する児童が多かった。
- ・単語カードを黒板に貼っておくことで、アクティビティの練習や活動中に、忘れてしまった児童が思い出すためのヒントにすることができていた。
- ・視覚情報がカードに限定されているので、児童が集中して授業を受けることができた。
- ・単語練習でかるたカードを使用していたので、アクティビティで活用する際に児童がスムーズに活動することができた。
- ・指導案に書いてあるクラスルームイングリッシュを活用することができていた。
- ・指導案に毎時間の流れが書いてあるので、担任は自信をもって授業することができていた。
- ・担任(外国語活動の担当)が来年度以降も活用できるように1時間ごとに、単語カード、状況設定カード、かるたカード、指導案をセットでジップロックに入れ保存することで活用しやすい状態で保存することができた。

第3章 総括

本事業では、小笠原村教委との連携の上で、これまでの TOSS の外国語指導の取り組みの成果を生かしながら、「英語必修化に伴う3・4年向けカリキュラム教材・指導案、及び研修事業の開発」の研究課題の元に、以下の6つの点について研究を行った。

- ① 中学年の年間カリキュラムを作成する。
- ② ALT と役割分担のある指導案やモジュールの指導案(年間 35 時間)を作成する。
- ③ フラッシュカード・ICT 等の各種教材を開発し、その効果を検証する。
- ④ 児童が話せるようになる外国語活動の模範授業と理論を学ぶ研修会を開催し、その効果を検証する。
- ⑤ 文部科学省が示す 700 語程度の単語の習得計画とアルファベット習得のためのカリキュラムを作成する。
- ⑥ 上記の児童への効果と教員の指導力を検証するために、実施してのアンケート調査や Web などによる各種の調査を実施する。

①の成果物では、35 時間の年間カリキュラムにおける各時間が単発の授業におわることなく、それぞれの単元で、どこまで話せるようになるかの「最終形」を明記した。「復習」「メイン指導」「つなげる指導」により、確実に学習した内容が身につく内容とすることができた。

②の成果物である指導案では、①を元にさらに細かく、45 分の授業の流れとして、具体的に展開した。要点となるのは、向山浩子氏が開発した「三構成法」による授業の組み立てである。誰でも指導することができ、かつどの子も楽しく、分かりやすく学べるこの実効ある方法での指導を、一目見てわかるように指導案として示した。研修会でこの指導案を手にした教員からは、学校現場ですぐ役立つと捉える声が多く上がった。

③の成果物では、①カリキュラム、②指導案を実行するにあたって、指導の助けとなる教材を開発・作成した。この教材を実際に使った試行授業を小笠原小学校の3、4年生に行なった。教員、児童から高評価を得ることができたことがアンケート調査によりわかった。

④においては、2017 年8月、2018 年1月の2度、東京で教員向けの研修会を開催した。理論と実践の両方を学ぶことができ、かつすぐに使えるカリキュラムと指導案を会議資料として得ることができた点も、大変好評であったことがアンケートによりわかる。研修会の参加者は1回目は、約 100 人。2回目は、2倍の約 200 名に増加した。2回目の後に実施したアンケート結果では、本研修会の満足度が、「非常によくあてはまる」が 79.4%、「あてはまる」が 15.5%、合計で約 95%となった。全ての項目が研修前より、研修後の方が改善された結果となった。特に、「Q5 外国語活動を児童に教えることに自信がある」「Q6 授業の理論をよく理解している」で大幅に数値が上がった。また、2018 年8月に小笠原においても研修会を開催し、参加者の教員より高い評価をいただいた。

⑤は、700語程度の単語の習得計画とアルファベット習得のためのカリキュラムの提案を作成した。今後、本事業の成果を活かし、実践に結びつけたい。

⑥では、本事業にて作成した年間カリキュラム、指導案及び教材を利用し、小笠原小学校の3、4年生に授業を行い、効果検証として教員、児童にアンケート調査を行なった。実践した教員2人への「指導案・カリキュラム」「教材」「試行授業」に関する全15項目の平均(5点満点)は、3年教員「4.5」、4年教員「4.7」であった。非常に効果があったと感じていることがわかる。

一方、児童は、「本事業の教材を使った授業は楽しかったか」に対し、3年「100%」、4年「81%」が「とても楽しかった」「楽しかった」、「カードを見て言えたか」に対し、3年「92%」、4年「94%」が「とても言えた」「言えた」と回答している。さらに、「もっと英語が話せるようになりたいですか」の項目では、3年「100%」、4年「97%」が「とってもになりたい」「になりたい」を選択している。

以上より、本事業の成果目標である6点について、十分大きな成果を得、達成されたとと言える。

今後、さらに多くの教員に、本事業にて作成したカリキュラム、指導案、教材を使った実践を行なっていたき、検討を重ねていくことが外国語活動の指導の質の向上のために必要である。さらに研究を深めていきたい。

第4章 Appendix

Appendix 目次

1. 年間カリキュラム(3年生)
2. 年間カリキュラム(4年生)
3. 指導案(3年生)
4. 指導案(4年生)
5. 教材(3年生)
6. 教材(4年生)
7. ICT 教材 ※電子媒体にて別添

小学校3年生外国語活動 ____ フォラム

Unit1(2時間)

1 単元名 Hello! 『あいさつをして友達になろう』

- 2 単元目標(文科書集・新定版2017.9.21より)
- ①世界には様々な言語があることを知り、挨拶や名前の言い方に興味をもち、
②名前を言って挨拶をし合う。
③相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶を交わそうとする。

3 新出語彙・語句例(文科書集・新定版より)

Hello Hi I'm Hina Goodbye See you

4 ダイアログ(例)		新出	追加	主役練習	最終形
登場	教科書(新定版より)				
1時間目	Hello, Hi, I'm Hina. Goodbye. See you.	I like you. Nice to meet you.			Hello. Hi Taro. I'm from Japan. I like you. Nice to meet you. Bye.
2時間目		I'm from Japan.			

5 組み立て例

<1時間目>

1 あいさつ

A: Hello.
B: Hello.
A: Bye. / See you.
B: Bye. / See you.

2 自己紹介

A: I'm Taro.
B: I'm Hanako.

3 「はじめまして。」と握手する

A: Nice to meet you.
B: Nice to meet you, too.

4 メインダイアログ指導

A: I like you.
B: I like Taro.

①単語練習(日本の食べ物)
②状況設定・繰り返し口頭練習
③アクティビティ1
④アクティビティ2
5 英語を学習する意図説明と学習の仕方を話す
『世界中、たくさんの人と仲良くするため。』
①大きな声を出す ②間違いを気にしない ③目を見て話す など

<2時間目>

1 あいさつ
2 歌
3 自己紹介
4 復習
5 メインダイアログ指導

A: I'm from Japan.
B: I'm from America.

①単語練習(国名)
②状況設定・繰り返し口頭練習
③アクティビティ1
6 会話を広げる

A: Hello.
B: Hello.
A: I'm Taro.
B: I'm Hanako.
A: I'm from Japan.
B: I'm from China.
A: I like you.
B: I like Taro.
A: Nice to meet you.
B: Nice to meet you, too.
A: Bye. (※場面に応じて"See you")
B: Bye.

7 アクティビティ2
8 次の時の単語練習

1. 年間カリキュラム (3年生)

Unit2(3時間)

- 1 単元名 How are you? 『ごきげんいかが?』
- 2 単元目標(文科書・新定版より)
 - ①表情やジェスチャーの大切さとともに表す意味の違いに気づき、感情や状態を表す語や表現に慣れ親しむ。
 - ②表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をし合う。
 - ③表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら、挨拶をしようとする。
- 3 新出語彙・語句例(文科書・新定版2017.9.21より)

how, are, 気持ちを表す語(fine, happy, sleepy, hungry, tired, sad, great)

4 タイアローグ(例)

時数	文科書(新定版より)	新出	追加	主修練習	最終形
3時間目	How are you? I'm happy.				
4時間目		Let's play soccer! Rock, scissors, paper, 1,2,3!		I like soccer.	How are you? I'm fine. I like soccer. Let's play soccer. Rock, scissors, paper, 1,2,3! Yeah! Let's play baseball!
5時間目		Let's go to 丸太!			

※子どもたちの活動に応じてA: What's arranged? B: I have a headache. ※A: Take care, B: Think you. などの表現も取り入れる。

5 組み立て例

<3時間目>

- 1 あいさつ
- 2 歌
- 3 自己紹介
- 4 復習
- 5 メインダイアローグ指導
 - A: How are you?
 - B: I'm fine (hot, cold, hungry, sleepy, thirsty).
- ①単語練習(挨拶を表す語)
- ②状況設定・繰り返し口頭練習
- ③アクティビティ1
- ④アクティビティ2
- 6 次時の単語練習

<4時間目>

- 1～4 は前時と同様
- 5 メインダイアローグ指導
 - A: Let's play soccer!
 - B: Let's play baseball!
- ①単語練習(スポーツ)
- ②状況設定・繰り返し口頭練習
- ③アクティビティ1
- ④アクティビティ2
- 6 単語練習(言葉を増やす)

<5時間目>

- 1～4 は前時と同様
- 5 会話をつなげる
 - A: How are you?
 - B: I'm fine.
 - A: I like soccer. Let's play soccer!
 - B: Rock, scissors, paper, 1,2,3!
 - A: Yeah! Let's play baseball!
- 6 アクティビティ1
- 7 アクティビティ2
- 8 次時の単語練習

<別案>メインダイアローグ A: Let's go to the 丸太. B: Yes, let's.

- A: How are you?
- B: I'm hungry.
- A: I like hungry.
- B: I like ラーメン.
- A: Let's go to 丸太.
- B: Let's go to 丸太.
- A: Rock, scissors, paper, 1,2,3!
- A: Yeah! Let's go to 丸太!

小笠原の飲食店

Unit3(4時間)

- 1 単元名 How many? 『教えてあそぼう』
- 2 単元目標(文科書・新定版より)
 - ①日本と外国の数の教え方の違いから、多様な考え方があることに気づき、1から20までの数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。
 - ②数を尋ねたり答えたりして伝え合う。
 - ③相手に伝わるように工夫しながら、数を尋ねたり答えたりしようとする。
- 3 新出語彙・語句例(文科書・新定版より)

many, 数(1-20), 身の回りの物 (marble, ball, pencil, eraser, ruler, crayon), 果物・野菜 (apple, strawberry, tomato)

形 (circle, triangle, cross) stroke, yes, no, sorry, that, is, right

4 タイアローグ(例)

時数	文科書(新定版より)	新出	追加	主修練習	最終形
6時間目	Yes. No.	ADo you have any pencils? B: Yes, I do. / No, I don't.			Do you have any cats? No, I don't. No you have any dogs? Yes, I do, I like dogs. How many dogs? Five dogs.
7時間目		ADo you have any dogs? B: Yes, I do. / No, I don't.		I like dogs.	
8時間目		How many apples? Ten apples.			
9時間目					

※教科書載の表現例 That's right. Sorry. はここでは使わない。

5 組み立て例

<6時間目>

- 1 あいさつ
- 2 歌
- 3 自己紹介
- 4 復習
- 5 メインダイアローグ指導
 - A: Do you have any pencils?
 - B: Yes, I do. / No, I don't.
- ①単語練習(持ち物)
- ②状況設定・繰り返し口頭練習
- ③アクティビティ1
- ④アクティビティ2
- 6 数の言い方練習(1～12)

<7時間目>

- 1～4 は前時と同様
- 5 メインダイアローグ指導
 - A: Do you have any dogs?
 - B: Yes, I do. / No, I don't.
- ①単語練習(ペット)
- ②状況設定・繰り返し口頭練習
- ③アクティビティ1
- ④アクティビティ2
- 6 数の言い方練習(11～20)

<8時間目>

- 1～4 は前時と同様
- 5 メインダイアローグ指導
 - A: How many pencils?
 - B: Two pencils.
- ①単語練習(持ち物・ペット)
- ②状況設定・繰り返し口頭練習
- ③アクティビティ1
- 6 会話をつなげる1(持ち物)
 - A: Do you have any pens?
 - B: No, I don't.
 - A: Do you have any pencils?
 - B: Yes, I do.
 - A: How many pencils?
 - B: Two red pencils.
- 7 アクティビティ2
- 8 会話をつなげる2(ペット)
 - A: Do you have any cats?
 - B: No, I don't.
 - A: Do you have any dogs?
 - B: Yes, I do. I like dogs.
 - A: How many dogs?
 - B: Five dogs.
- 9 アクティビティ3

<9時間目>

- 1～4 は前時と同様
- 5 【自己紹介】パターンA(二人で)
 - I'm (自分の名前). などの既習の言い方で交互に言い合う。
- 6 【自己紹介】パターンB(一人で)
 - I'm (自分の名前). などの既習の言い方でスピーチを行う。

※場面が違っていてもいいが、表現に応じて行う。

Unit4(4時間)

- 1 単元名 I like blue. 『好きなものをつたえよう』
- 2 単元目標(教科書・新定版より)
 - ①多様な考え方があることや、音やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気づき、色の言い方や、好みを表したりの好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
 - ②自分の好みを伝え合う。
 - ③相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを紹介しようとする。
- 3 新出語彙・語句例(教科書・新定版より)

like, don't, 色 (red, blue, green, yellow, pink, black, white, orange, purple, brown)
 soccer, tennis, basketball, bodgeball, swimming
 食べ物 (ice cream, pudding, milk, orange juice), 野菜 (onion, green pepper, cucumber, carrot), rainbow

時数	教科書(新定版より)	新出	主役	最終形
10時間目	Do you like blue? Yes, I do. / No, I don't. I don't like blue.			
11時間目		Let's eat 鳥寿司		
12時間目		Which do you like? B: I like blue. Let's buy a blue ball!		
13時間目				

教科書新案の表現例: I like blue. I like tennis.

5 組み立て例

<10時間目>

- 1 あいさつ
- 2 歌
- 3 自己紹介
- 4 復習
- 5 メインダイアローグ指導
 - ①単語練習(スボーズ)
 - ②状況設定・繰り返し口頭練習
 - ③アクティビティ1
 - 6 会話をつなげる

A: How are you?
A: Do you like baseball?
A: Do you like soccer?

B: I'm fine.
B: No, I don't. I don't like baseball.
B: Yes, I do. I like soccer.

A: B: Let's play soccer!

7 アクティビティ2
8 単語練習(野菜)

<11時間目>

- 1～4 は前時と同様
- 5 メインダイアローグ指導
 - A: Let's eat 鳥寿司!
 - B: Let's eat 鳥寿司!
- ①単語練習(小笠原の食べ物)
- ②状況設定・繰り返し口頭練習
- ③アクティビティ1
- 6 会話をつなげる

A: How are you?
A: Do you like ラーメン?
A: Do you like 鳥寿司?

B: I'm hungry.
B: No, I don't. I don't like ラーメン.
B: Yes, I do. I like 鳥寿司!

A: B: Let's eat 鳥寿司!

7 アクティビティ2
8 次時の単語練習(小笠原の食べ物)

<12時間目>

- 1～4 は前時と同様
- 5 メインダイアローグ指導
 - A: Which do you like?
 - B: I like blue.
- ①単語練習(色)
- ②状況設定・繰り返し口頭練習
- ③アクティビティ1
- 6 単語練習(色2)
- 7 アクティビティ2

<13時間目>

- 1～4 は前時と同様
- 5 会話をつなげる

A: Do you like baseball?
A: Do you like soccer?
A: Which do you like?
A: Do you have any soccer balls?

B: Yes, I do. I like baseball.
B: Yes, I do. I like soccer.
B: I like soccer.
B: Yes, I do. I like soccer!

A: B: Let's play soccer!

6 アクティビティ2

Unit5(4時間)

- 1 単元名 What do you like? 『何が好き?』
- 2 単元目標(教科書・新定版より)
 - ①日本語と英語の音声の違いに気づき、身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする語や表現に慣れ親しむ。
 - ②何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。
 - ③相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。
- 3 新出語彙・語句例(教科書・新定版より)

what, color, sport, (sport: volleyball, table tennis), 食べ物 (food: hamburger, pizza, spaghetti, steak, salad, cake)
 noodle, egg, rice, bell, jam, 果物 (fruit: orange, grape, pineapple, peach, melon, banana, kiwi fruit, lemon)

時数	教科書(新定版より)	新出	主役	最終形
14時間目	What do you like? I like tennis.			
15時間目	What sport do you like? I like soccer.			
16時間目				
17時間目				

5 組み立て例

<14時間目>

- 1 あいさつ
- 2 歌
- 3 自己紹介
- 4 復習
- 5 メインダイアローグ指導
 - A: What do you like?
 - ①単語練習(果物)
 - ②状況設定・繰り返し口頭練習
 - ③アクティビティ1
 - 6 単語練習(食べ物)
 - 7 アクティビティ2

A: What do you like?
B: I like oranges.

<15時間目>

- 1～4 は前時と同様
- 5 メインダイアローグ指導
 - A: What sport do you like?
 - B: I like soccer.
- ①単語練習(スボーズ)
- ②状況設定・繰り返し口頭練習
- ③アクティビティ1
- ④アクティビティ2
- 6 単語練習(日本の文化)

<16時間目>

- 1～4 は前時と同様
- 5 単語練習(日本の文化)
- 6 会話をつなげる

A: Do you like Japanese culture?
A: What do you like about Japanese culture?
A: Do you have any けん玉?
A: How many けん玉?

B: Yes, I do.
B: I like けん玉.
B: Yes, I do.
B: (Two) けん玉.
B: OK.

7 アクティビティ2

<17時間目>

- 1～4 は前時と同様
- 5 単語練習(季節)
- 6 会話をつなげる

A: Do you like summer?
A: What do you like in summer?
A: Do you like watermelon?

B: Yes, I do.
B: I like スイカ割り.
B: Yes, I do.
B: OK.

7 アクティビティ2

Unit6(2時間)

1 単元名 ALPHABET 『アルファベットとなかよし』

2 単元目標(教科書案・暫定版より)

- ①身の回りにいる活字体の文字で表されているものに気付く、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。
②自分の姓名の頭文字を伝え合う。
③相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとする。

3 新出語彙・語句例(教科書案・暫定版より)

大文字(A-Z) card, alphabet, please, here, thank, welcome, 歌 (21-30, 0) : book, drum, fish, gorilla, hat, ink, jet, king, monkey, notebook, pig, queen, rabbit, sun, tree, umbrella, violin, watch, box, yellow, zoo

4 タイアローグ(例)

時数	教科書(暫定版より)	新出	追加	主な練習	最終形
18時間目				Do you like dogs? Do you have any dogs? How many dogs? How many dogs do you like?	(A) What is the spelling? That's right! Do you like dogs? Do you have any dogs? How many dogs?
19時間目	Card (A), please. Here you are. you.	It's OK. Thank G-O.	I did it! What's the spelling? It's R-I-N- like?		(B) What is the spelling? Which do you like? Do you have a dog? How many dogs?

5 組み立て例

<18時間目> 1 あいさつ 2 歌 3 自己紹介 4 復習 5 アルファベット26文字の発音練習 6 アルファベットの歌を歌う 7 アクティビティ1(新聞でアルファベット探し) 8 数の単語練習(21~30) 9 アクティビティ2(アルファベットが何個あったか尋ね合う) A: How many A? B: 25A.
--

<19時間目>

1~4 は前時と同様 5 メインダイアローグ指導 A: What is the spelling? B: It's D-O-G. ①単語練習1 ②状況設定・繰り返し口頭練習 ③アクティビティ1 6 単語練習2 7 アクティビティ2 8 復習をつなげる A: What is the spelling? A: That's right! A: Do you like dogs? A: Do you have any dogs? A: How many dogs? A: What is the spelling? A: What is the spelling? A: Which do you like? A: Do you have a dog? A: How many dogs? B: It's D-O-G. B: Yes! B: Yes, I do. B: Yes, I do. B: Two dogs. B: It's D-O-G. B: It's C-A-T. B: I like dog. B: Yes, I do. B: Two dogs.
--

※主文の表題に応じて、バナーを適宜で提示する。

Unit7(4時間)

1 単元名 This Is for you. 『カードをおくろう』

2 単元目標(教科書案・暫定版より)

- ①日本語と英語の音声の違いに気付く、形の言い方や、欲しいものを探ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
②欲しいものを探ねたり答えたりして伝え合う。
③相手に伝わるように工夫しながら、欲しいものを紹介しようとする。

3 新出語彙・語句例(教科書案・暫定版より)

this, a, for, big, small, 形 (square, rectangle, heart, star, diamond) : bus, flower, 動物 (dog, cat, panda, mouse, bear)

4 タイアローグ(例)

時数	教科書(暫定版より)	新出	追加	主な練習	最終形
20時間目	What do you want? (A) star. Here you are.	Thank you. A: Small or big? B: Small, please.		How are you? Do you have pets? Do you like dogs? Let's go!	(A) How are you? Do you want pets? What do you want? This is for you. (B) Do you have pets? Do you want pets? What do you want? Do you like dogs? Let's go to the pet shop!
21時間目		Do you want hamburger? A: This is for you.			
22時間目		A: What drink do you want? B: I want coke.			
23時間目					

5 組み立て例

<20時間目> 1 あいさつ 2 歌 3 自己紹介 4 復習 5 メインダイアローグ指導 A: What do you want? A: Here you are. B: A star, please. B: Thank you.
--

<21時間目>

1~4 は前時と同様 5 メインダイアローグ指導 A: Do you want a hamburger? A: This is for you. B: Yes, I do. B: Thank you. ①単語練習(飲食物) ②状況設定・繰り返し口頭練習 ③アクティビティ1 ④アクティビティ2 6 単語練習(動物) A: How are you? A: Do you want 青汁? A: What drink do you want? A: This is for you. B: I want coke. B: Thank you.

<22時間目>

1~4 は前時と同様 5 メインダイアローグ指導 A: What drink do you want? A: Here you are. B: I want coke. ①単語練習(動物) ②状況設定・繰り返し口頭練習 ③アクティビティ1 6 会話をつなげる A: How are you? A: Do you want 青汁? A: What drink do you want? A: This is for you. B: I'm thirsty. B: No, I don't. B: I want coke. B: Thank you.

<23時間目>

1~4 は前時と同様 5 単語練習(ペット) 6 会話をつなげる A: Do you have pets? A: Do you want pets? A: What pet do you want? A: Do you like dogs? A: Let's go to the pet shop! B: No, I don't. B: Yes, I do. B: I want a dog. B: Yes, I do. B: OK.

Unit8(5時間)

- 1 単元名 What's this? 『これなあに?』
- 2 単元目標(文科書・暫定版より)
 - ①外来語とそれが由来する英語の違いに気づき、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表に慣れ親しむ。
 - ②クイズを出したり答えたりし合う。
 - ③相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。
- 3 新出単語・語句例(文科書・暫定版より)
 - who, him, 動物 (cow, dragon, snake, horse, sheep, chicken, wild bear), 状態・気持 (long, shiny, scary, round, funny)
- 4 ダイアローグ(例)

時数	教科書(暫定版より)	追加	主役	最終形
24時間目	What's this? It's a melon.			
25時間目	Hint, please. It's green. It's a fruit.			
26時間目	Can you play Hula Hoop? B: Yes, I can. / No, I can't.			
27時間目	Can you dance? B: Yes, I can. / No, I can't.			
- 5 読み立て例

時数	教科書(暫定版より)	追加	主役	最終形
24時間目	What's this? It's a melon.			
25時間目	Hint, please. It's green. It's a fruit.			
26時間目	Can you play Hula Hoop? B: Yes, I can. / No, I can't.			
27時間目	Can you dance? B: Yes, I can. / No, I can't.			

Unit9(4時間)

- 1 単元名 Who are you? ~In the Autumn Forest~ 『きみはだれ?』
- 2 単元目標(文科書・暫定版より)
 - ①日本語と英語の音やリズムなどの違いに気づき、誰かと訪ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
 - ②絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かる。
 - ③絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとする。
- 3 新出単語・語句例(文科書・暫定版より)
 - who, 動物 (cow, dragon, snake, horse, sheep, chicken, wild bear), 状態・気持 (long, shiny, scary, round, funny)
- 4 ダイアローグ(例)

時数	教科書(暫定版より)	追加	主役	最終形
29時間目	Who am I? A: I am a bear!			
30時間目	Hint, please. B: OK, I can fly. B: I have wings.			
31時間目	Are you a dog? Yes, I am. No, I'm not.			
32時間目				
- 5 読み立て例

時数	教科書(暫定版より)	追加	主役	最終形
29時間目	Who am I? A: I am a bear!			
30時間目	Hint, please. B: OK, I can fly. B: I have wings.			
31時間目	Are you a dog? Yes, I am. No, I'm not.			
32時間目				

Unit10(3時間)

- 1 単元名 Welcome to Ogasawara 『ようこそ小笠原へ!』
- 2 単元目標
- ①日本語と英語のリズムなどの音のの違いに気づき、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
 - ②日本(東京・小笠原)の文化や食べ物、観光地について伝え合う。
 - ③相手に日本の良さが伝わるように尋ね合う。

3 新出語彙・語句例

日本(東京・小笠原)に関わる固有名称

4 タイアローグ(例)

時数	教科書(暫定版より)	新出	主な練習	最終形
33時間目		A: Where are you from? B: I'm from America. A: Welcome to Ogasawara! B: Thank you!	Let's see eat dance	Where are you from? I'm from America. Welcome to Ogasawara! Thank you! What do you want to do? I want to eat / dance Let's dance OK
34時間目		A: What do you want to do? B: I want to see Ogasawara! I want to dance Let's dance	OK	
35時間目				

5 組み立て例

<33時間目>

1 あいさつ

2 歌

3 自己紹介

4 復習

5 メインダイアローグ指導

A: Where are you from? B: I'm from America.
A: Welcome to Ogasawara! B: Thank you!

①単語練習(国名)

②状況設定・繰り返し口頭練習

③アクティビティ1

6 単語練習(国名の語彙を増やす)

7 アクティビティ2

8 単語練習(小笠原の観光地・食べ物・文化)

<34時間目>

1～4 は前時と同様

5 メインダイアローグ指導

A: What do you want to do? B: I want to see Ogasawara!
B: I want to eat Ogasawara!
B: I want to dance Ogasawara!

①単語練習(小笠原の観光地・食べ物・文化)

②状況設定・繰り返し口頭練習

③アクティビティ1

6 単語練習(小笠原の観光地・食べ物・文化の語彙を増やす)

7 アクティビティ2

8 会話をつなげる

A: Where are you from? B: I'm from America.
A: Welcome to Ogasawara! B: Thank you!
A: What do you want to do? B: I want to see Ogasawara!
B: I want to eat Ogasawara!
B: I want to dance Ogasawara!
B: OK

A: Let's see! / eat! / dance!

※場面がイメージしやすくなるように、単語を丸に囲むなどして対応する。

<35時間目>

1～4 は前時と同様

5 これまでの復習(イラストを見ながら"I like" "have" "want" "can"などを使った会話)

6 【自己紹介】パターンA(二人で)

→"I'm (自分の名前)."などの既習の言い方で交互に言い合う。

7 【自己紹介】パターンB(一人で)

→"I'm (自分の名前)."などの既習の言い方でスピーチを行う。

※場面がイメージしやすくなるように、単語を丸に囲むなどして対応する。

2. 年間カリキュラム(4年生)

Unit1 (2時間)

1 単元名 Hello, world! 『世界の色々なことばであいさつをしよう』

2 単元目標(教科書・暫定版より)

- ①様々な挨拶の仕方があることに気付くとともに、様々な挨拶の言い方に慣れ親しむ。
- ②友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合う。
- ③相手に配慮しながら、友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合おうとする。

3 使用言語例(教科書暫定版より)

morning, afternoon, world

4 ダイアローグ(例)

時数	教科書(暫定版より)	新出	追加	主役配置	最終形
1時間目	Good morning / afternoon.	Good evening.		Hello, I'm (Taro). How are you? I'm (happy). I like (blue). Goodbye. See you. 気持ちを表す 語、色、数(1-10)、動詞、 形容詞、スロー ツ、動機	Good morning. I'm (Taro). I'm from (Japan). I like (blue). I'm 9 years old. Nice to meet you. Bye. / See you.
2時間目					I'm 9 years old.

5 組み立て例

<1時間目>

1 あいさつ

A: Hello.
B: Hello.
A: I'm (Taro).
B: I'm (Hanako).
A: Nice to meet you.
B: Nice to meet you, too.
A: Bye. / See you.
B: Bye. / See you.

2 趣意説明

3 英語が上手になるポイント

4 歌

5 ALTタイム

6 復習

7 単語練習

8 状況設定とダイアローグ練習

9 アクティビティ

10 会話をつなげる Long Talk

A: Good morning(afternoon, evening).
B: Good morning(afternoon, evening).

11 会話をつなげる Long Talk

A: Good morning(afternoon, evening).
B: Good morning(afternoon, evening).

12 会話をつなげる Long Talk

A: Good morning(afternoon, evening).
B: Good morning(afternoon, evening).

13 会話をつなげる Long Talk

A: Good morning(afternoon, evening).
B: Good morning(afternoon, evening).

14 会話をつなげる Long Talk

A: Good morning(afternoon, evening).
B: Good morning(afternoon, evening).

15 会話をつなげる Long Talk

A: Good morning(afternoon, evening).
B: Good morning(afternoon, evening).

16 会話をつなげる Long Talk

A: Good morning(afternoon, evening).
B: Good morning(afternoon, evening).

17 会話をつなげる Long Talk

A: Good morning(afternoon, evening).
B: Good morning(afternoon, evening).

18 会話をつなげる Long Talk

A: Good morning(afternoon, evening).
B: Good morning(afternoon, evening).

19 会話をつなげる Long Talk

A: Good morning(afternoon, evening).
B: Good morning(afternoon, evening).

20 会話をつなげる Long Talk

A: Good morning(afternoon, evening).
B: Good morning(afternoon, evening).

21 会話をつなげる Long Talk

A: Good morning(afternoon, evening).
B: Good morning(afternoon, evening).

22 会話をつなげる Long Talk

A: Good morning(afternoon, evening).
B: Good morning(afternoon, evening).

23 会話をつなげる Long Talk

A: Good morning(afternoon, evening).
B: Good morning(afternoon, evening).

24 会話をつなげる Long Talk

A: Good morning(afternoon, evening).
B: Good morning(afternoon, evening).

Unit2 (4時間)

1 単元名 Let's play cards. 『好きな遊びを伝えよう』

2 単元目標(教科書・暫定版より)

- ①世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、様々な動作・遊びや天気の違い、遊びに誘う表現に慣れ親しむ。
- ②好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。
- ③相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。

3 新出語彙・語句例(教科書・暫定版より)

on, around, right, left, let's play, 体の部位(hand, leg), 遊び(tag, jump rope, bingo game), outside, inside, 衣服(sweater, pants, raincoat, rain boots, gloves, boot)

4 ダイアローグ(例)

時数	教科書(暫定版より)	新出	追加	主役配置	最終形
3時間目	How's the weather? It's sunny / rainy / cloudy / snowy.				How's the weather? It's sunny. (It's rainy.) Do you like to play tag? (Do you like to play tag?) Yes, I do. (No, I don't.) Let's play tag! (Let's play tag!)
4時間目	Let's (play cards). Yes, let's. / Sorry. I want to stop. / Jump / Run.				Let's (play cards). Yes, let's. / Sorry. I want to stop. / Jump / Run. Do you like to play tag? Yes, I do. / No, I don't.
5時間目					Do you like to play tag? Yes, I do. / No, I don't.
6時間目					Do you like to play tag? Yes, I do. / No, I don't.

5 組み立て例

<3時間目>

1 あいさつ

2 歌

3 復習

4 単語練習

5 状況設定・ダイアローグ練習

6 アクティビティ

7 次時以降の単語

8 あいさつ

A: How's the weather?
B: It's sunny/rainy/cloudy/snowy.

9 アクティビティ

10 状況設定・ダイアローグ練習

11 アクティビティ

12 状況設定・ダイアローグ練習

13 アクティビティ

14 状況設定・ダイアローグ練習

15 アクティビティ

16 状況設定・ダイアローグ練習

17 アクティビティ

18 状況設定・ダイアローグ練習

19 アクティビティ

20 状況設定・ダイアローグ練習

21 アクティビティ

22 状況設定・ダイアローグ練習

23 アクティビティ

24 状況設定・ダイアローグ練習

25 アクティビティ

26 状況設定・ダイアローグ練習

27 アクティビティ

28 状況設定・ダイアローグ練習

29 アクティビティ

30 状況設定・ダイアローグ練習

31 アクティビティ

32 状況設定・ダイアローグ練習

33 アクティビティ

34 状況設定・ダイアローグ練習

35 アクティビティ

36 状況設定・ダイアローグ練習

37 アクティビティ

38 状況設定・ダイアローグ練習

39 アクティビティ

40 状況設定・ダイアローグ練習

41 アクティビティ

42 状況設定・ダイアローグ練習

43 アクティビティ

44 状況設定・ダイアローグ練習

45 アクティビティ

Unit3 (4時間)

- 1 単元名 I like Mondays. 『好きな曜日は何かな』
- 2 単元目標(教科書案・暫定版より)
 - ①世界の同年代の子供たちの生活を知るとともに、曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表に慣れ親しむ。
 - ②自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合う。
 - ③相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとする。
- 3 新出語彙・語句例(教科書案・暫定版より)
day, 曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday), 果物・野菜 (mushroom, watermelon)
お弁当 (soup, pie, sandwich), fresh

時数	教科書(暫定版より)	新出	追加	主修練習	最終形
7時間目	What day is it? It's Monday.				
8時間目				Hello. Do you like Mondays? Yes, I do./No, I don't.	What day is it? It's Monday. Do you like Mondays? Yes, I do. Which do you like, Monday or Tuesday? I like Tuesday.
9時間目		Which do you like, Mondays or Tuesdays? I like Tuesdays.			
10時間目					

5 組み立て例

1 あいさつ	
2 歌	
3 復習	
4 単語練習	
5 状況設定・ダイアログ練習	
6 アクティビティ	A: What day is it? B: It's Monday.
7 次時の単語	

<8時間目>

1～3は前時と同様	
4 単語練習	
5 状況設定・ダイアログ練習	
6 アクティビティ	A: Do you like Monday? B: Yes, I do./No, I don't.
7 会話をつなげる	
8 あいさつ	

<9時間目>

1～3は前時と同様	
4 単語練習	
5 状況設定・ダイアログ練習	
6 アクティビティ	A: Which do you like, soup or pie? B: I like pie.
7 ゲーム	

<10時間目>

1～3は前時と同様	
4 単語練習	
5 状況設定・ダイアログ練習	
6 アクティビティ	A: What day is it? B: It's Monday. A: Do you like Monday? B: Yes, I do.
7 会話をつなげる	A: Which do you like, Monday or Tuesday? B: I like Tuesday.
8 ふりかえり	

Unit4 (4時間)

- 1 単元名 What time is it? 『今、何時?』
- 2 単元目標(教科書案・暫定版より)
 - ①世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や生活時間の言い方や尋ね方に慣れ親しむ。
 - ②自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合う。
 - ③相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとする。
- 3 新出語彙・語句例(教科書案・暫定版より)
time, 数字 (forty, fifty, sixty), a.m., p.m. about, 生活日課・時間 (wake up, breakfast/ study/ lunch/ dinner/ homework/ bath / bed, dream time)

時数	教科書(暫定版より)	新出	追加	主修練習	最終形
11時間目	What time is it (in America)? It's 5:30.				
12時間目			Excuse me. Yes.	Thank you. You are welcome. Do you like TV time? Yes, I do./No, I don't.	What time is it in America? It's 5:00. It's reading time. Do you like reading time? Yes, I do. How about you? I like reading time, too.
13時間目					
14時間目	How about you? I like reading time.				

5 組み立て例

1 あいさつ	
2 歌	
3 復習	
4 単語練習	
5 状況設定・ダイアログ練習	
6 アクティビティ	A: What time is it? B: It's 10:30.
7 次時の単語	

<12時間目>

1～3は前時と同様	
4 単語練習	
5 状況設定・ダイアログ練習	
6 アクティビティ	A: Excuse me. B: Yes.
7 次時の単語	

<13時間目>

1～3は前時と同様	
4 単語練習	
5 状況設定・ダイアログ練習	
6 アクティビティ	A: What time is it in Australia? B: It's 8:00.
7 会話をつなげる	

<14時間目>

1～3は前時と同様	
4 単語練習	
5 状況設定・ダイアログ練習	
6 アクティビティ	A: Do you like TV time? B: How about you? B: Yes, I do./No, I don't. B: I like TV time.
7 会話をつなげる	A: What time is it in America? A: Do you like reading time? B: Yes, I do. How about you?
8 ふりかえり	A: I like reading time, too.
次のように付け加えることもできる	
A: It's TV time.	B: What TV program do you like?
A: It's lunch time.	B: What book do you like?
A: It's lunch time.	B: What food program do you like?

Unit5 (4時間)

『おすすめの文房具セットをつくらう』

1 単元名 Do you have a pen?

2 単元目標(文科係室・暫定版より)

- ①文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ②文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。
- ③相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。

3 新出語彙・語句例(文科係室・暫定版より)

have, 身の回りの物 (glue stick, scissors, pen, stapler, magnet, marker, pencil sharpener)
pencil case, desk, chair, clock, calendar, 水筒・定規 (short)

4 ダイアログ(例)

時数	教科書(暫定版より)	新出	追加	練習	最終形
13時				Excuse me. Yes, I do. Do you have a (何物)? Yes, I do. Do you have any (何物)? Yes, I do. / No, I don't. Which do you like? I like dogs.	Do you have any dogs? Yes, I do. How many dogs do you have? I have two. Do you like dogs? Yes, I do. Do you like rabbits? Yes, I do. Which do you like dogs or rabbits? I like dogs.
14時				How many pencils do you have? I have 5 pencils.	
15時					
16時					

5 組み立て例

<<15時間目>>

- 1 あいさつ
 - 2 歌
 - 3 復習
 - 4 単語練習
 - 5 状況設定・ダイアログ練習
 - 6 アクテイビティ
 - 7 次時の単語
- A: Do you have a (動物・文房具)?
B: Yes, I do. / No, I don't.

<<16時間目>>

- 1 ～3 は前時と同様
 - 4 単語練習
 - 5 状況設定・ダイアログ練習
 - 6 アクテイビティ
 - 7 次時の単語
- A: Do you have any pencils?
A: How many pencils do you have?
B: Yes, I do. / No, I don't.
A: I have 5 pencils.

<<17時間目>>

- 1 ～3 は前時と同様
 - 4 単語練習
 - 5 状況設定・ダイアログ練習
 - 6 アクテイビティ
 - 7 つなげる
- A: Do you have any brothers?
A: How many brothers do you have?
B: Yes, I do. / No, I don't.
A: I have two.

<<18時間目>>

- 1 ～3 は前時と同様
 - 4 単語練習
 - 5 状況設定・ダイアログ練習
 - 6 アクテイビティ
 - 7 会話をつなげる
 - 8 ふりかえり
- A: Do you have any dogs?
A: How many dogs do you have?
A: Do you like dogs?
A: Do you like rabbits?
A: Which do you like, dogs or rabbits?
B: Yes, I do.
B: I have two dogs.
B: Yes, I do.
B: Yes, I do.
B: I like dogs.

Unit6 (3時間)

1 単元名 Alphabet 「アルファベットで文字遊びをしよう」

2 単元目標(文科係室・暫定版より)

- ①身の回りにある活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付くとともに、活字体の小文字を識別し、文字の読み方に慣れ親しむ。
- ②アルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。
- ③相手に配慮しながらアルファベットの文字について尋ねたり答えたりしようとする。

3 新出語彙・語句例(文科係室・暫定版より)

小文字 (a-z), letter, try, again, coffee, closed, donut, evil, juice, news, off, open, police, post, popcorn, restaurant, sale, street, taxi, telephone

4 ダイアログ(例)

時数	教科書(暫定版より)	新出	追加	主役練習	最終形
19時	What's this? What's that? It's a book store.			Do you have a? Yes, I do. / No, I don't. Here you are. Thank you.	What's this? What's that? It's five letters. Do you have a? Yes, I do. It's apple! That's right! (No, try again? Yes!)
20時	How many letters? Four letters. Hint please. That's right.				
21時	Try again. Yes!				

5 組み立て例

<<19時間目>>

- 1 あいさつ
 - 2 歌
 - 3 復習
 - 4 単語練習
 - 5 状況設定・ダイアログ練習
 - 6 アクテイビティ
 - 7 次時の単語
 - 8 歌
- A: What's this?
B: It's "bookstore".

<<20時間目>>

- 1 ～3 は前時と同様
 - 4 単語練習
 - 5 状況設定・ダイアログ練習
 - 6 アクテイビティ
 - 7 つなげる
 - 8 歌
- A: What's this?
A: How many letters?
B: It's "dount".
A: Five letters.

<<21時間目>>

- 1 ～3 は前時と同様
 - 4 単語練習
 - 5 状況設定・ダイアログ練習
 - 6 アクテイビティ
 - 7 つなげる
 - 8 ふりかえり
- A: How do you spell?
A: a-p-p-l-e.

Unit7(3時間)

1 単元名 What do you want? 「ほしいものは何かな」

2 単元目標(教科書・習込版より)

- ①食材の言い方や欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。
- ②欲しい食材などを尋ねたり要求したりするときに、考えたメニューを紹介し合う。
- ③相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。

3 新出語彙・語句例(教科書・習込版より)

果物・野菜 (vegetable, potato, cabbage, corn, cherry, blueberry) 飲食物 (meat, pork, beef), want

4 ダイアログ(例)

時数	教科書(習込版より)	新出	追加	主役練習	最終形
22時目			Do you want potatoes? Yes, I do. / No, I don't.		What do you want? I want potatoes. How many potatoes? I want two. Yes, I do. How many tomatoes? I want three. Thank you. You are welcome.
23時目	How many apples? I want two.			Here you are. Thank you. You are welcome.	
24時目		What do you want? I want potatoes.			

5 組み立て例

<22時目>

- 1 あいさつ
- 2 歌
- 3 復習
- 4 単語練習
- 5 状況設定・ダイアログ練習
- 6 アクティビティ
- 7 次時の単語

A: Do you like pork curry?
A: Do you want carrots?
B: Yes, I do. / No, I don't.
B: Yes, I do. / No, I don't.

<23時目>

- 1～3は前時と同様
- 4 単語練習
- 5 状況設定・ダイアログ練習
- 6 アクティビティ
- 7 次時の単語練習
- 8 つなげる

B: I want potatoes.

A: Let's eat dessert.
A: What do you want?
A: Here you are.

B: Nice!
B: I want peaches.
B: Thank you.

<24時目>

- 1～3は、前時と同様
- 4 単語練習
- 5 状況設定・ダイアログ練習
- 6 会話をつなげてアクティビティ
- 7 ふりかえり

B: I want (potatoes).

Unit8(4時間)

1 単元名 This is my favorite place. 『お気に入りの場所をしようかいしよう』

2 単元目標(教科書・習込版より)

- ①世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があふれることに気付くとともに、教科名や教員名の言い方に慣れ親しむ。
- ②自分が気に入っている校内の場所や校舎内にあり、その場所について伝え合ったりする。
- ③相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合おうとする。

3 新出語彙・語句例(教科書・習込版より)

施設・場所 (science/music/art, underground/computer/ smoking/ lunch/ library/ school principal's/ teacher's office, entrance, library, gym, playground) 方向 (straight)

4 ダイアログ(例)

時数	教科書(習込版より)	新出	追加	主役練習	最終形
25時目			Let's go to the music room. Yes, let's go!		Let's go to the music room. Yes, let's go! Go straight. / Turn right. / Turn left. / Go up. / Go down.
26時目	Go straight. / Turn right. / Turn left. This is the music room.				
27時目	This is my favorite place.		Go up. / Go down.		
28時目	Why? Because, I like music.				This is my favorite place. Why? Because, I like music.

<25時目>

- 1 あいさつ
- 2 歌
- 3 復習
- 4 単語練習
- 5 状況設定・ダイアログ練習
- 6 アクティビティ
- 7 次時の単語
- 8 ゲーム

A: Let's go to the music room!
A: Let's go!
B: Yes, let's go!

<26時目>

- 1～3は前時と同様
- 4 単語練習
- 5 状況設定・ダイアログ練習
- 6 ゲーム
- 7 アクティビティ
- 8 次時の単語

A: Go straight. / Turn right. / Turn left.
A: This is the music room.
B: OK.

<27時目>

- 1～3は前時と同様
- 4 単語練習
- 5 状況設定・ダイアログ練習
- 6 アクティビティ
- 7 つなげる
- 8 発表

A: Go straight. / Turn left. / Turn right. / Go up. / Go down.
A: This is my favorite place.
B: OK.

<28時目>

- 1～3は前時と同様
- 4 単語練習
- 5 状況設定・ダイアログ練習
- 6 アクティビティ
- 7 つなげる
- 8 発表

A: Why?
B: Because I like music.

Unit9 (4時間)

1 単元名 This is my day. ～Good Morning～『ぼく・わたしの一日』

2 単元目標(教科書・暫定版より)

- ①日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気づき、日課を表す表現に慣れ親しむ。
- ②絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かっていたりする。
- ③相手に配慮しながら、絵本などの短い話を聞いて反応しようとする。

3 新出語彙・語句例(教科書・暫定版より)

目覚め (wake up) go to school, go home, brush my teeth, put away my futon, have breakfast, check my school bag
片付け (tidy up) leave my house, take out the garbage, take a bath, do my homework

4 ダイアローグ(例)

時刻	教科書(暫定版より)	新出	追加	主役練習	最終形
29時間			What do you do in the morning? I wash my face.		
30時間			What do you do in the evening? I wash my face.		
31時間			What do you do in a day? I wash my face. I go to school..... This is my day.		
32時間					What do you do in a day? I get up. I wash my face. I have breakfast. I brush my teeth. (口癖) This is my day. What time brush your teeth? It's 6:30.

5 組み立て例

<29時間目>

- 1 あいさつ
- 2 歌
- 3 復習
- 4 単語練習
- 5 状況設定・ダイアローグ練習
- 6 ゲーム
- 7 アクティビティ
- 8 発表

<30時間目>

- 1～3 まで前時と同様
- 4 単語練習
- 5 状況設定・ダイアローグ練習
- 6 ゲーム
- 7 アクティビティ
- 8 ゲーム(発表)

<31時間目>

- 1～3 まで前時と同様
- 4 単語練習
- 5 状況設定・ダイアローグ練習
- 6 ゲーム
- 7 アクティビティ

<32時間目>

- 1～3 まで前時と同様
- 4 単語練習
- 5 状況設定・ダイアローグ練習
- 6 アクティビティ
- 7 アクティビティ
- 8 発表

Unit10 (3時間)

1 単元名 Welcome to Ogasawara 『ようこそ小笠原へ』

2 単元目標

- ①日本語と英語のリズムなどの音声の違いに気づき、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ②小笠原の文化や食べ物、観光地について伝え合う。
- ③相手に小笠原の良さが伝わるようにする。

3 新出語彙・語句例

釣り (fishing) scuba diving, whale watching, swimming, skin diving, sea kayaking, surfing) など

4 ダイアローグ(例)

時刻	教科書(暫定版より)	新出	追加	主役練習	最終形
33時間目					
34時間目				What do you want to do? I want to go fishing.	Where are you from? (口癖) What do you want to do? I want to go fishing. Why? Because it's exciting. Let's go fishing. OK.
35時間目					

5 組み立て例

<33時間目>

- 1 あいさつ
- 2 歌
- 3 復習
- 4 単語練習
- 5 状況設定・ダイアローグ練習
- 6 アクティビティ
- 7 小笠原の見どころを紹介する
- 8 発表

<34時間目>

- 1～3 は前時と同様
- 4 単語練習
- 5 状況設定・ダイアローグ練習
- 6 アクティビティ
- 7 小笠原の特産物紹介
- 8 会話を続ける

<35時間目>

- 1～3 は前時と同様
- 4 単語練習
- 5 状況設定・ダイアローグ練習
- 6 アクティビティ
- 7 会話をつなげる
- 8 発表

1 3年生 Unit 1 (1時間目/2時間) Hello! 「あいさつをして友達になろう」			
1 目標 名前や好きなものを伝えて、自己紹介をする。 2 新出単語・表現 Hello, I'm 名前。 Nice to meet you, too. Bye, I like~. 3 使用教材 歌の CD、状況設定フラッシュカード (またはパソコン、電子黒板、コンテラップ) 4 展開			
時間	学習内容	担任の動き HRT	ALT の動き ALT
5分	1 あいさつ Greeting A: Hello. B: Hello. A: Bye. B: Bye.	Hello. Bye. の練習をする。 Talk with 3 people and sit down!	Greet students. Talk with many students and praise them.
5分	2 歌を歌う Song	☆ 歌を歌って歌い、雰囲気を楽しませよう。	Sing a song and dance with the students.
5分	3 ALT タイム ALT time ALT の自己紹介を聞く。	児童がわかりにくそうにしていたら、ゆっくりというよう ALT に伝える。 One more time, please! More slowly, please!	Tell the students about yourself, your country, and so on.
5分	4 自己紹介をする Self-introduction 会話を聞かせて意味を推測してから、練習をする。	ALT との会話を聞かせる。 その後、練習させる。 ☆ 日本語に訳さず、推測させるようにしよう。	Show a demonstration of the conversation with HRT. Help HRT practice the dialogue.
A: Hello. B: Hello. A: I'm Taro. B: I'm Hanako. A: Nice to meet you. B: Nice to meet you, too.			
20分	5 単語練習 Words sushi, ramen, udon, soba, onigiri	単語練習をする。2回→1回→0回	Help HRT with practicing.
三 構 成 法	6 状況設定とダイアログ練習 Setting the context Practise the dialogues (1) 状況設定	初めて会った人との会話場面。 ☆ 状況設定カード(コンテラップ)を見せることで、意味が推測しやすくなるが、単語の好きなもの(食べ物や写真)を用意すると効果的です。 状況設定 A: Hello. I'm Taro. I like sushi. B: Hello. I'm Hanako. I like ramen. A: I like sushi. B: I like ramen.	Pronounce the dialogues and help HRT.
	(2) ダイアログ練習 ① 動詞が好きなものを使う。 ② 動詞の後に繰り返し返し練習 ③ ペア練習		
	7 アクティビティ Activity 仲間探め "Making groups with the same answer"	仲間探め いっつかカードを示し好きなもの1つだけを選ぶ。同じ人か、いたら、手をつなぐ。 ☆ 一人にばかり話しかけず、最初に話しかけておきましょう。	Find someone with the same answer and make a group. Please talk to the student who seems to have difficulties with finding a partner.
5分	8 会話をつなげる Long talk 会話をつなげて、友達と会話をする。	会話をつなげる練習をする。	Show a demonstration of the conversation.
	A: Hello. B: Hello. A: I'm Tom. B: I'm Ken. A: I like sushi. B: I like udon. A: Nice to meet you. B: Nice to meet you, too.		
5分	9 なぜ英語を学ぶのかを考える ~Why do we study English?~ 3つのポイント①clear voice ②smile ③eye contact など	なぜ英語を学ぶのですかと聞き、子供たちから意見を出させる。「世界中のたくさんの人と仲良くなるため」趣意説明をする。あいさつをして終わりにする。	Help HRT if he/ she needs.

3. 指導案 (3年生)

2

3年生 Unit1 (2時間目/2時間)
Hello 「あいさつをして友達になろう」

- 目標 世界には様々な言語があることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しむ。
- 新出単語・表現 国の名前 Japan, the USA, China, Korea / I'm from~, (Where are you from?)
既習単語・表現 Hello, I'm 名前. Nice to meet you. Nice to meet you, too. Bye. I like~.
- 使用教材 歌、チャンツのCD、国のフラッシュカード、状況設定カード (またはコンテンツ、パソコン、電子黒板)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	CDを流す。☆楽しんで歌っていたいかなうし、雰囲気作れよう。	Sing together.
5分	3 自己紹介 Self-introduction Hello, I'm ~. I like ~. Nice to meet you. Nice to meet you, too.	3人と話して座らせる。 Talk with 3 people and sit down.	Review self-introduction
5分	4 色々な国のあいさつしよう Greeting ①国の名前の単語練習 ②いろいろな国のあいさつの練習 In China, ni hao. ③アクティビティ 教師が言った国の名前のあいさつをする。	①国のカードを見せながら、国の名前の練習をする。 ②Ni hao, こんにちは、などの練習をする。 ③アクティビティのデモを見せる。	Help HRT practice countries. Show a demonstration of the activity with HRT.
15分	5 単語練習(国) Words Japan, the USA, China, Korea 6 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and practice the new expression (1) 状況設定 会話を練習せよ、練習せよ。 (2) ダイアログ練習 ①教師のあとにリピート ②教師と児童でA役B役 ③ペア練習	状況設定カードをする。または、ALTと会話を練習せよ、意味を推測せよ。 A: Hello, I'm Taro. I'm from Japan. B: Hello, I'm Joe. I'm from the U.S.A. A: I'm from Japan. B: I'm from the U.S.A.	Pronounce the words.
10分	7 アクティビティ Activity Greet in some languages 8 会話をつなげる Long talk	アクティビティ ある国の人になりきって会話をしよう。 同じ国の人がいたらハイタッチ。 会話を続けて、友達と会話を。 Talk with many friends.	Talk with the students and praise them. Show a demonstration of the conversation.
5分	9 発表 何人が前に出て発表する。 Challengers time	発表をする。☆楽しんで発表しよう。	
5分	10 次の単元の練習 Introduce the words of the next Unit	fine, OK, hungry, thirsty などの練習	Pronounce the words of the next lesson.
5分	11 振り返りとあいさつ Reflection and closing	単元の振り返りをする。感想を書かせてみよう。	Praise students.

3

3年生 Unit2 (1時間目/3時間)
How are you? 「ごきげんいかが」

- 目標 表情やジェスチャーを付けて、あいさつをする。
- 新出単語・表現 How are you? I'm ~. (fine, happy, sleepy, hungry, tired, sad, great, hot, cold)
- 使用教材 国のフラッシュカード、状況設定カード (コンテンツ、パソコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	CDをセットする。	Sing together.
5分	3 復習 Review ①自己紹介の復習 ②前時の復習 ③これまでの復習	①〜③の復習を1つ選んで行う。 ☆復習は、児童の発音に注意、パランスよく行いましょう。	Help HRT practice countries. Talk with the students and praise them.
20分	4 単語練習 Words fine, happy, sleepy, hungry, tired, sad, great, hot, cold 5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and practice new expressions (1) 状況設定 (2) ダイアログ練習 ①答え方をリピート ②聞き方をリピート ③ペア練習	単語練習をする。2回→1回→0回 状況設定のあと、繰り返しの口頭練習をさせる。 A: How are you? B: I'm fine. B: How are you? A: I'm hot. A: How are you? B: I'm fine. (fine, happy, sleepy, hungry, tired, sad, great, hot, cold)	Help HRT. Show the demonstration of the conversation.
10分	6 アクティビティ 仲間とグループで同じ答えを練習せよ Activity Making groups with the same answer 7 会話をつなげる Long talk	仲間集めのやり方をする。いくつかのカードを黒板に貼る。 1つだけ選ぶ。 How are you? と聞きあい、同じ答えだつた人と手をつなぐ。 ☆このまわりの誰かには、あらかしめ、どんな気分かを尋ねてみる。そのカードを貼るよ。	Show a demonstration of the activity. Find someone with the same answer and make a group. Please talk to the student who seems to have difficulties with finding a partner. Talk with the students and praise them.
5分	8 次の単元の練習 あいさつ Introduce the words of next Unit And closing	練習してから、ペアでたくさん会話を。 play soccer, play baseball, play dodgeball, play tag 終わりのあいさつをする。 That's all for today. Good bye, everyone.	Pronounce the words of the next lesson.

4 3年生 Unit2 (2時間目/3時間)
How are you? 『ごきげんいかが!』

- 目標 気分を聞いたり遊びに誘ったりする表現に慣れ親しむ。
新出単語・表現 Let's play soccer(dodgeball, tag, baseball)
既習単語・表現 How are you? I'm ~, (fine, happy, sleepy, hungry, tired, sad, great, hot, cold)
- 使用教材 気分のフラッシュカード、遊びのフラッシュカード、状況設定カード(コンテンツ、パノコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいざつ Greeting	児童とあいざつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	CDをセツトする。	Sing together
5分	3 復習 Review ①自己紹介の復習 ②前時の復習 ③これまでの復習	①～③の復習を1つ選んで行う。 ☆復習は、児童の状況に応じ、バランスよく行いましょう。	Help HRT practice countries. Talk with the students and praise them.
20分	4 単語練習 Words soccer, dodgeball, tag, baseball	単語練習をする。2回→1回→0回 男女で言わせたり列ごとに言わせたりして、楽しく練習させる。	Help HRT practice new words. Pronounce the new words.
三構成	5 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and practice new expression. (1) 状況設定 (2) ダイアローグ練習 ①教師のあとにリビート ②教師と児童でA、B役 ③ペア練習	状況設定のあと、繰り返し練習をさせる。 友達を遊びに誘う場面 A: Let's play tag. B: Let's play dodgeball. A, B: Rock, scissors, paper, 1,2,3! A: Yeah! Dodgeball.	Show the demonstration of the conversation.
10分	6 アクティビティ Activity Say at the same time おにごっこやドッジボールのうち、どちらかを選ぶ。 友達と同時に言う。 同じだったら、OKと言って、ハイタッチをする。	ALT や児童とデモンストレーションを見せる。 HRT, ALT が同時に 1,2. Let's play tag! Yeah! ハイタッチ HRT, ALT が同時に 1,2. Let's play tag! Let's play dodgeball. Sorry! ☆何回ハイタッチしたか数えさせて、後で競合すると盛り上がります。	Show the demonstration of the activity. Choose one and say 'Let's ~' at the same time. If the partner says the same thing, say OK and do high five. Talk with the students and praise them.
7 会話をつなげる Long Talk	A: Let's play tag. B: Let's play dodgeball. A, B: Rock, scissors, paper, 1,2,3! A: Yeah! Dodgeball.		
5分	8 次の時の単語の練習 Words Introduce the words of the next Unit. play cards, play 百人一首, play kanuta	単語練習をする。2回→1回→0回 ☆時間があれば、キーボードゲームなど簡単なゲームをしてもよいです。 あいざつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone.	Pronounce the words of the next lesson.

5 3年生 Unit2 (3時間目/3時間)
How are you? 『ごきげんいかが!』

- 目標 気分を聞いたり、遊びに誘ったりする表現に慣れ親しむ。
新出単語・表現 play cards, play shogi, play kanuta, play 百人一首, play go (囲碁)
既習単語・表現 How are you? I'm fine. (happy, sleepy, hungry, tired, sad, great, hot, cold)
Let's play soccer. (dodgeball, tag, baseball)
- 使用教材 歌CD、遊びのフラッシュカード、状況設定カード(またはコンテンツ、パノコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいざつ Greeting	児童とあいざつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	楽しく歌い、雰囲気作りのする。	Sing together.
5分	3 復習 Review ①自己紹介の復習 ②前時の復習 ③これまでの復習	①～③の復習を1つ選んで行う。 ☆復習は、児童の状況に応じ、バランスよく行いましょう。	Help HRT practice countries. Talk with the students and praise them.
20分	4 単語練習 Words cards, shogi, kanuta, 百人一首, go	単語練習をする。	Practice new words
三構成	5 状況設定とダイアローグ練習 Set the context and practice new expression. (1) 状況設定 (2) ダイアローグ練習 ①教師のあとに練習 ②A役、B役で練習 ③ペア練習	状況設定のあと、繰り返し練習をさせる。 気分を聞き、遊びに誘う場面。 A: How are you? B: I'm great. B: How are you? A: I'm hot. A: I like cards. Let's play cards. B: I like shogi. Let's play shogi. A, B: Rock, scissors, paper, 1,2,3! (A wins.) A: Yeah, let's play cards. B: OK.	Show the demonstration of the conversation.
10分	6 アクティビティ Activity Invite friends 好きな遊びを選ぶ。5人誘うことができれば座る。 Students choose one activity and invite 5 friends.	ALT や児童1-2名とデモンストレーションを行う。じゃんけんや勝ったほうが遊びに誘うことができる。5人誘うことができれば座る。	Show the demonstration of the game. The one who wins rock scissors can choose what they play.
7 会話をつなげる Long Talk	A: How are you? B: I'm great. B: How are you? A: I'm hot. A: I like cards. Let's play cards. B: I like shogi. Let's play shogi. A, B: Rock, scissors, paper, 1,2,3! (A wins) A: Yeah, let's play cards. B: OK.	練習をしてから、会話を続けさせる。	Help HRT.
5分	8 次の時の単語の練習 Words Introduce the words of the next Unit. pencil, eraser, ruler, marble and ball	単語練習をする。 時間があれば、キーボードゲームをする。	Pronounce the words of the next lesson. If you have time, play 'key word game'.

7

3年生 Unit3 (2 時間目／4時間)
How many? 『教えてあそぼう』

- 目標 持っているかどうかを尋ねる表現に慣れ親しむ。
- 新出単語・表現 13~20 動物 dog, cat, pig, cow, horse
既習単語・表現 pencil, eraser, ruler, marble, ball
Do you have any pencils? Yes, I do. / No, I don't. 1~12
- 使用教材 筆記用具フラッシュカード、動物 (複数形) のフラッシュカード、1~12 のフラッシュカード、状況設定カード (またはコンテンツ、パソコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALT の動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greet students.
3分	2 歌 Song	楽しく歌い、雰囲気作りをする。	Sing together.
10分	3 復習 Review ①単語の復習 ②Do you have any -s?の復習	Talk for 1 minute.	Help HRT practice feeling. Talk with the students and praise them.
15分	4 単語練習 Words dog, cat, pig, cow, horse	単語練習をする。2回→1回→0回	Help HRT. Pronounce new words.
三構成法	5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and practice the new expressions. (1) 状況設定 (2) ダイアログ練習 ①答え方 ②尋ね方 ③ペア練習	友達に、パペットを飼っているかどうかを聞く場面。 A: Do you like dogs? B: Yes, I do. A: Do you have any dogs? B No, I don't. A: Do you have any dogs? B: Yes, I do. / No, I don't.	Show the demonstration of the conversation.
10分	6 アクティビティ Yes 集め Collect "Activity" 動物カードを2枚ずつ持つ。 Do you have any cats?と聞き合い、相手が Yes, I do. と言ったら、1ポイント。 7 会話をつなげる Long Talk 友達と会話をさせる。 A ができれば合格。その後 B に進む。	かるたの山から2枚カードを取るよう指示を出す。 Take 2 cards from a piles of kanta cards. 動物フラッシュカードを黒板に貼る。 終了後、カードを集める。	Help HRT give them two cards.
5分	8 発表 Challenge time	手を挙げて、発表させる。	Help HRT.

8

3年生 Unit3 (3 時間目／4時間)
How many? 『教えてあそぼう』

- 目標 いくつか? という表現に慣れ親しむ。
- 新出単語・表現 How many?
既習単語・表現 pencil, eraser, ruler, marble, ball
Do you have any pencils? Yes, I do. / No, I don't. 1~20
- 使用教材 筆記用具のフラッシュカード、1~20 のフラッシュカード、状況設定カード (コンテンツ、パソコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALT の動き ALT
3分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
10分	2 歌 Song 3 復習 Review ①単語の復習 ②Do you have any -s?の復習	楽しく歌って練習しよう。 Talk for 1 minute.	Help HRT practice feeling. Talk with the students and praise them.
20分	4 単語練習 Words pencil, eraser, ruler, marble, ball 5 状況設定とダイアログ練習 Set the context and practice new expression. (1) 状況設定	単語練習をする。2回→1回→0回 状況設定の後、繰り返しの口頭練習をさせる。 いくつかあるかを聞く場面。 A: How many (apples)? B: Two (apples).	Help HRT. ②Show the demonstration of the conversation.
三構成法	(2) ダイアログ練習 6 アクティビティ activity 指いくつ? How many fingers? 指を隠して How many? と聞き合う。 7 ゲーム かるた Kanta 児童が How many? と聞き、教師が答えたりを取る。	状況設定カードを使いながら、繰り返しの口頭練習をする。 アクティビティ1のやり方を見せる。 Everyone, don't look (七手の指を数本、左手で隠す) How many? Students: 5, 2, 3, The answer is 3. ALT とやってみせてもよい。 五色百人一首、数字のかるたを使用。 Listen carefully and get the card. Please say the number when you get the card.	③Show the demonstration of the activity 1 with HRT. Hide some fingers with the other hand, and ask. "How many" Help HRT. Say numbers.
5分	8 会話をつなげる練習(もちもの) Practice the longer conversation.	鉛筆など、筆記用具、もちもの単語を練習する。 A: Do you have any pencils? B: Yes, I do. A: How many? B Five(pencils).	Pronounce stationary. Show a demonstration of the conversation.
5分	9 会話をつなげる もちもの、動物など自分のことについて話す Long talk	動物、筆記用具で練習をしてから、会話を。Talk with 3 friends and sit down. あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Talk with the students and praise them. Pronounce the words of the next lesson.

9

3年生 Unit3 (4時間目/4時間)
How many? 『数えてあそぼう』

- 1 目標 自分が持っているものや数を伝えたり、友達が持っているものや数を習ったりする。
- 2 新出単語・表現 brother, sister, bike, soccer ball, baseball, racket, game, pencil, eraser, ruler, marble, ball
既習単語・表現
- 3 使用教材 姉妹、家族、持ち物などのフラッシュカード、筆記用具のフラッシュカード、ワークシート、ワークシート、提示用ワークシート (A3以上) 2枚

4 題圖

時間	学習内容	担任の動き	HRT	ALTの動き	ALT
2分	1 おいざつ Greeting	見舞とあいさつをする。		Greeting	
3分	2 歌 Song	楽しく歌い、雰囲気作りをする。 黒板に歌詞を書く。		Sing together.	
10分	3 復習 Review ①単語の復習 ②Do you have any ~s?の復習		Talk for 1 minute.	Help HRT practice feeling. Talk with the students and praise them.	
25分	4 単語練習 Words brother, sister, bike, soccer ball, baseball, racket, game		単語練習をする。2回→1回→0回	Pronounce new words, pets, siblings, parents	
三橋成法	5 状況設定とダイアログ練習 Set the context and practice new expression		状況設定のあと、繰り返し口の練習をさせる。	Show the demonstration of the conversation.	
	A: Do you have any dogs? B: Yes, I do.		A: How many (dogs do you have)? B: (I have) three (dogs).		
	6 アクティビティ1 Activity 1 ワークシート①の調査 Interview with the handout #1 ペットや兄弟、姉妹について友達に聞き、ワークシートに数字を記入する。		アクティビティ1のやり方を見せる。 ワークシートを配る。 A: Do you have any brothers? B: Yes, I do. A: How many? B: One. ワークシートに書く。 アクティビティ2のやり方を見せる。 3つのポイントが書かれていた子らを指名したり、前に出て発表したい子を選び、前発表させる。 褒めて自信を持たせる。 Any challengers? Big voice! Very good!	Show a demonstration of the activity 1 with HRT. Help HRT give the handout to the students. Talk with the students and praise them.	
	7 アクティビティ2 Activity 2 Interview with the handout #2 ワークシートを配って聞き合おう ボールなど遊び道具を選び、友達に持っているかどうか、いくつ持っているかを聞き、ワークシートに数字を記入する。				
5分	8 振り返りとおいさつ Reflection and closing		感想を言わせる。 あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Praise students.	

ワークシート#1

名前

Do you have any ~s? Yes, I do. / No, I don't. How many? 調べるものを1つ決めよう。

[illegible]

ワークシート#2

[illegible]

10

3年生 Unit4 (1時間目/4時間)
I like blue. 『好きなものをつたえよう』

- 目標 相手の好きかどうかを聞く表現や、質問に答える表現に慣れ親しむ。
- 新出単語・表現 like, do, don't
sports (soccer, tennis, baseball, basketball, dodgeball, swimming)
rainbow (I like~ I don't like~ Do you like~? Yes, I do. / No, I don't)
- 使用教材 スポーツと野菜のフラッシュカード、状況設定カード (またはコンテントツ、パソコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	☆ 群れて歌へ親しめよう。	Sing together.
10分	3 復習 Review	①〜③のどれかを選んで復習する。 ①自己紹介の復習 ②前時の復習 ③これまでの復習	Review Talk with the students and praise them.
15分	4 単語練習 Words soccer, tennis, baseball, basketball, dodgeball, swimming	単語練習をする。2回→1回→0回	Pronounce sports.
三	5 状況設定とダイアログ練習 Set the context and practice new expression	状況設定のあと、繰り返し口の頭練習をさせる。 A: Do you like soccer? B: Yes, I do. / No, I don't.	Show the demonstration of the conversation.
構成	(1) 状況設定 (2) ダイアログ練習 (3) ゲーム 6 アクティビティ1 1回戦 教師が単語を言う。 2回戦 教師が Do you like tennis? と聞き、児童は Yes, I do. と言いながら取る。 3回戦 教師: Do you like soccer? 児童: No, I don't. と言いながら取る。	持っているかどうかを聞く場面。 設定なし ように工夫して練習させる。 アクティビティ1 かるたのやり方を見せる。 Hands on your head! Please say the word when you get the card!	Show the demonstration of the activity, kanata. Pronounce the words.
5分	7 会話をつなげる。Long Talk	A: How are you? B: I'm fine. A: Do you like baseball? B: No, I don't. I don't like baseball. A: Do you like soccer? B: Yes, I do. A: Let's play soccer. B: OK.	Pronounce the expression.
5分	8 アクティビティ Guess what sport the friend likes, and invite him/her.好きなスポーツを当て、遊びを誘おう。	デモンストレーションを見せる。 3分間で何人を誘うことができたら数えさせる。	Talk with the students and praise them.
5分	9 次時の単語の練習 野菜 Words	野菜の練習をする。2回→1回→0回 あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Pronounce the words of the next lesson.

11

3年生 Unit4 (2時間目/4時間)
I like blue. 『好きなものをつたえよう』

- 目標 友達が好きかどうかを聞き、遊びや食事に誘う表現に慣れ親しむ。
- 新出単語・表現 野菜 複数形 (onions, green peppers, cucumbers, carrots)
既習単語・表現 Do you like~? Yes, I do. / No, I don't
- 使用教材 スポーツ、野菜のフラッシュカード、食べ物やフラッシュカード
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	CD をセットする。 ①〜③のどれかを選んで復習する。	Sing together.
10分	3 復習 Review	①自己紹介の復習 ②前時の復習 ③これまでの復習	Review Talk with the students and praise them.
20分	4 単語練習 Words onions, green peppers, cucumbers, carrots	単語練習をする。(2回→1回→0回)	Help HRT.
三	5 状況設定とダイアログ練習 Set the context and practice new expression (1) 状況設定 (2) ダイアログ練習 ①答え方練習 ②尋ね方練習 ③ペア練習	状況設定のあと、繰り返し口の頭練習をさせる。 A: Do you like tomatoes? B: Yes, I do. / No, I don't. A: Do you like tomatoes? B: Yes, I do. / No, I don't.	Show the demonstration of the conversation.
構成	6 ゲーム 野菜かるた kanata 1回戦 野菜の名前 2回戦 教師が Do you like tomatoes? と聞き、児童は Yes, I do. と言いながら、かるたを取る。 7 アクティビティ1 Yes 集め Find friends who answer yes. 友達に話しかけ Do you like~? と聞く。 Yes と答えた友達何人かを数える。	ゲームのやり方を見せる。 Take the card when I say the word. Hand on your head. Please say the word when you get the card アクティビティ1 Yes 集めのやり方を見せる。 相手に話しかけて、違うことを聞いてもよい No 集めもできる。	kanata Help HRT. Join kanata if they need Show the demonstration of the activity. Find someone who answers Yes.
5分	8 会話をつなげる。Long talk	A: How are you? B: I'm hungry. A: Do you like 島寿司? B: Yes, I do. A: Let's eat 島寿司. B: OK.	
5分	9 アクティビティ2 Activity2 Invite friends for 3 minutes 前に貼ってあるカード (島寿司、ラーメン、どんかつなど) から選び、友達と会話する。	黒板に食べ物カード、学区のお店の写真を貼る。3分間で、できるだけ多くの友達を誘うよう言う。 あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Show the demonstration of the activity. Talk with the students and praise them.

12 3年生 Unit4 (3時間目/4時間) I like blue. 『好きなものをたえよう』

- 目標 どちらが好きか聞いたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 新出単語・表現 red, blue, green, yellow, pink, white, black, orange, purple, brown
Which do you like?
- 既習単語・表現 Do you like-? 野菜, スポーツ
使用教材 野菜, スポーツのフラッシュカード、状況設定カード (またはコンテンツ、パソコン、電子黒板、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	CD をセットする。	Sing together.
10分	3 復習 Review ①自己紹介の復習 ②前時の復習 ③これまでの復習	①～③のどれかを選んで復習する。	Review. Talk with the students and praise them.
20分	4 単語練習 Words red, blue, green, yellow, pink, white, black, orange, purple, brown	単語練習をする。	Help HRT.
三構成法	5 状況設定とダイアログ練習 Set the context and practice new expression A: Which do you like? B: I like blue.	状況設定のあと、繰り返し口の練習をさせる。	Show the demonstration of the conversation.
	(1) 状況設定 (2) ダイアログ練習 6 ゲーム Game 色かるた kanuta 1 回戦 I like pink と教頭が、もし、見 重が I like pink. 七言いながら札を 取る。 2 回戦 Which do you like? と児童 が聞き、教頭が I like blue. と答え た、札を取る。	持っている札を聞く場面。 読まないように工夫して練習させる。 ゲームのやり方を見せる。 Make pairs. Spread the cards out Please ask me, 1, 2, "Which do you like?" Hands on your head.	Help HRT. Join kanuta if you find a student without a partner.
5分	7 色の練習 Words white, black, orange, purple, brown	色を増やして、練習させる。	Practice another 5 colors.
5分	8 アクティビティ Activity かるたカードを持ってどちらが好き か友達に聞く Interview with cards	かるたカードを2枚もち、友達と会話を する。 Which do you like? I like purple. あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Show the demonstration of the activity.

13 3年生 Unit4 (4時間目/4時間) I like blue. 『好きなものをたえよう』

- 目標 既習の表現を使って、会話を続ける。
- 新出単語・表現 既習単語・表現 スポーツ、Do you like baseball? Yes, I do. / No, I don't. I like ~.
- 使用教材 色フラッシュカード、スポーツフラッシュカード、状況設定カード (またはコンテンツ、パソコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	CD をセットする。	Sing together.
10分	3 復習 Review ①自己紹介の復習 ②前時の復習 ③これまでの復習	①～③のどれかを選んで復習する。	Review. Talk with the students and praise them.
20分	4 単語練習 Words soccer, baseball, dodgeball, tag	スポーツの単語練習をする。	Help HRT.
三構成法	5 状況設定とダイアログ練習 Set the context and practice new expression (1) 状況設定 (2) ダイアログ練習 ①答え方練習 ②聞き方練習 ③ペア練習	状況設定のあと、繰り返しの口頭練習をさせる。 A: Do you like baseball? B: Yes, I do. A: Do you like soccer? B: Yes, I do. A: Which do you like? B: I like soccer. A: Do you have any soccer balls? B: Yes, I do. A: Let's play soccer. B: OK. A: Which do you like? B: I like soccer.	Show the demonstration of the conversation.
5分	6 アクティビティ Activity Invite friends. 好きな遊び、スポーツを選び、友達を遊びに誘う。 じゃんけんて勝ったほうが勝てる。 5人勝ったら座る。	アクティビティのやり方を見せる。	Show the demonstration of the activity with HRT.
5分	7 発表する Challenge time	発表したい子がいなければ、上手だった子、がんばっていた子を選び、指名する。 Any challengers? Eye contact, very good! 感想を発表させたり、振り返りのカードに書かせたりする。	Praise students.
5分	8 振り返りあいさつ Reflection and dosing	あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Praise students.

14

3年生 Unit5 (1時間目/4時間)
What do you like? 『何が好き?』

ベシィバージョン

- 目標 何のスポーツが好きかを尋ねる表現に慣れ親しむ。
- 新出単語・表現 What food do you like? I like~.
果物種類形 (fruit, apples, bananas, grapes, pineapples, strawberries, peaches)
- 使用教材 果物フラッシュカード、果物かるた、状況設定カード2種 (パソコン、電子黒板等でも可)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
5分	1 あいさつ Greeting Hello. How are you? How is the weather? What day is it?	児童とあいさつをする。 ☆ 寒暖に視て加えてください。	Greeting
5分	2 歌やチャンツ Song or Chant	教師も一緒に声を出し雰囲気作りをする。	Sing together.
5分	3 復習 Review 自己紹介 名前を言う。 I'm ~.	状況設定カードで復習をする。 気分を聞くカード。	Review. Talk with the students and praise them.
25分	4 単語練習(果物) Words fruit, apples, bananas, grapes, pineapples, strawberries, peaches	単語練習をする。(2回→1回→0回)	Practice new words Help HRT to pronounce the new words.
三構成法	5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialogue practice (1)状況設定 教師の英語を聞く。 (2)ダイアログ練習 ①カードを見ながら、教師のあとに ついて、2回ずつリピート ②1回ずつリピート ③児童だけで言わせる。 ④教師がB、児童がA ⑤児童がB、教師がA	状況設定のあと、繰り返し口の頭練習をさせる。 状況設定 A: What fruit do you like? B: I like bananas. B: What fruit do you like? A: I like apples. ☆③の時に、児童を1人指名し(やばい子、できそこない子)、教師と会話させます。うまくできなくても、一人で頑張ったことを、授業で褒めることが大切です。何人か指名してみてください	状況設定のあと、繰り返し口の頭練習をさせる。 状況設定 A: What fruit do you like? B: I like bananas. B: What fruit do you like? A: I like apples.
5分	6 アクティビティ 1 Activity1 Talk with 3 people! 3人と話して遊ぼう!	教師が児童に話しかけ、やり方を見せる。 担任: Talk with three people and sit down. Ready, go.	Students will talk with three friends and sit down. Please talk to the students and praise them.
5分	7 アクティビティ2 Activity2 カードゲーム ①A チームが札をもち、B チームが札をもち、 ②好きなものを集めていく。A チームは全てあげていくことを目標とする。 ③B チームは、好きなものを集める。 A チーム、B チーム交代。	①デモンストレーションを見せる。 ②クラスをA、Bに分ける。 ③Aの子はカードを5枚持つ。 ④Ready go.の合図で、A チームはカードをあげる。B チームはカードを集める。 A: What fruit do you like? B: I like bananas. A: Here you are. B: Thank you. カードがない場合は Sorry. 手持ちがなくなったら子や、進んで話しかけた子を集める。 A、B 交代。	[How to play the activity] Divide the class into 2, one is A team, the other is B team. Each student of A team has 5 cards. B team has no cards. B team will collect cards they want. A team has to give all cards. Please praise the students who give all cards or who collect many cards.
5分	8 振り返りをする。	☆時間があったら、がんばったこと、できるようになったことなどを言わせてもよいです。ほめてください。	

14

3年生 Unit5 (1時間目/4時間)
What do you like? 『何が好き?』

英語バージョン

- 目標 何のスポーツが好きかを尋ねる表現に慣れ親しむ。
- 新出単語・表現 What food do you like? I like~.
果物種類形 (fruit, apples, bananas, grapes, pineapples, strawberries, peaches)
- 使用教材 果物フラッシュカード、果物かるた、食べ物フラッシュカード、果物かるた (てきれば種類がよい) 状況設定カード (またはコンテンツ、パソコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song CD をセットする。	CD をセットする。	Sing together.
10分	3 復習 Review Do you have a bike? Yes, I do.	状況設定カードで復習をする。	Review. Talk with the students and praise them.
25分	4 単語練習(果物) Words apples, bananas, grapes, pineapples, strawberries, peaches	単語練習をする。(2回→1回→0回)	Help HRT.
三構成法	5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialogue practice (1) 状況設定 (2) ダイアログ練習 ①答え方リピート ②尋ね方リピート ③ペア練習	状況設定のあと、繰り返し口の頭練習をさせる。 状況設定 A: What fruit do you like? B: I like bananas. B: What fruit do you like? A: I like apples.	状況設定のあと、繰り返し口の頭練習をさせる。 状況設定 A: What fruit do you like? B: I like bananas. B: What fruit do you like? A: I like apples.
5分	6 ゲーム Game かるた Karuta	何か好きなものを聞く場面。 隣の子と話したら返して探して回る。	Show the demonstration of the activity, karuta.
5分	7 アクティビティ カードゲーム ①A チームが札をもち、B チームが札をもち、 ②好きなものを集めていく。A チームは全てあげていくことを目標とする。 ③B チームは、好きなものを集める。 A チーム、B チーム交代。	①やってみる。 ②クラスを2つに分ける。 ③A チーム各自5枚ずつ渡す。 ④Ready go.の合図で、A チームはカードをあげる。B チームはカードを集める。 A: What fruit do you like? B: I like bananas. A: Here you are. B: Thank you. カードがない場合は Sorry. 手持ちがなくなったら子を集める。 A、B 交代。	Students ask what they like each other, if they find someone who likes the same food, shake hands and walk around together.
5分	8 単語練習 次時の単語 Words スポーツの練習 野球、野球、けんだま、百人一首、書物、あやとり、風鈴、Japanese culture, Japanese food, すし、うどん、そば、おにぎり、天ぷら、おでん	単語練習 (2回→1回→0回) あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Pronounce the words of the next lesson.

15	3年生 Unit5 (2時間目/4時間) What do you like? 『何が好き?』	ベシックバージョン
1 目標 友達に好きなスポーツを聞く表現に親しむ。 2 新出単語・表現 スポーツ (sport, swimming, tag rugby, sumo) 既習単語・表現 Do you like? Yes, I do. / No, I don't. Do you have ~? Yes, I do. / No, I don't. baseball, basketball, soccer, tennis, dodgeball 3 使用教材 スポーツフラッシュカード、状況設定カード (コンテンツ、パソコン、電子黒板等) 4 展開		
時間	学習内容	ALT の動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。
3分	2 歌 Song	一緒に楽しく歌い、雰囲気作りをする。
10分	3 復習 Review	①～③のどれかを選び復習する。 Do you like fruits? Yes, I do. What fruit do you like? I like apples. ④前時の復習 ⑤これまでの復習
20分	4 単語練習(スポーツ) Words basketball, baseball, swimming, soccer, tag rugby, tennis, dodgeball, sumo	単語練習をする。2回→1回→0回
三構成法	5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialogue practice (1) 状況設定 教師の英語を聞く。 (2) ダイアログ練習 ①カードを見ながら、教師のあとについて、2回ずつリポート ②1回ずつリポート ③児童がA、児童がB ④児童がB、教師がA A: What sport do you like? B: I like soccer.	状況設定のあと、繰り返しの口頭練習をさせる。 A: Do you like sports? B: Yes, I do. A: What sport do you like? B: I like soccer. B: Do you like soccer? A: Yes, I do. B: Let's play soccer. A: OK 何のスポーツが好きかを聞く場面。
5分	6 アクティビティ 1 Activity 1 Talk with 3 people 3人と話して座る。 7 アクティビティ 2 Activity 2 仲間同士 "Making groups with the same answer"	教師が児童に話しかけ、やり方を見せる。 担任: Talk with three people and sit down. Please talk Ready, go. ①カードに、児童が好きなスポーツカードを2、3枚貼る。 ②デモンストレーションを見せる。 担任(HRT): What sport do you like? ALT: I like soccer. What sport do you like? 担任(HRT): I like soccer. 手をつなぎ、児童に話しかける。 同じではなかったら、Byeと言い、別れる。 感想を聞く。 時間が経ったら、日本の食べ物の単語練習をする。(次回は、天びら、おでん like?)
5分	8 単語練習(日本の食べ物) Words Japanese food, すし、うどん、そば、おにぎり、天びら、おでん	日本の文化と食べ物の単語練習をする。 Japanese culture, Japanese food, あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!

15	3年生 Unit5 (2時間目/4時間) What do you like? 『何が好き?』	発展バージョン
1 目標 友達に好きなスポーツを聞く表現に親しむ。 2 新出単語・表現 スポーツ (sport, swimming, tag rugby, sumo) 既習単語・表現 Do you like? Yes, I do. / No, I don't. Do you have ~? Yes, I do. / No, I don't. baseball, basketball, soccer, tennis, dodgeball 3 使用教材 スポーツフラッシュカード、フラッシュカード、状況設定カード (コンテンツ、パソコン、電子黒板等) 4 展開		
時間	学習内容	担任の動き HRT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。
3分	2 歌 Song	一緒に楽しく歌い、雰囲気作りをする。
10分	3 復習 Review	①～③のどれかを選び復習する。 Do you like fruits? Yes, I do. What fruit do you like? I like apples. ④前時の復習 ⑤これまでの復習
20分	4 単語練習(スポーツ) Words basketball, baseball, swimming, soccer, tag rugby, tennis, dodgeball, sumo	単語練習をする。2回→1回→0回
三構成法	5 状況設定とダイアログ練習 Set the context and practice new expression (1) 状況設定 (2) ダイアログ練習 ①答え方練習 ②尋ね方練習 ③ペア練習 3人と話して座る。 A: What sport do you like? B: I like soccer.	状況設定のあと、繰り返しの口頭練習をさせる。 A: Do you like sports? B: Yes, I do. A: What sport do you like? B: I like soccer. B: Do you like soccer? A: Yes, I do. B: Let's play soccer. A: OK 何のスポーツが好きかを聞く場面。
5分	6 アクティビティ Activity 仲間同士 "Making groups with the same answer"	アクティビティのやり方を見せる。 Find someone with the same answer and make a group. Please talk to the student who seems to have difficulties with finding a partner.
5分	7 つなげる Long talk	カードで練習をする。 A: Do you like sports? B: Yes, I do. A: What sport do you like? B: I like tennis.
5分	8 単語練習(日本の食べ物と文化) Words Japanese food, すし、うどん、そば、おにぎり、天びら、おでん	日本の文化と食べ物の単語練習をする。 Japanese culture, Japanese food, あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!

16

3年生 Unit5 (3 時間目 / 4時間)
What do you like? 『何が好き?』

ページワークバージョン

- 目標 何か好きかを伝える表現を使い、友達と会話をする。
- 新出単語・表現 What do you like about Japanese culture? けんだま、百人一首など
囲碁、将棋、けんだま、百人一首、着物、あやとり、風鈴、Japanese culture, Japanese food,
すし、うどん、そば、おにぎり、天ぷら、おでん
- 既習単語・表現 Do you like~? What do you like? What sports do you like?
使用教材 野菜のフラッシュカード、色のフラッシュカード、日本の文化のカード、状態カード (またはコンテンツ、パソコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALT の動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	楽しく歌い、雰囲気作りをする。	Sing together.
10分	3 復習 Review	①~③のどれかを選んで復習する。	Review
	①自己紹介の復習	Do you like sports? Yes, I do.	Talk with the students and
	②前時の復習	What sport do you like?	praise them.
	③これまでの復習	I like soccer.	
15分	4 単語暗記(日本の食べ物) Words Japanese food すし、うどん、そば、おにぎり、天ぷら、おでん	単語暗記をする。(2回→1回→0回)	Practice new words. Help HRT to pronounce the new words.
三 編 成 法	5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialogue practice (1)状況設定 教師の英語を聞く。 (2)ダイアログ練習 ①カードを見ながら、教師のあとに ついて、2回ずつリピート ②1回ずつリピート ③児童だけで言わせる。 ④教師がA、児童がB ⑤児童がA、教師がB	何の日本の食べ物が好きかを聞く場面。 状況設定 A: Do you like Japanese food? B: Yes, I do. A: What Japanese food do you like? B: I like sushi. A: Let's eat sushi. B: OK. A: What Japanese food do you like? B: I like sushi.	HRT can set the context and practice dialogue with the cards or the power point content by him/herself. Please help HRT if he/she needs. Please praise the students.
	6 アクティビティ 1 Activity 1 Talk with 3 people! 3人と話して遊ぶ。	教師が児童に話しかけ、やり方を見せる。 担任: Talk with three people and sit down. Ready, go.	Students will talk with three friends and sit down. Please talk to the students and praise them.
10分	7 アクティビティ 2 Activity 2 友だちの好きなものを知ろう Interview with a worksheet	ワークシートを使って、どの食べ物か人気を調べる。(小笠原の食べ物でもよい) ☆字を書くのに時間がかかると場合は書き換えを。 ○を付けるだけで済むように、ワークシートを工夫してください。	Use the worksheet and ask friends what they like.
5分	8 発表、ふりかえり Reflection	頑張っていた子を指名し、担任やALT と会話をさせ、ほめる。ボランティアを募ってもよい。 今日がんばったことなどを発表させ、授業を終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!	

すし	おにぎり	うどん	そば	天ぷら	おでん

かめに	パッションフルーツ	島バナナ	島寿司	島トマト	アデモヤ

17	3年生 Unit5 (4時間目/4時間) What do you like? 『何が好き?』	ベシックバージョン
----	---	-----------

- 1 目標 好きなものについて話し、友達と会話を続ける。
- 2 新出単語・表現 なし
既習単語・表現 What (fruit/ sport/ Japanese food) do you like? What do you like about Japanese culture?
What do you like? Do you like baseball? Yes, I do. / No, I don't. I like ~.
- 3 使用教材 果物、スポーツ、日本の食べ物 日本の文化のフラッシュカード、状況設定カード (またはコンテンツ)、パソコン、電子黒板等)。
- 4 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌やチャンツ Song or chant	CD をセットする。	Sing together.
10分	3 単語練習 Review words 日本の食べ物 Review Japanese food	日本の食べ物の単語を復習する。	Review. Talk with the students and praise them.
15分	4 単語練習 Words スポーツ	既習なので、1回、0回でもよい。	Pronounce sports. Help HRT.
三構成法	5 状況設定と6文のダイアログ練習 Review the dialogues. (1) 状況設定 (2) ダイアログ練習 ①リビート練習 ②教師がA役、児童がB役 ③教師がB役、児童がA役	状況設定のあと、繰り返し口の頭練習をさせる。 状況設定 A: Do you like sports? B: Yes, I do. A: What sport do you like? B: I like soccer. A: Do you like sport? A: What sport do you like? B: Yes, I do. B: I like soccer.	Show the demonstration of the conversation. 状況設定 A: Do you like sports? B: Yes, I do. A: What sport do you like? B: I like soccer. A: Do you have a soccer ball? B: Yes, I do. A: Do you like sport? A: What sport do you like? B: Yes, I do. B: I like soccer.
5分	6 アクティビティ Activity 3人と会話をしよう。 Talk with 3 people	上の会話を使得、3人の友達と会話をする。	Show a demonstration of the activity with HRT.
5分	7 変化をさせる sportの部分をfruits, Japanese foodに変えて、会話を続ける。	What Japanese food do you like? 変化させ、ペアで会話をつなげる。	Practice conversation. Talk with the students and praise them.
5分	8 発表させる Challenge time	数指名し、発表させる。	Praise students.
5分	9 振り返りあいさつ Reflection and closing	あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!	

17	3年生 Unit5 (4時間目/4時間) What do you like? 『何が好き?』	発展バージョン
----	---	---------

- 1 目標 好きなものについて話し、友達と会話を続ける。
- 2 新出単語・表現 なし
既習単語・表現 What (fruit/ sport/ Japanese food/ Japanese culture) do you like?
What do you like? Do you like baseball? Yes, I do. / No, I don't. I like ~.
- 3 使用教材 果物、スポーツ、日本の食べ物 日本の文化のフラッシュカード、状況設定カード (またはコンテンツ)、パソコン、電子黒板等)。
- 4 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	CD をセットする。	Sing together.
10分	3 復習 Review スポーツ、日本文化 Sports, Japanese culture Japanese culture 言葉、将棋、けんだま、百人一首、着物、あやとり、風鈴	Do you have ~?の復習 A (スポーツ) Do you have a tennis racket? B (日本文化) Do you have a kendama?	Review. Talk with the students and praise them.
15分	4 単語練習 日本の食べ物 Review words まし、うどん、そば、おにぎり、天ぷら、おでん 5 状況設定と6文のダイアログ練習 Review the dialogues. (1) 状況設定 (2) ダイアログ練習 ①リビート練習 ②教師がA役、児童がB役 ③教師がB役、児童がA役 ④ペア練習	既習なので、1回、0回でもよい。	Pronounce Japanese food. Help HRT.
三構成法	6 アクティビティ Activity 持っているものを聞き合おう。	5のダイアログを使い、隣の友達と会話を続ける。	Show the demonstration of the activity with HRT.
5分	7 変化をさせる sport, Japanese culture, fruits, Japanese food に変えて、会話を続ける。	What Japanese culture do you like? Japanese culture の部分を變化させ、ペアで会話をつなげる。	Practice conversation. Talk with the students and praise them.
5分	8 発表させる Challenge time	数指名し、発表させる。	Praise students.
5分	9 振り返りあいさつ Reflection and closing	あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!	

3年生 Unit6 (1時間目/2時間) ALPHABETアルファベットとなかよし				
18	3年生 Unit6 (1時間目/2時間) ALPHABETアルファベットとなかよし	1 目標 活字体の大文字を識別し、文字の読み方に慣れ親しむ。 2 新出単語・表現 大文字 A-Z, card, alphabet, please, here, thank, welcome, 数字 21-30, 0, book, drum, fish, gorilla, hat, ink, jet, king, monkey, notebook, pig, queen, rabbit, sun, tree, umbrella, violin, watch, box, yacht 3 使用教材 アルファベットカード、新聞紙、数字カード21～30 4 展開	学習内容	担任の動き HRT ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。		Greeting
3分	2 歌 Song	率先して楽しく歌ったり踊ったりし、乗気作りする。		Sing together.
10分	3 練習 Review ①自己紹介の復習 ②前時の復習 ③これまでの復習	①～③のどれかを選んで復習する。		Review. Talk with the students and praise them.
20分	4 練習(アルファベット26文字) Practice alphabets	アルファベットを黒板に書いてカードを見せたりして練習させる。		Pronounce alphabets. A to Z.
三 構 成 法	5 アルファベットの歌 Sing a song ABC steps を歌う。	セブンスステップスのメモロディーで歌う。 ABCDEFGH IJKLMNOPQ RST UVWXYZ OPQ RST U VW XYZ		Show the demonstration of the conversation.
	6 アクティビティ Activity 1 新聞でアルファベット探し。 Find 'A' on the newspapers	アクティビティ1 新聞を配る。アルファベット A を1分間でいくつ見つけられるか、競争をする。A の次は B を見つける。 Find A for one minute. ゲーム1 アルファベットを自分で決めさせ、1分間で探させる。How many? と聞き合う。 Choose one alphabet and find it for one minute.	Find A Give them newspaper.	
5分	8 アクティビティ2 Activity 2 自分の名前の響きを伝え合う	Hello. Hello. My name is Taro. T-A-R-O.		Help students.
5分	8 アルファベットを練習し、歌を歌う Song	①アルファベット練習(復習) ②歌を歌いながら、新聞で見つけたアルファベットの時にはジャンプする。 あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!		Sing a song.

3年生 Unit6 (2時間目/2時間) ALPHABETアルファベットとなかよし				
19	3年生 Unit6 (2時間目/2時間) ALPHABETアルファベットとなかよし	1 目標 何のアルファベットが使っているかを聞く。 2 新出単語・表現 What is the spelling? Suzuki. 既習単語・表現 Do you have a? Yes, I do. / No, I don't. 3 使用教材 アルファベットフラッシュカード、犬や猫のカード、状況設定カード(またはコンテンツズ、パソコン、電子黒板等) 4 展開	学習内容	担任の動き HRT ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。		Greeting
3分	2 歌 Song	率先して歌う。		Sing together.
10分	3 練習 Review ①自己紹介の復習 ②前時の復習 ③これまでの復習	①～③のどれかを選んで復習する。		Review. Talk with the students and praise them.
15分	4 アルファベットの練習 Practice alphabets	アルファベットの練習をする。		Help HRT.
三 構 成 法	5 状況設定とダイアログ練習 Set the context and practice new expression (1) 状況設定 (2) ダイアログ練習	状況設定のあと、繰り返しの口頭練習をさせる。 A: What is the spelling? B: It's D-O-G.		Show a demonstration of the conversation.
	6 アクティビティ Activity スペルを尋ねたり答えたりする。 What is the spelling?	黒板に、アルファベット文字でスペルが書いてある絵カードを数枚貼る。 好きな動物を選び、尋ね合うよう指示を出す。 Choose one, and ask the spelling.		Show a demonstration of the conversation.
10分	7 会話を続ける long talk 実態に応じて A か B を選ぶ。 友達と会話を続ける。	デモンストラーションを見せる。		HRT chooses A or B. Show a demonstration of the conversation.
		パターンB A: What is the spelling? B: It's D-O-G. A: What is the spelling? B: It's C-A-T. A: Which do you like? B: I like dogs. A: Do you have any dogs? B: Yes, I do. A: How many dogs? B: 5 dogs.		
5分	8 振り返りあいさつ Reflection and closing	感想を発表させる。 あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!		Praise students.

20

3年生 Unit7 (1時間目/4時間)
This is for you. 『カードをおくろう』

1 目標 何がほしいかを尋ねたり答えたりする語や表現に慣れ親しむ。

2 新出単語・表現 Do you want ~? Yes, I do./No, I don't. water, green tea, tea, juice, coffee

既習単語・表現 thirsty, hungry, 食べ物 onigiri, udon, soba

3 使用教材 食べ物、飲み物フラッシュカード、食べ物、飲み物かるた、食べ物かるた (おにぎり、うどん、そば、状況設定カード (またはコンテンツ、パソコン、電子黒板等))

4 展開

時間	学習内容	担任の動き H・R・T	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	CD をセットする。	Sing together.
10分	3 復習をする。 Review	Here you are. Thank you. の復習	Review.
20分	4 単語練習 Words water, green tea, tea, juice, coffee	単語練習をする。2回→1回→0回	Pronounce new words
三 構 成 法	5 状況設定とダイアログ練習 Set the context and practice the new expression (1) 状況設定 (2) ダイアログ練習 ① 答え方の練習 ② 尋ね方の練習 ③ ペア練習 A: Do you want water? B: Yes, I do. A: How are you? B: I'm thirsty. A: Do you want water? B: Yes, I do. A: Here you are. B: Thank you. B: How are you? A: I'm hungry. B: Do you want onigiri? A: Yes, I do. B: Here you are. A: Thank you.	状況設定のあと、繰り返しの口頭練習をさせる。 A: How are you? B: I'm thirsty. A: Do you want water? B: Yes, I do. A: Here you are. B: Thank you. B: How are you? A: I'm hungry. B: Do you want onigiri? A: Yes, I do. B: Here you are. A: Thank you.	Show the demonstration of the conversation.
10分	6 アクティビティ Activity カード集め 7 会話をつなげる Long talk	クラスをAチーム、Bチームに分ける。 A チームはカードを6枚 (飲み物3枚、食べ物3枚) もつ。B チームは待たない。 A: How are you? B: I'm thirsty. A: Do you want water? B: Yes, I do. AはBにカードをあげる。 A はカードを全てあげたことを目標とし、Bは自分がほしいカードを集める。 数分経ったら、AとBが役割交代をする。 A: How are you? B: I'm hungry. A: Do you want onigiri? B: Yes, I do.	Show the demonstration of the activity, kanata.

時間があればアクティビティ。
会話をし、水やお茶などを渡す真似をする。

あいさつをして終わりにする。
That's all for today! Good bye, everyone!

21

3年生 Unit7 (2時間目/4時間) This is for you. 『カードをおくろう』

- 1 目標 何がほしいかを尋ねる表現に慣れ親しむ。
- 2 新出単語・表現 hamburger, Do you want ~? This is for you.
hot, cold, fan, water, kagami, jacket, tsumi, ぎてカイロ
既習単語・表現 What do you want? I want ~. Here you are. Thank you.
3 使用教材 食べ物フラッシュカード、飲み物フラッシュカード (またはコンテンツ、パソコン、電子黒板等)
- 4 展開

時間	学習内容	担任の動き H・R・T	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	CD をセットする。	Sing together.
10分	3 復習をする。 Review ① 自己紹介の復習 ② 前時の復習 ③ これまでの復習	①~③のどれかを選んで復習する。 Here you are. Thank you.	Review. Talk with the students and praise them.
20分	4 単語練習 Words fan, water, kagami, stove, jacket, tsumi, ぎてカイロ	単語練習をする。2回→1回→0回	Help H・R・T.
三 構 成 法	5 状況設定とダイアログ練習 Set the context and practice new expression (1) 状況設定 (2) ダイアログ練習 ① 答え方の練習 ② 尋ね方の練習 ③ ペア練習 A: What do you want? B: Water, please! A: How are you? B: I'm hot. A: What do you want? B: A fan, please. A: Here you are. B: Thank you.	状況設定のあと、繰り返しの口頭練習をさせる。 A: How are you? B: I'm hot. A: What do you want? B: A fan, please. A: Here you are. B: Thank you.	Show the demonstration of the conversation.
10分	6 アクティビティ1 Activity1 Interview 何がほしいか聞きあおう。 同じ人を探そう。 7 アクティビティ2 Activity2 状況設定のダイアログで、気分をかえて、会話しよう。	黒板に単語カードを貼り、1つ選んで、友達と聞き合う活動をさせる。 アクティビティ2 デモンストラーションを見せる。 単語は、前に貼ってあるものを使っても、そうでなくてもよい。 単語は日本語でもよいことにする。	Show a demonstration of the activity. Show a demonstration of the activity. Find someone who answers Yes. Students can use Japanese if they don't know how to say it in English. Pronounce the words of the next lesson. Join the activity.

22

3年生 Unit7 (3回目/4時間)
This is for you. 『カードをおくろう』

- 目標 ほし、形を聞いたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 新出単語・表現 What do you want? I want ~. big, small, diamond, rectangle, heart, circle, triangle, star, square, hamsters, lions, pandas, rabbits, bears
既習単語・表現 What do you want? I want ~. Here you are. Thank you. Do you want? This is for you.
- 使用教材 形フラッシュカード big, small, diamond, rectangle, heart, circle, triangle, star, square,状況設定カード (またはコンテンツ、パソコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song など	CD をセットする。	Sing together.
10分	3 復習 Review ①自己紹介の復習 ②前時の復習 ③これまでの復習	①～③のどれかを選んで復習する。 What do you like sports? What sport do you like? Do you have a tennis racket?	Review. Talk with the students and praise them.
20分	4 単語練習 Words big, small, diamond, rectangle, heart, circle, triangle, star, square.	単語練習をする。(2回→1回→0回)	Help HRT.
3分	5 状況設定とダイアログ練習 Set the context and practice new expression (1) 状況設定 (2) ダイアログ練習	お皿の上にチョココレートがある設定。 A: What do you want? B: A heart, please. A: Big or small? B: Big, please. A: Here you are. B: Thank you. A: What do you want? B: A heart, please. A: Big or small? B: Big, please.	Show the demonstration of the conversation.
3分	6 ゲーム Game かるた kanuta 児童がWhat do you want?と聞き、教師が答えたカードを Here you are. と渡す。	ゲーム かるたのやり方を示す。 Hands on your head. Please say the word when you get the card. 紙にアイスクリーム。	Show the demonstration of the game, kanuta.
7分	7 アクティビティ Activity アイスクリーム作り	【1段階】 A: What ice cream do you want? B: I want strawberry. A: Big or small? B: Big, please. 【2段階】 A: What ice cream do you want? B: I want strawberry. A: Big or small? B: Big, please. 【トッピングのチョココレート】 A: What shape do you want? B: I want hearts.	Show a demonstration of the activity.
5分	8 発表 Challenge time	発表させる。	
5分	9 単語練習 動物 Words 動物 (複数形) の練習をする。 hamsters, lions, pandas, rabbits, bears	単語練習2回→1回→0回 ジェスチャーをつけて練習してもよい。 あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!	

23

3年生 Unit7 (4回目/4時間)
This is for you. 『カードをおくろう』

- 目標 習った表現を使って、会話を続ける。
- 新出単語・表現 バット bat 動物 hamster, lion, panda, rabbit, bear
既習単語・表現 dog, cat
What do you want? I want ~. Here you are. Thank you. Do you want? This is for you.
- 使用教材 食べ物フラッシュカード、飲み物フラッシュカード、動物フラッシュカード、状況設定カード (またはコンテンツ、パソコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	CD をセットする。	Sing together.
10分	3 復習 Review ①自己紹介の復習 ②前時の復習 ③これまでの復習	①～③のどれかを選んで復習する。 Do you like sports? What sport do you like? Do you have a tennis racket? 単語練習をする。	Review. Talk with the students and praise them.
15分	4 単語練習(動物) Words mouse, bear dog, cat, hamster, lion, panda.	単語練習をする。	Pronounce animals.
3分	5 状況設定とダイアログ練習 Set the context and practice new expression (1) 状況設定 (2) ダイアログ練習 ①リビート練習 ②教師がA、児童がB ③児童がA、教師がB ④ペア練習	5状況設定のあと、繰り返し口の練習をさせる。 A: Do you like animals? B: Yes, I do. A: What animal do you like? B: I like dogs. A: Do you have a dog? B: No, I don't. A: Do you want a dog? B: Yes, I do.	Show the demonstration of the conversation.
10分	6 アクティビティ Activity interview 欲しいバットを聞き合おう。 What (animal) do you want?	アクティビティのやり方を見せる。 昆虫や、現実にはない動物でもよい。わからぬ単語は日本語でもよい。 デモンストレーションを見せる。 A: What (animal) do you want? B: I want dogs.	Activity interview Help HRT Praise the students.
10分	7 会話をつなげ、会話をしよう Long Talk	A 基本形 状況設定と同じ B 状況設定 What color? Big or small? など。 Talk for 1 minutes	Show a demonstration of the conversation. Decide A part or B part.
5分	8 振り返り	早く書けた子を指名し、発表させる。 あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Praise Ss.

- 目標 動物や昆虫の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 新出単語・表現 昆虫 Whats this? It's a ~. 動物 (elephant, racoon dog, owl, tiger)
- 使用教材 動物 昆虫のフラッシュカード、動物 昆虫のかるた、状況設定カード (またはコンデンツ、パソコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALT の動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	楽しく歌い、雰囲気作りをする。	Sing together.
10分	3 復習 Review	①～③のどれかを選んで復習する。	Review.
	①自己紹介の復習		Talk with the students and praise them.
	②前時の復習		
	③これまでの復習		
15分	4 単語練習(動物 動物) Words	単語練習をする。2回→1回→0回	Help HRT. Pronounce animals.
三	5 状況設定とダイアローグ練習	状況設定のあと、繰り返しの口頭練習をさせる。 クイズのように、「これは何?」と聞く場面。 A: What's this? B: It's a dog.	Show the demonstration of the conversation.
成	(1) 状況設定		
法	elephant, racoon dog, owl, tiger		
	(2) ダイアローグ練習		
		A: What's this? B: It's a dog.	
	6 ゲーム	ゲームかるたのやり方を示す。 Hands on your head! Please say the word when you get the card!	Students ask What's this?, then please answer to it.
5分	7 単語練習 Words	単語練習2回→1回→0回 そのままカードをひらひらさせたり、ちらっと見せたりして、What's this? It's a ~. の練習をする。	Pronounce the words of the next lesson.
10分	8 つなげる Long Talk	①会話を聞かせる。 A: What's this? B: It's a dog. A: Do you want a dog? B: Yes, I do. ②カードを配り、ペアで会話をする。	Show the demonstration of the activity.

- 目標 クイズを出しだり答えたりして、クイズを楽しむ。
- 新出単語・表現 果物 Hint, please. OK. It's a fruit.
- 使用教材 果物 フラッシュカード、状況設定カード (またはコンデンツ、パソコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALT の動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	楽しく歌い、雰囲気作りをする。	Sing together.
10分	3 復習 Review	①～③のどれかを選んで復習する。	Review.
	①自己紹介の復習		Talk with the students and praise them.
	②前時の復習		
	③これまでの復習		
15分	4 単語練習(果物 動物) Words	単語練習をする。(2回→1回→0回)	Help HRT.
三	5 状況設定とダイアローグ練習	フルーツ、動物、など、1つヒントを示してクイズを出す場面。 A: What's this? B: Hint, please. A: It's a fruit. B: It's a peach!	Show the demonstration of the conversation.
成	(1) 状況設定		
法	(2) ダイアローグ練習		
	①リビート練習	A: What's this? A: It's a fruit (言いながらちらっと見せる)	B: Hint, please. B: It's a peach!
	②教師がA役、児童がB役		
	③児童がA役、教師がB役		
	④ペア練習		
	6 アクティビティ Activity	アクティビティ、カード交換のやり方を見せる。	Activity Each has one card and ask 'What's this?' each other. What's this? Hint, please. It's a fruit (show a part of the card.) It's a peach. Exchange the cards.
5分	7 会話をつなげる Long talk	会話を聞かせ、練習させる。 繰り返し口頭練習→Aパート、Bパート	Show a demonstration of the conversation.
		A: What's this? B: Hint, please. A: It's a fruit. It's green. It's big. B: It's a melon!	
5分	8 クイズを出し合う Quiz time	動物や果物のかるたカードを持たせ、クイズを出し合う活動を行う。 ALT とデモンストレーションをしてみせる。	Show a demonstration of the activity. Talk with the students and praise them.
5分	9 次の時の準備・表現 kendama, shogi, go.	①単語練習 ②play をつけて練習 ③子供に Can you-? と、質問する。 あいさつをして終わりにする。That's all for today, Good bye, every one.	Pronounce the words of the next lesson.

- 目標 できるかどうかを聞いたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 新出単語・表現 Can you ~? Yes, I can. / No, I can't.
既習単語・表現 What's this? It's a ~. 日本の遊び kendama, go, shogi, otedama, karuta
- 使用教材 日本の伝統的な遊びフラッシュカード、状況設定カード (またはコンテンツ)、パソコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	CD をセットする。	Sing together.
10分	3 復習 Review ①自己紹介の復習 ②前時の復習 ③これまでの復習	①〜③のどれかを選んで復習する。	Review. Talk with the students and praise them.
20分	4 単語練習 Words kendama, go, shogi, otedama, karuta	単語練習をする。2回→1回→0回	Help HRT.
三構成法	5 状況設定とダイアログ練習 Set the context and practice new expression (1) 状況設定 (2) ダイアログ練習	状況設定のあと、繰り返し口の頭練習をさせる。 日本の遊びを見せて、できる?と聞いてみる場面。 ★げんだまを用意するなど、工夫して、子どもを引つけてください。 A: What's this? B: It's a kendama. A: Can you play kendama? B: Yes, I can.	Show the demonstration of the conversation.
	6 アクティビティ Activity Interview 6のダイアログを使い、何かを聞いたり、できるかを聞いたり答えたりする。	アクティビティのやり方を見せる。 [Talk with 5 friends and sit down.] 絵カードを黒板に貼る。 1枚選び、会話をしよう言う。 Choose one, and ask each other.	activity interview Help HRT. Praise the students.
10分	7 スポーツについて聞き合う Show gesture and ask what it is, After that, ask friends if he/she can do it. スポーツの単語練習 ダイアログ練習 アクティビティ2 友達と会話をしよう Long talk ジェスチャーをして、何であるかを聞く。	単語練習2回→1回→0回 ダイアログ練習をさせる。 その後、友達と会話活動させる。	Pronounce sports and dialogues. Talk with the students and praise them. If some students don't have confidence, talk to them and support. If they try hard, praise them.
		A: What's this? B: It's tennis. A: Can you play tennis? B: Yes, I can. あいさつをして終わりにする。 That's all for today, Good bye, every one.	

- 目標 動詞や、〜できますか?という表現に慣れ親しむ。
- 新出単語・表現 動詞 dance, make,
既習単語・表現 What's this? It's ~. Can you play ~? Yes, I can. / No, I can't.
- 使用教材 動詞フラッシュカード、状況設定カード (またはコンテンツ)、パソコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	明るく楽しく歌う。	Sing together.
10分	3 復習 Review	A: What's this? B: It's a kendama. A: Can you play kendama? B: Yes, I can.	Review. Talk with the students and praise them.
15分	4 単語練習 Words dance (ソーラン節), make (お好み焼き)	単語練習をする。2回→1回→0回 () の単語を黒板に貼って変える。	Help HRT.
三構成法	5 状況設定とダイアログ練習 Set the context and practice new expression (1) 状況設定 (2) ダイアログ練習 ①答えがリビート ②尋ねがリビート ③ペア練習	状況設定のあと、繰り返し口の頭練習をさせる。 A: What's this? B: It's ソーラン節. A: Can you dance ソーラン節? B: Yes, I can. A: Can you dance ソーラン節? B: Yes, I can.	Show the demonstration of the conversation.
	6 アクティビティ Activity1 Find yes ジェスチャーYes あつめ Yes あつめと同じ。Yes と言ってもらったら、一緒にジェスチャーをする。	アクティビティ1のやり方を見せる。 A: Can you dance? B: Yes, I can. A: Let's dance. B: OK. 一緒にダンスする。Dance together.	activity 1 Find Yes Show a demonstration of the activity.
5分	7 単語練習 Add some words whistle, ski, skate	単語練習をする 2回→1回→0回	Pronounce some verbs.
	アクティビティ2 Activity2 隣の友達にできるかどうか聞く。	今日習った単語全てを使い、隣の友達と会話をさせる。 Make pairs. Ask many times.	Support students who can't speak well.
10分	8 つなげる 教師のあとにリピートしたあと、隣りや料理を作るジェスチャーをしながら、友達と会話をさせる。	A: What's this? B: It's ソーラン節. A: Can you dance ソーラン節? B: Yes, I can. 終わりのあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Show a demonstration of the conversation.

28

3年生 Unit8 (5回目/5時間)
What's this? 『これなあに?』

- 目標 既習の表現を使い、会話を続けようとする。
- 新出単語・表現 阿波踊り、南洋踊り (awa dance, nanyo dance)
既習単語・表現 What's this? It's ~. Can you play ~? Yes, I can. No, I can't
動詞 dance swim, dance, cook
- 使用教材 動詞フラッシュカード、踊りの映像など、状況設定カード (またはコンテンツ、パソコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALT の動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	CD をセットする。	Sing together.
10分	3 復習 Review	①～③のどれかを選んで復習する。	Review.
		①自己紹介の復習	Talk with the students and praise them.
		②前時の復習	
		③これまでの復習	
15分	4 単語練習 Words	単語練習をする。阿波踊り、南洋踊りなど日本語なので、1回→0回でもよい。	Help HRT.
	5 状況設定とダイアログ練習	状況設定のあと、繰り返ししの口頭練習をさせる。 A: What's this? B: It's 阿波踊り。 A: Can you dance? B: Yes, I can. A: Do you have 衣装? B: Yes, I do. B: No, I don't. A: Let's dance! B OK.	Show the demonstration of the conversation.
		(1) 状況設定 (2) ダイアログ練習 ①リビート練習 ②教師がA役、児童がB役 ③児童がB役、教師がA役 ④ペア練習	
	6 アクティビティ Activity	Do gesture and ask what it is. Ask friends if they can do it. ジェスチャーをして、何かを当てたり出来るかどうか聞きあったりしよう。	activity interview Help HRT.
10分	7 フリートーク	ペアを作る。 長く話していた子供を紹介し、ほめる。	Check which pair can talk longer than others. Praise the students.
5分	8 振り返りあいさつ	感想を発表させる。 終わりのあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Praise Ss.

29

3年生 Unit9 (1時間目/4時間)
Who are you? ~In the Autumn Forest~ 『きみはだれ?』

- 目標 日本語と英語のリズムなどの音声の違いに気づき、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 新出単語・表現
Who are you? I'm ~. 動物 (dragon, fox, tiger, rabbit, turtle, snake, sparrow, racoon dog, tiger, bear.)
既習単語・表現 cow, horse, dog, cat, beam
- 使用教材 動物のフラッシュカード、動物の絵など、状況設定カード (またはコンテンツ、パソコン、電子黒板等)
- 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALT の動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	CD をセットする。	Sing together.
10分	3 復習 Review	①～③のどれかを選んで復習する。	Review.
		①自己紹介の復習	Talk with the students and praise them.
		②前時の復習	
		③これまでの復習	
5分	4 読み聞かせ	In the Autumn Forest の読み聞かせをする。 Read a big book, In the Autumn Forest	Read a book with HRT. Play a dog role or the other animals role.
10分	5 単語練習 (動物) Words	dragon, fox, cow, tiger, horse, rabbit, turtle	Help HRT.
三	6 状況設定とダイアログ練習	状況設定のあと、繰り返ししの口頭練習をさせる。 A: Who am I? B: Tiger!	Show a demonstration of the conversation.
構成			
法			
	7 ゲーム Game かるた kanuta	動物かるたをする。 Make pairs. Spread the cards out. Hands on your head! Say the word when you get the card.	Pronounce the animals
		Ss: Who am I? T: Bear!	
5分	8 単語練習 Words	動物の単語練習をする。 snake, cat, bear, sparrow, racoon dog, tiger, bear	単語練習 2回→1回→0回 単語の量は加減する。
5分	9 アクティビティ Activity Gesture quiz	ジェスチャークイズ	Show the demonstration of the activity, who am I quiz.
5分	10 つなげる Long Talk	A: I'm white. I have long ears. I like carrots. I can jump. Who am I? B: Rabbit! A: That's right!	
		※時間がなければ、教師がクイズを出すのに替わる。 終わりのあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!	

30

3年生 Unit9 (2時間目/4時間)

Who are you? ~In the Autumn Forest~ 『きみはだれ?』

- 目標 誰かに尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 新出単語・表現 動物 様子を表す言葉 shiny, scary, round, funny, I'm a ~.
- 既習単語・表現 Who are you? 動物 動物のフラッシュカード、動物かるた、昆虫フラッシュカード、昆虫かるた、状況設定カード (またはコンテンツ、パソコン、電子黒板等)、教科書絵本

4 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	CDをセットする。	Sing together.
5分	3 復習 Review ①自己紹介の復習 ②前時の復習 ③これまでの復習	①～③のどれかを選んで復習する。	Review. Talk with the students and praise them.
5分	4 読み聞かせ Read "In the Autumn Forest"		
15分	5 単語練習(杉野輝) Words shiny, scary, round, funny, big, small, long, square, cute	単語練習をする。2回→1回→0回	Help HRT.
三 構 成 法	6 状況設定とダイアログ練習 Set the context and practice the new expression	状況設定のあと、繰り返し口の練習をさせる。状況設定カードを使う。 A: Who am I? B: Hint, please. A: I'm round. B: A racoon dog! A: Yes!	Show a demonstration of the conversation.
5分	7 アクティビティ1 Activity1 カード交換 Card exchange 動物カードをもち、クイズを出し合う。クイズを出したら、カードを交換し、別の友達と会話する。	アクティビティ1 カードを配る。 A: Who am I? B: Hint, please. A: I'm round. B: A racoon dog. A: That's right!	Have a card. Show a demonstration of the activity. Talk with the students and praise them.
5分	8 絵歌をつなげる。 Long talk	A: Who am I? A: OK, I'm long. I can fly. I have four legs. I am scary. B: Dragon! A: That's right.	Help HRT.
10分	9 アクティビティ2 Activity2 動物クイズ Who am I? Quiz カードをもち、6のダイアログを使って動物クイズを出す。	デモンストレーションをする。 終わったらカードを回収する。 終わりのあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Show the demonstration of the activity 2, who am I quiz

31

3年生 Unit9 (3時間目/4時間)

Who are you? ~In the Autumn Forest~ 『きみはだれ?』

- 目標 ~ですかと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 新出単語・表現 Are you a ~? Yes, I am. / No, I'm not.
- 既習単語・表現 Who are you? I'm ~ 昆虫、様子を表す言葉 shiny, scary, round, square, cute, big, small, long 動物のフラッシュカード、動物かるた、昆虫フラッシュカード、昆虫かるた、状況設定カード (またはコンテンツ、パソコン、電子黒板等)、教科書絵本

4 展開

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 ABC ステップスなど Let's sing	CDをセットする。	Sing together.
10分	3 復習 Review ①自己紹介の復習 ②前時の復習 ③これまでの復習	①～③のどれかを選んで復習する。	Review. Talk with the students and praise them.
5分	4 絵本の読み聞かせ	絵本の読み聞かせを分担して行う。児童が一緒に読めたら読ませる。	Read a book, In the Autumn Forest
15分	5 単語練習(杉野輝) Words shiny, scary, round, square, scary	単語練習をする。2回→1回→0回	Help HRT.
三 構 成 法	6 状況設定とダイアログ練習 Set the context and practice the new expression (1) 状況設定 (2) ダイアログ練習	状況設定のあと、繰り返し口の練習をさせる。 A: Who am I? B: A hint, please. A: I am big. I am brown. B: Are you a dog? A: Yes, I am.	Show the demonstration of the conversation.
5分	7 ゲーム Game Guessing game 推測ゲーム グループになる。カードを1枚引いた友達にAre you a ?と聞く。当たった人が1ポイント。	ゲーム Aがカードを引く。B, C, Dが当てる。 A draws a card from a pile of the cards. B: Are you a dragon? A: No, I'm not. C: Are you a bear? A: Yes, I am. C gets one point. B draw a card next.	Show a demonstration of the activity.
5分	8 単語練習(昆虫)	単語練習2回→1回→0回 単語を言いながらカードを黒板に貼る。児童に見えないよう指示をし、カードを1枚外す。貼ってあるカードを一緒に読み、何が正しいかを当てさせる。 Don't look. What's missing?	Pronounce the words of the next lesson. Play what's missing game if they have time.
5分	9 つなげる Long talk	A: Who am I? B: A hint, please. A: I am big. I am brown. B: Are you a dog? A: Yes, I am. ジェスチャーでもよい。 あいさつとして終わり。That's all for today! Good bye, everyone.	

Who are you? ~In the Autumn Forest~ 『きみはだれ?』

- Who are you? I'm ~. 昆虫、様子を表す言葉 shiny, scary, round, funny,

絵本に出てくる登場人物や動物について尋ね合う。

A: Who am I? B: Do you like きびだんご?

A: Yes, I do. B: Can you fly?

A: No, I can't. B: Are you a dog?

A: No, I'm not. B: Do you like bananas?

A: Yes, I do. B: Are you a monkey?

A: Yes, I am.

『ようこそ小笠原へ！』
Welcome to Ogasawara!

- 4 展開

A: Where are you from? B: I'm from the U.S.A.
A: Welcome to Ogasawara. B: Thank you.

34

3年生 Unit 10 (2時間目/3時間)

Welcome to Ogasawara! 『ようこそ小笠原へ!』

- 目標 日本（東京・小笠原）の文化や食べ物、観光地について伝え合う。
- 新出単語・表現 Welcome to ～。
- 使用教材 国名や地名のフラッシュカード、小笠原の観光地、食べ物、文化のカード、状況設定カード（またはコンテンツ、パソコン、電子黒板等）

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 曜日の歌 Let's sing	CDをセットする。	Sing together.
10分	3 練習 Review	①～③のどれかを選んで復習する。	Review.
	①自己紹介の復習		Talk with the students and praise them.
	②前時の復習		
	③これまでの復習		
10分	4 単語練習	日本語なので、1回→0回でよい。	Help HRT.
	地域の食べ物		
	5 状況設定とダイアログ練習	②状況設定のあと、繰り返し練習をさせる。	Show the demonstration of the conversation.
	Set the context and practice the new expression	A: What do you want to do? B: I want to see オガサワラコウモリ。 I want to eat 島寿司。	
	(1) 状況設定		
	(2) ダイアログ練習	A: What do you want to do? B: I want to see オガサワラコウモリ。 I want to eat 島寿司。	
	①英え方の練習		
	②英え方の練習		
	③ペア練習		
	6 アクティビティ Activity	Talk with 5 friends and sit down.	
	自分かやってみたいこと、食べたいものを伝え合おう。		
5分	7 単語練習 Words	日本語なので、1回→0回でよい。	Pronounce the new words
	小笠原の観光地などの単語練習をする。		
10分	8 会話をつなげ、友達と会話をしよう	会話を助かせてから練習させる。	Choose A part or B part
	Long talk	A パート、B パートなどに分けて工夫して練習させる。	
		A: What do you want to do in Ogasawara? B: I want to see オガサワラコウモリ。 I want to eat- I want to eat 島寿司。 I want to dance 踊り踊り。 A: Let's dance! B: OK.	
5分	9 フリートーク Free Talk	会話例	
	地域（小笠原）について、学習した表現を使って会話をつなげる。	What do you want to do in Ogasawara? I want to see turtle. I want to eat turtleise. I like turtleise. I want to snorkel.	

35

3年生 Unit10 (3時間目/3時間)

Welcome to Ogasawara! 『ようこそ小笠原へ!』

- 目標 1年間の復習をしよう。
- 新出単語・表現 Welcome to ～。
- 使用教材 国名や地名のフラッシュカード、小笠原の観光地、食べ物、文化のカード、状況設定カード（またはコンテンツ、パソコン、電子黒板等）

時間	学習内容	担任の動き HRT	ALTの動き ALT
2分	1 あいさつ Greeting	児童とあいさつをする。	Greeting
3分	2 歌 Song	率先して歌い、楽しんで英語歌を作る。	Sing together.
10分	3 練習 Review 1	①～③のどれかを選んで復習する。	Review.
	①自己紹介の復習		Talk with the students and praise them.
	②前時の復習		
	③これまでの復習		
10分	4 1年間の復習 Review 2	状況設定カードを組み合わせて、ダイアログ練習を行う。	Help HRT.
	① I like 好きなものを伝え合おう。	口頭繰り返し練習、Aパート、Bパート、子供だけで言う、ペアで言うなど工夫する。	
	② I have 持っているものを伝え合おう。		
	③ I want ほしものを伝え合おう。		
	④ I can～ できることを伝え合おう。		
10分	5 自己紹介 Self introduction	自己紹介の例を見せる。	Show a good model of self introduction.
	友達と交互に自己紹介をしよう。	ペアを作り、二人組で練習させる。	Support the students.
5分	6 自己紹介2 speech	前に出て発表させる。	Praise the students.
	自己紹介スピーチをしよう。	Any challenges? 上手に出来ていた子、がんばっていた子を指名する。	
5分	7 振り返りあいさつ Reflection and closing	感想を発表させる。	Praise students.
		終わりのあいさつ That's all for today! Good bye, everyone!	

What do you like? 振の返のカード

進んで話しかけましたか。	ニコニコ	普通のかお	悲しいかお
楽しく参加できましたか。	ニコニコ	普通のかお	悲しい顔
感想			

4. 指導案 (4 年生)

This is for you. 振の返のカード

進んで話しかけましたか。	ニコニコ	普通のかお	悲しいかお
楽しく参加できましたか。	ニコニコ	普通のかお	悲しい顔
感想			

1 4年生 Unit 1 (1時間目/2時間)
Hello, world! 『世界のいろいろなことばであいさつしよう』

- 1 目標 様々なあいさつの仕方があることに気付くとともに、その言い方に慣れ親しむ。
2 新出単語・表現 あいさつ (Good morning, Good afternoon, Good evening.)
3 使用教材 あいさつフラッシュカードまたはコンテンツ、CD
4 展開

時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き
1分	1 あいさつ Greeting	・児童とあいさつをする。	Greet students.
9分	2 趣意説明 ～ Why do we study English?～ 3 英語が上手になるポイント ～3points to improve my English～ Clear voice, Challenge, Smile	・努力の観点を示す。 T: Listen, ♪曲をかける。 T: Small voice, OK, ♪ T: Normal voice, OK, ♪ T: Level up! Clap! ♪ T: Level up! Stomp! ♪ T: Level up! Jump! ♪ ※6B 6 DEF G... (Clap & Stomp) ※6B 6 DEF G... (...& Jump)	Sing and show movements to students with clapping, stomping and jumping. Praise students.
5分	4 歌またはチャンツ Song or Chant 「ABC steps」 聞く→小さな声で→普段の声で→変化をつけて ※6B C D E F G... (Clap) ※6B 6 DEF G... (Clap & Stomp) ※6B 6 DEF G... (...& Jump)		
5分	5 ALT タイム Listen to a Story about ALT ALTの国や文化に触れる。	・ALTの話す英語をゆっくり復唱する等して、助ける。 ・ALTとやって見せる。 T: Talk with three people, and sit down. ・言えないSには一緒に言ったり、励ましたりする。 ※交代 A: Hello. B: Hello. A: What's your name? B: My name is～. A: Nice to meet you. B: Nice to meet you, too. A: Where are you from? B: I'm from Kenya. ※交代 A: ジャンボ! B: ジャンボ! A: See you. B: See you.	Introduce yourself and your country with some pictures. Demonstrate with HRT to students. Talk with many students. Praise students.
5分	6 復習 Review ※既習ダイアローグ ①イラストを見て復習する。 ※世界のあいさつの復習 (3年の復習) ②互いに会話をする。(3年の復習) A: Hello. B: Hello. A: What's your name? B: My name is～. A: Nice to meet you. B: Nice to meet you, too. A: Where are you from? B: I'm from Kenya. ※交代 A: ジャンボ! B: ジャンボ! A: See you. B: See you.		Using "Conversation map" 会話をの流れをイラストで提示すると、発話の手がかりになります。
15分	7 単語練習 Words Good morning /afternoon /evening. 8 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice ①状況設定 A: Good morning/ afternoon/ evening. B: Good morning/ afternoon/ evening. ②ダイアローグ練習 ① T: In the morning. Ss: Good morning. ② T: In the afternoon. Ss: Good afternoon. ③ T: In the evening. Ss: Good evening. 9 アクティビティ Activity 教師の英語を聞いて、適切なあいさつをする。 10 会話をつなげる Long talk A: Good morning. B: Good morning. A: What's your name? B: I'm～. ※交代 A: Nice to meet you. B: Nice to meet you, too. A: Where are you from? B: I'm from Kenya. ※交代 A: ジャンボ! B: ジャンボ! T: Talk with many people. T: See you. B: See you. あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye. everyone!	・リズム・テンポよく練習させる。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 ・口頭練習させる。 T: Talk with three people. 児童と会話し、励ます。 T: In the evening. Ss: 歩いて相手を探し、Good evening!と言いつつ友達に挨拶をする。 T: Talk with many people.	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the sentence. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students. Talk with many students. Praise students.

1 4年生 Unit 1 (1時間目/2時間)
Hello, world! 『世界のいろいろなことばであいさつしよう』

- 1 目標 様々なあいさつの仕方があることに気付くとともに、その言い方に慣れ親しむ。
2 新出単語・表現 あいさつ (Good morning, Good afternoon, Good evening.)
3 使用教材 あいさつフラッシュカードまたはコンテンツ、CD
4 展開

時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き
1分	1 あいさつ Greeting	・児童とあいさつをする。	Greet students.
9分	2 趣意説明 ～ Why do we study English?～ 3 英語が上手になるポイント ～3points to improve my English～ Clear voice, Challenge, Smile	・努力の観点を示す。 T: Listen, ♪曲をかける。 T: Small voice, OK, ♪ T: Normal voice, OK, ♪ T: Level up! Clap! ♪ T: Level up! Stomp! ♪ T: Level up! Jump! ♪ ※6B 6 DEF G... (Clap & Stomp) ※6B 6 DEF G... (...& Jump)	Sing and show movements to students with clapping, stomping and jumping. Praise students.
5分	4 歌またはチャンツ Song or Chant 「ABC steps」 聞く→小さな声で→普段の声で→変化をつけて ※6B C D E F G... (Clap) ※6B 6 DEF G... (Clap & Stomp) ※6B 6 DEF G... (...& Jump)		
5分	5 ALT タイム Listen to a Story about ALT ALTの国や文化に触れる。	・ALTの話す英語をゆっくり復唱する等して、助ける。 ・ALTとやって見せる。 T: Talk with three people, and sit down. ・言えないSには一緒に言ったり、励ましたりする。 ※交代 A: Hello. B: Hello. A: What's your name? B: My name is～. A: Nice to meet you. B: Nice to meet you, too. A: Where are you from? B: I'm from Kenya. ※交代 A: ジャンボ! B: ジャンボ! A: See you. B: See you.	Introduce yourself and your country with some pictures. Demonstrate with HRT to students. Talk with many students. Praise students.
5分	6 復習 Review ※既習ダイアローグ ①イラストを見て復習する。 ※世界のあいさつの復習 (3年の復習) ②互いに会話をする。(3年の復習) A: Hello. B: Hello. A: What's your name? B: My name is～. A: Nice to meet you. B: Nice to meet you, too. A: Where are you from? B: I'm from Kenya. ※交代 A: ジャンボ! B: ジャンボ! A: See you. B: See you.		Using "Conversation map" 会話をの流れをイラストで提示すると、発話の手がかりになります。
15分	7 単語練習 Words Good morning /afternoon /evening. 8 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice ①状況設定 A: Good morning/ afternoon/ evening. B: Good morning/ afternoon/ evening. ②ダイアローグ練習 ① T: In the morning. Ss: Good morning. ② T: In the afternoon. Ss: Good afternoon. ③ T: In the evening. Ss: Good evening. 9 アクティビティ Activity 教師の英語を聞いて、適切なあいさつをする。 10 会話をつなげる Long talk A: Good morning. B: Good morning. A: What's your name? B: I'm～. ※交代 A: Nice to meet you. B: Nice to meet you, too. A: Where are you from? B: I'm from Kenya. ※交代 A: ジャンボ! B: ジャンボ! T: Talk with many people. T: See you. B: See you. あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye. everyone!	・リズム・テンポよく練習させる。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 ・口頭練習させる。 T: Talk with three people. 児童と会話し、励ます。 T: In the evening. Ss: 歩いて相手を探し、Good evening!と言いつつ友達に挨拶をする。 T: Talk with many people.	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the sentence. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students. Talk with many students. Praise students.

4年生 Unit 1 (2時間目/2時間)			
Hello, world! 『世界のいろいろなことばであいさつしよう』			
1 目標 相手に配慮しながら友達とあいさつをして、自分の好みや年齢を伝え合おうとする。 2 新出単語・表現 A: I'm 10(years old). B: I'm 12(years old). 3 使用教材 数字フラッシュカードまたはコンテンツ、CD 4 展開			
時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き
2分	1 あいさつ Greeting A: How are you? B: I'm ~.	・児童とあいさつをする。	Greet students.
3分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	・率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。 ・互いに会話、練習させる。 ALTとやってみる。 T: Talk with three people, and sit down.	Show the movements and sing with the children. Talk with many students. Praise students.
5分	3 復習 Review I like... のみでもよいが、できたら以下の会話をする。 A: Hello. B: My name is ~. ※交代 A: Nice to meet you. B: Nice to meet you, too. A: Where are you from? B: I'm from Kenya. ※交代 A: ジャンボ! B: ジャンボ! A: I like sushi. B: I like ramen. A: See you. B: See you.	T: It's OK. Very good! 言えない子どもがいいたら、教師と一緒に言ったり、励ましたりします。 少しでも発話したら、力強くほめます。	
20分	4 単語練習 Words ※数字の言い方 (練習) 5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialog practice ①状況設定 A: I'm 10(years old). B: I'm 9(years old). ②ダイアログ練習 ③教師のあとにリポート ④教師と児童で A、B 役 6 アクティビティ Activity 好きな年齢になりきって、会話をしよう	・更にテンポよく復習させる。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALT とのやりとり、コンテンツなど ・口頭練習させる。 T: Talk with three people. ・児童と一緒に会話し、励ます。 A: How old are you? B: (赤ちゃんのように) I'm one. T: Talk with many people.	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the numbers. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students.
10分	7 会話をつなげる Long talk A: Hello. B: Hello. A: What's your name? B: My name is ~. ※交代 A: Nice to meet you. B: Nice to meet you, too. A: Where are you from? B: I'm from Kenya. ※交代 A: ジャンボ! B: ジャンボ! A: I like sushi. B: I like ramen. A: I'm 10(years old). B: I'm 12(years old). A: See you. B: See you.		Talk with many students. Praise students.
5分	8 ふりかえり Reflection	・3つのポイントが出来ていたか手を上げさせ確認する。 ・振り回りカード(例)に書き、発表させてもよい。 あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Say good-bye to students.

4年生 Unit 2 (1時間目/4時間)			
Let's play cards. 『好きな遊びを伝えよう』			
1 目標 天気の違いに慣れ親しむ。 2 新出単語・表現 A: How is the weather? B: It's sunny /rainy /cloudy /snowy /windy. 3 使用教材 touch, put on, turn around, hand, leg, right, left 4 展開 天気・動作フラッシュカードまたはコンテンツ、天気スリッチカード、CD			
時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き
2分	1 あいさつ Greeting A: How are you? B: I'm ~.	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
3分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	・率先して楽しく歌う。	
10分	3 復習 Review ①既習ダイアログの復習 ※自己紹介 ②前時の復習 ③これまでの復習	・互いに会話、練習させる。 ALTとやってみる。 T: Talk with three people, and sit down. ・言えないSには一緒に言った り、励ましたりする。	Talk with many students. Praise students.
20分	4 単語練習 Words ※天気 (練習) sunny, rainy, cloudy, snowy, windy 5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialog practice ①状況設定 ②ダイアログ練習 ③教師のあとにリポート ④教師と児童で A、B 役 ⑤ペア活動	・更にテンポよく復習させる。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALT とのやりとり、コンテンツなど。 A: How is the weather? B: It's sunny.	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Praise students.
3分	6 アクティビティ 1 (会話練習) Activity ☆会話が終わったら、"Switch" 自分のカードと、相手のカードを交換します。こうすることで、次は、異なるカードについて話すことができ、様々な単語に慣れ親しむことができます。 ・フラッシュカードと共に、動作をつけて教える。 ・児童とあいさつする。 That's all for today! Good bye, everyone!	・口頭練習させる。 T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. ・児童と会話し、励ます。 ・ALTとやってみる。 T: Talk with many people.	Demonstrate with HRT. Talk with many students. Praise students.
10分	7 次時間以降の単語の練習 New Words stand up, sit down, stop, walk, jump, run		Demonstrate to the students how to pronounce the sentence with movements. Say good-bye to students.

4 4年生 Unit 2 (2時間目/4時間)			
Let's play cards. 『好きな遊びを伝えよう』			
1 目標	日本の遊びと世界の遊びの違いを通して、多様な考え方があることに気付くとともに、遊びに誘う表現に慣れ親しむ。		
2 新出単語・表現	A: Let's play soccer. B: OK. / Sorry. I don't like~. play soccer/ baseball/ dodge ball/ basketball/ table tennis/ jump rope head, shoulders, knees, toes, ears, eyes, mouth, nose スポーツ・体の部位フラッシュカードまたはコンテンツ、CD		
3 使用教材			
4 展開			
時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き
5分	1 あいさつ Greeting A: How are you? B: I'm ~.	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant 『Head shoulders knees toes!』 新出: head, shoulders, knees, toes, ears, eyes, mouth, nose	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。 実演に体の部位をタッチしながら、楽しく単語練習します。	Sing and show movements to students.
10分	3 復習 Review ①既習ダイアローグの復習 ※自己紹介 ②前時の復習 ③これまでの復習 A: How is the weather? B: It's sunny. A: Let's play soccer. B: OK. / Sorry. I don't like soccer.	・互いに会話、練習させる。 ・ALTとやってみせる。 T: Talk with three people, and sit down. ・言えないSには一緒に言ったり、励ましたりする。	Talk with many students. Praise students.
15分	4 単語練習 Words play [soccer/ baseball/ dodgeball/ basketball/ table tennis] 5 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice (1)状況設定 (2)ダイアローグ練習 ①教師のあとにリピート ②教師と児童でA, B役 ③ペア活動 A: Let's play soccer. B: OK. / Sorry. I don't like soccer.	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALTとのやりとり、コンテンツなど 状況設定 A: Let's play soccer. B: Sorry. I don't like soccer.	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.)
10分	6 アクティビティ activity 同時に言おう やりたい遊びを同時に言う。同じ遊びだったらOKとハイタッチ。	T: Make pairs. Talk and sit down. (同時に) A, B: Let's play... A: dodgeball! B: soccer! Sorry. といって別れる。 もし同じ遊びだったらOK!とハイタッチ。	Demonstrate to the students how to play the game. Give them the direction "Simon says [Touch your head.]". Say good-bye to students.
10分	7 次時以降の単語 Words touch, put on, turn around, hand, leg, right, left ※ 復習 stand up/ sit down/ stop/ walk/ jump/ run Oサイモンセイズゲーム	・テンポよく復習、新出単語を押さえて活動に入る。 ・ALTとやり方を見せる。 教師が Please stand up.と云ったら立つが、Stand up.だけだったら立たない。 ・児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!	

5 4年生 Unit 2 (3時間目/4時間)			
Let's play cards. 『好きな遊びを伝えよう』			
1 目標	好きな遊びを尋ねたり答えたり、遊びに誘ったりすることが出来る。		
2 新出単語・表現	A: Do you like to play tag? B: Yes, I do. / No, I don't play [cards/ games/ tag/ hide and seek] 遊びフラッシュカードまたはコンテンツ、CD		
3 使用教材			
4 展開			
時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き
2分	1 あいさつ Greeting A: How are you? B: I'm ~.	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
3分	2 歌またはチャンツ Song or Chant 『Heard shoulders knees toes!』	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing and show movements to students.
5分	3 復習 1 Review 1 ①既習ダイアローグの復習 ※自己紹介 ②前時の復習 ③これまでの復習 A: How is the weather? B: It's sunny. A: Let's play soccer. B: OK. / Sorry. I don't like soccer.	・互いに会話、練習させる。 ・ALTとやってみせる。 T: Talk with three people, and sit down. ・言えない児童には一緒に言ったり、励ましたりする。	Talk with many students. Praise students.
5分	4 復習 2 Review 2 Oサイモンセイズゲーム Simon says game	・教師が率先して行い、楽しい雰囲気を作る。	Give them the direction "Simon says [Touch your head.]". Praise students.
15分	5 単語練習 Words play [cards/ games/ tag/ hide and seek] 6 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice (1)状況設定 A: Do you like to play tag? B: Yes, I do. / No, I don't. (2)ダイアローグ練習 ①教師のあとにリピート ②教師と児童でA, B役 ③ペア活動 7 アクティビティ Activity Yes 集め Yesと答えてもらったら1ポイント	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALTとのやりとり、コンテンツなど 口頭練習させる。 友だちが好きな遊びを質問するように言う。 T: 晴れ/雨の時、どの遊びに誘いますか? ・テンポよく口頭練習させる。 Do you like to ~? "遊びたい?" というニュアンスになります。 子どもが、"to" を抜かして言ってしまっても強制せずに、正しく言い教えます。	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students.
10分	8 会話を広げる Long talk (1)晴れ、雨の時は、それぞれの遊びが提案できるかを考える。 (2)晴れ/雨パージョンの対話型を練習する。	・テンポよく復習、新出単語を押さえて活動に入る。 ・ALTとやり方を見せる。 教師が Please stand up.と云ったら立つが、Stand up.だけだったら立たない。 ・児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Say good-bye to students.

4年生 Unit 2 (4時間目/4時間)		
Let's play cards. 『好きな遊びを伝えよう』		
1 目標	相手に配達しながら友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。 晴れ/雨の日の遊びを選択し、遊びを提案する。	
2 新出単語・表現	play 【百人一首/囲碁/将棋/天下ノドロケイ】	
3 使用教材	遊びフラッシュカードまたはコンテンツ、CD	
4 展開		
時	学習内容	ALTの動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather?	• 児童とあいさつをする。 • 互いに会話をさせる。
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	• 教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。
5分	3 復習 Review ①既習ダイアローグの復習 ※自己紹介 ②前時の復習 ③これまでの復習	• 互いに会話、練習させる。 • ALTとやって見せる。 T: Talk with three people, and sit down. • 児童と会話し、励ます。。
20分 三構成法	4 単語練習 Words play 百人一首/囲碁/将棋/天下ノドロケイ 5 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice (1)状況設定 A: How is the weather? B: It's rainy. A: Do you like to play 百人一首? B: Yes, I do. A: Let's play 百人一首. B: OK! (2)ダイアローグ練習 ①教師のあとにリビート ②教師と児童で A、B 役 ③ペア活動 6 アクティビティ Activity 友だちを誘って、ジェスチャーをつけよう	Praise students. (Demonstrate with HRT.) Demonstrate to the students how to pronounce the sentence. Talk with many students. Praise students. T: Talk with many people. • 児童と会話し、励ます。 A: How is the weather? B: It's rainy. A: Do you like to play 百人一首? B: Yes, I do. A: Let's play 百人一首. B: OK! (百人一首をする真似をする) A, B: Thank you! Bye! • 3つのポイントが出来ていたか手を上げさせ確認する。 • 児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!
5分	7 ふりかえり Reflection	Say good-bye to students.

4年生 Unit 3 (1時間目/4時間)		
I like Mondays. 『好きな曜日は何かな?』		
1 目標	世界の同年代の子供たちの生活を知るとともに、曜日の言い方や、曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	
2 新出単語・表現	A: What day is it? B: It's Monday	
3 使用教材	Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday	
4 展開	曜日・食べ物フラッシュカードまたはコンテンツ、CD	
時	学習内容	HRTの動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather?	• 児童とあいさつをする。 • 互いに会話をさせる。
7分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	• 教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。
8分	3 復習 Review ①既習ダイアローグの復習 ②前時の復習 ③これまでの復習 A: How is the weather? B: It's sunny. A: Do you like to play tag? B: Yes, I do. A: Let's play tag. B: OK!	• 互いに会話、練習させる。 • ALTとやって見せる。 T: Talk with three people, And sit down. • 児童と会話し、励ます。。
20分 三構成法	4 単語練習 Words Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday ○歌『Sunday, Monday, Tuesday』 5 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice (1)状況設定 A: What day is it? B: It's Monday. (2)ダイアローグ練習 ①教師のあとにリビート ②教師と児童で A、B 役 ③ペア活動 6 アクティビティ Activity カードを見せながら曜日を聞き合う	• 歌を用い、毎時間繰り返し、楽しく覚えさせる。 • どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALTとのやりとり、コンテンツなど • 口頭練習させる。 T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. • 児童と会話し、励ます。 1人1枚カードを持つ。 A: (カードの一部だけ見せて) What day is it? B: It's Monday! A: That's right! 役割交代。その後、カードを交換する。 • 2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。男女別に言わせたり、列バトルをしたりする。 • 児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!
5分	7 次時以降の単語 Words mushroom, watermelon soup, pie, sandwich	Demonstrate to the students how to pronounce the words. Say good-bye to students.

8 4年生 Unit 3 (2時間目/4時間)
I like Mondays. 『好きな曜日は何かな?』

- 目標 自分の好きな曜日を伝え合うことができる。
- 新出単語・表現 A: Do you like Monday? B: Yes, I do. / No, I don't.
- 使用教材 曜日・フラッシュカードまたはコンテンツ、CD、動詞のフラッシュカード
- 展開

時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with students. many students.
7分	2 歌またはチャンツ Song or Chant Head shoulders	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
8分	3 復習 Review ①既習ダイアローグの復習 ②前時の復習 ③これまでの復習 A: Let's play ~ (on Monday) B: OK	play baseball, play soccer, play dodgeball, play tag (おにごっこ) ※児童の実態に応じてスポーツを変えてください。	Talk with students. Praise students. many students.
20分	4 単語練習 Words Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday ○歌『Sunday, Monday, Tuesday』 好きな曜日で立つ ☆ (時間があたら) かるた 5 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice ①状況設定 ②ダイアローグ練習 ③教師のあとにリピート ④教師と児童でA、B役 ⑤ペア活動 6 アクティビティ Yes 集め 7 会話をつなげる Long talk A: What day is it? B: It's Monday. A: Do you like Monday? B: Yes, I do. / No, I don't.	・歌を用い、毎時調子の返し、楽しく歌えさせる。 1回の授業で完結を求めません。毎時調、歌を歌いながら、楽しく練習していきます。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 A: Do you like Monday? B: No, I don't like. A: Do you like Sunday? B: Yes, I do. T: Make pairs. T: Talk and sit down. T: Talk with three people. ・児童と会話し、励ます。 Yes と答えてもらえるような質問をする。No 集めてよい。 ・会話の手本を見せる。 T: Talk with many people.	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. Say good-bye to students.

9 4年生 Unit 3 (3時間目/4時間)
I like Mondays. 『好きな曜日は何かな?』

- 目標 どちらが好きかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 新出単語・表現 A: Which do you like pie or cake? B: I like cake.
mushroom, watermelon, soup, pie, sandwich, pizza, hamburger, melon, pudding, cake
- 使用教材 食べ物フラッシュカードまたはコンテンツ、CD
- 展開

時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with students. many students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant 『Sunday, Monday, Tuesday』	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
8分	3 復習 Review ①既習ダイアローグの復習 ②前時の復習 ③これまでの復習 A: What day is it? B: It's Monday. A: Do you like Mondays? B: Yes, I do. / No, I don't.	・互いに会話、練習させる。 ・ALTとやって見せる。 T: Talk with three people. And sit down. ・児童と会話し、励ます。	Talk with students. Praise students. many students.
25分	4 単語練習 Words pizza, hamburger, melon, pudding, cake ※既習 mushroom, watermelon, soup, pie, sandwich. 5 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice ①状況設定 A: Which do you like, pie or cake? B: I like cake. ②ダイアローグ練習 ③教師のあとにリピート ④教師と児童でA、B役 ⑤ペア活動 6 アクティビティ 1 (会話を練習) Activity 3人と会話する。 7 アクティビティ 2 単語を変えて質問しよう Which do you like, sushi or udon?	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 まずは、単語を「食べ物」にして、ダイアローグを導入すると、子どもは興味を持って取り組みます。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALT とのやりとり、コンテンツなど ・口頭練習させる。 T: Make pairs. T: Talk and sit down. T: Talk with three people. ・児童と会話し、励ます。 ・やり方の手本を見せる。 日本語でもいいことを告げる。 A: Which do you like, udon or sobo? B: I like udon. B: Which do you like, sushi or sobo? A: I like sushi. ・児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students. Demonstrate to the students how to play. Say good-bye to students.

10 4年生 Unit 3 (4時間目/4時間)
I like Mondays. 『好きな曜日は何かな?』

- 1 目標 相手に配慮しながら自分の好きな曜日を伝えようとする。
2 新出単語・表現 A: Which do you like, Mondays or Tuesdays? B: I like Mondays.
食べ物 (食糧) に応じてこれまでのものに5つ程度付け足す)
3 使用教材 食べ物フラッシュカードまたはコンテンツ、CD
4 展開

時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant 『Sunday, Monday, Tuesday』	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
10分	3 復習 Review ①既習ダイアローグの復習 ②前時の復習 ③これまでの復習 A: Which do you like, pie or cake? B: I like cake.	・互いに会話、練習させる。 ・ALTとやって見せる。 T: Talk with three people. And sit down. ・児童と会話し、励ます。	Talk with many students. Praise students.
15分	4 単語練習 Words 曜日 5 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice (1)状況設定 A: Which do you like, Sundays or Mondays? B: I like Sundays. ②ダイアローグ練習 ①教師のあとにリポート ②教師と児童でA、B役 ③ペア活動 6 アクティビティ Activity 教師が示した2つの曜日で聞き合い、同じ友達とはハイタッチ。 7 会話を広げる Long talk	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 既習であるため、様子を見て回数を減らす。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALTとのやりとり、コンテンツなど ・口頭練習させる。 T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. ・児童と会話し、励ます。 ・会話の手法を見せる。 T: Talk with many people	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students. Demonstrate with HRT. Demonstrate to the students how to pronounce the words.
5分	8 ふりかえり Reflection	・単元の振り返りをする。 ・児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Say good-bye to students.

11 4年生 Unit 4 (1時間目/4時間)
What time is it? 『今、何時?』

- 1 目標 時刻や生活の言い方や尋ね方について慣れ親しむ。
2 新出単語・表現 A: What time is it? B: It's 10:30.
数字 10,20,30,40,50,60,70,80,90,100,15,45
3 使用教材 数字またはコンテンツ、CD
4 展開

時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
7分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
8分	3 復習 Review ①既習ダイアローグの復習 ②前時の復習 ③これまでの復習 A: What day is it? B: It's Monday. A: Do you like Mondays? B: Yes, I do. / No, I don't. A: Which do you like, Sundays or Mondays? B: I like Sundays. A: Why? B: Because I like 休みの日.	・互いに会話、練習させる。 ・ALTとやって見せる。 T: Talk with three people, and sit down. ・児童と会話し、励ます。	Talk with many students. Praise students.
20分	4 単語練習 Words 10,20,30,40,50,60,70,80,90,100,15,45 5 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice (1)状況設定 A: What time is it? B: It's 10:30. ②ダイアローグ練習 ①教師のあとにリポート ②教師と児童でA、B役 ③ペア活動 6 アクティビティ Activity 何時かな? ジェスチャークイズ 寝たり起きたりご飯を食べたりする動作をしてみせ、What time is it?と聞く。相手は予想して時刻をあてる。	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALTとのやりとり、コンテンツなど ・口頭練習させる。 T: Talk with three people and sit down. ・児童と会話し、励ます。 A: What time is it? (お風呂の動作) B: It's 7:00. A: No, it's 6:30. B: What time is it? (布団に入る動作) A: It's 9:00. B: That's right!	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students.
5分	7 夜間以降の単語 Words bath, bed, TV, breakfast, lunch, dinner, snack, bath time . . .	はしめに単語だけ、次に『time!』を付けて、スモールステップで練習させます。 ・児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Demonstrate to the students how to pronounce the words. Say good-bye to students.

4年生 Unit 4 (2時間目/4時間) What time is it? 『今、何時?』				
1 目標 2 新出単語・表現 3 使用教材 4 展開	丁寧に相手に声をかける言い方や、答え方に慣れ親しむ。 A: Excuse me? B: Yes? A: Thank you. B: You're welcome. 数字 11,12,13,14,15,16,17,18,19... 数字 フラッシュカードまたはコンテンツ、CD			
時	学習内容	HRT の動き	ALT の動き	
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it? What time is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.	
7分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.	
8分	3 復習 Review ①既習ダイアローグの復習 ②前時の復習 ③これまでの復習 A: What time is it? B: It's 10:30.	・互いに会話、練習させる。 ・ALT とやって見せる。 T: Talk with three people, and sit down. ・児童と会話し、励ます。	Talk with many students. Praise students.	
20分 三 構 成 法	4 単語練習 Words 11,12,13,14,15,16,17,18,19... 5 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice ①状況設定 A: Excuse me? B: Yes? A: What time is it? B: It's 10:30. A: Thank you. B: You're welcome. ②ダイアローグ練習 ①教師のあとにリピート ②教師と児童で A、B 役 ③ペア活動 6 アクティビティ Activity A チームと B チームにわけ A チーム 時計ない人の役 B チーム 時計ある人の役 A が声をかけ、B に教えてもらう。	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALT とのやりとり、コンテンツなど ・口頭練習させる。 T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. ・児童と会話し、励ます。 A: Excuse me? B: (ふりむきながら) Yes? A: What time is it? B: It's 9:30. (好きな時刻) A: Thank you. B: You're welcome. 役割交代	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. Say good-bye to students.	
5分	7 次時以降の単語 Words wake up, study, homework, dream wake up time... ※既習 bath, bed, TV, breakfast, lunch, dinner, snack	はじめに単語だけ、次に「time」を付けて、スモールステップで練習させます。 ・児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!		

4年生 Unit 4 (3時間目/4時間) What time is it? 『今、何時?』				
1 目標 2 新出単語・表現 3 使用教材 4 展開	時刻や生活の言い方や尋ね方について慣れ親しむ。 A: What time is it in Australia? B: It's 7:30 pm. It's TV time. am, pm, Australia, the U.S.A., Kenya, India, France, 国旗フラッシュカードまたはコンテンツ、CD			
時	学習内容	HRT の動き	ALT の動き	
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it? What time is it?	- 児童とあいさつをする。 - 互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.	
7分	2 歌またはチャンツ Song or Chant 7ステップスなど	教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.	
8分	3 復習 Review ①既習ダイアローグの復習 ②前時の復習 ③これまでの復習 A: Excuse me? B: Yes? A: What time is it? B: It's 10:30. A: Thank you. B: You're welcome.	- 互いに会話、練習させる。 - ALT とやって見せる。 T: Talk with three people, And sit down. - 児童と会話し、励ます。	Talk with many students. Praise students.	
20分 三 構 成 法	4 単語練習 Words Australia, the U.S.A., Kenya, India, France 5 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice ①状況設定 A: What time is it in Australia? B: It's 10:30. ②ダイアローグ練習 ①教師のあとにリピート ②教師と児童で A, B 役 ③ペア活動 6 アクティビティ Activity インフォメーションキャップ 7 会話をつなげる Long talk A: What time is it in Australia? B: It's 7:30 pm. It's TV time.	2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 - どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALT とのやりとり、コンテンツなど - 口頭練習させる。 T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. • 児童と会話し、励ます。	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students.	
5分		ワークシート使用。世界地図に時刻を書き、自分の知らない情報を集める。 A: What time is it in Australia? B: It's 10:00. B: What time is it in Hawaii? A: It's 9:30. など はじめに「time」の発音させてから、会話をつなげます。 • 互いに会話をさせ、練習させる。 T: Talk with many people. • 児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Demonstrate with HRT. Demonstrate to the students how to pronounce the sentence. Talk with many students. Praise students.	

14 4年生 Unit 4 (4時間目/4時間) What time is it? 『今、何時?』	
1 目標 自分の好きな時間について尋ねたり答えたりして伝え合う。 相手に配慮しながら自分の好きな時間について尋ねたり答えたりしようとする。	
2 新出単語・表現 A: Do you like TV time? How about you? wake up time...study, homework, dream, bath, bed, TV, breakfast, lunch, diner, snack 動詞フラッシュカードまたはコンテンツ、OD	
3 使用教材 4 展開	
時	学習内容
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it? What time is it?
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant
8分	3 復習 Review ①既習ダイアローグの復習 ②前時の復習 ③これまでの復習 A: What time is it in Australia? B: It's 7:30 pm. It's TV time.
15分	4 単語練習 Words wake up time...study, homework, dream, bath, bed, TV, breakfast, lunch, dinner, snack 5 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice ①状況設定 A: Do you like reading time? B: Yes, I do. / No, I don't. ②ダイアローグ練習 ①教師のあとにリビート ②教師と児童で A, B 役 ③ペア活動 6 アクティビティ Activity 自分が好きな～time について、友だちも好きか聞く。 7 会話をつなげる Long talk 新出: How about you? / , too. A: What time is it in Australia? B: It's 7:30 pm. It's reading time. A: Do you like reading time? B: Yes, I do. / No, I don't. How about you? A: I like reading time, too. ※交代 はじめて「Free time」の練習をさせてから、会話をつなげます。 •互いに会話をさせ、練習させる。 T: Talk with many people.
5分	8 ふりかえり Reflection • 単元の振り返りをする。 • 児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!

15 4年生 Unit 5 (1時間目/4時間) Do you have a desk? 『理想の部屋をつくらう』	
1 目標 文房具など学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	
2 新出単語・表現 A: Do you have a pen? pen, pencil, book, notebook, glue, ruler 文房具フラッシュカードまたはコンテンツ、OD	
3 使用教材 4 展開	
時	学習内容
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it? What time is it?
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant
10分	3 復習 Review ①曜日の復習 ②既習ダイアローグ復習 A: Do you like Mondays? B: Yes, I do. / No, I don't.
20分	4 単語練習 Words pen, pencil, book, notebook, glue, ruler 5 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice ①状況設定 A: Do you have a pen? B: No, I don't. A: Do you have a pencil? B: Yes, I do. A: Do you have a pen? B: Yes, I do. / No, I don't. ②ダイアローグ練習 ①リビート練習 ②教師が A 役、児童が B 役 ③児童が A 役、教師が B 役 6 アクティビティ Activity ①隣の人とペアで会話を。 ②3人と会話を。 7 アクティビティ 2 文房具カード集め(復習の練習) 半分に分かれる。カードを持っていないグループは、カードを持っていないグループから、文房具を集める。 A グループ カードなし B グループ カード5枚カードをもつ 役割交代をする
5分	8 次時以降の準備 Words 文房具: scissors, stapler, magnet, sticker, marker, pencil sharpener ※子供たちの身近な単語がいいて す。 • 児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!

15 4年生 Unit 5 (1時間目/4時間) 『おすすめの文房具セットをつくろう』 発展バージョン

- 1 目標 文房具など学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
 2 新出単語・表現 A: Do you have a pen? B: Yes, I do. / No, I don't.
 3 使用教材 pen, pencil, book, notebook, glue, ruler
 4 展開 文房具フラッシュカードまたはコンテンツ、OD

時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it? What time is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant Chant	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
10分	3 復習 Review ①曜日の復習 ②練習ダイアログ復習 A: Do you like Mondays? B: Yes, I do. / No, I don't.	・互いに会話、練習させる。 ・ALTとやってみせる。 T: Talk with three people, and sit down. ・児童と会話し、励ます。	Talk with many students. Praise students.
15分	4 単語練習 Words pen, pencil, book, notebook, glue, ruler 5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialog practice ①状況設定 A: Do you have a pen? B: No, I don't. A: Do you have a pencil? B: Yes, I do. ②ダイアログ練習 ①リビート練習 ②教師がA役、児童がB役 ③児童がA役、教師がB役 6 アクティビティ Activity ①隣の人とペアで会話する。 ②3人と会話する。	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 状況設定 A: Do you have a pen? B: No, I don't. A: Do you have a pencil? B: Yes, I do. A: Do you have a pen? B: Yes, I do. / No, I don't. T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. ・児童と会話し、励ます。	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students.
5分	7 文房具集め ・カードをもって、文房具を集める アクティビティをする。 ①Aチームがカードを5枚持つ。 ②交代。Bチームがカードを5枚持つ。	クラスを2つに分ける。 Aチーム：カードを5枚持つ Bチーム：カードを集める。 A: Do you have a pen? B: Yes, I do. B: A pen, please. A: Here you are. B: Thank you. 数分経ったら役割交代する。	Demonstrate to the students how to pronounce the words.

16 4年生 Unit 5 (2時間目/4時間) 『理恵の部屋をつくらう』 ペーシックバージョン

- 1 目標 文房具などの持ち物について、尋ねたり答えたりして伝える。
 2 新出単語・表現 相手に配属しながら文房具などの持ち物について尋ねたり答えたりしようとする。
 A: Do you have any markers? B: Yes, I do. / No, I don't.
 3 使用教材 scissors, stapler, magnet, sticker, marker, pencil sharpener
 4 展開 文房具フラッシュカードまたはコンテンツ、OD

時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it? What time is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant Song or Chant	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
10分	3 復習 Review ①練習ダイアログ復習 ②前時の復習 A: Do you have a pencil? B: Yes, I do. A: Do you have a pen? B: No, I don't.	・カードで復習する。 ・互いに会話、練習させる。 ・ALTとやってみせる。 T: Talk with three people, and sit down. ・児童と一緒に言う、励ます。	HRT can review by himself. If he/she wants to do by him/herself, please repeat after him. If he/she wants to show a demonstration with you, please help him/her.
15分	4 単語練習 Words scissors, stapler, magnet, sticker, marker, pencil sharpener 5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialog practice ①状況設定 A: Do you have (any) pens? B: Yes, I do. I have two pens. ②ダイアログ練習 ①リビート練習 ②教師がB役、児童がA役 ③教師がA役、児童がB役 6 アクティビティ Activity ①隣の人とペアで会話する。 ②3人と会話する。	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 A: Do you have (any) markers? B: Yes, I do. I have two pens. ※any をつけることより英語らしい表現になります。some でも大丈夫です。 ※児童が単語形や複数形を言い間違えても、強制しません。教師は、正しく言い換えます。 ・口頭練習させる。 T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. 児童と一緒に会話し、励ます。	Practice new words Help HRT to pronounce the new words. HRT can set the context and practice dialogue with the cards or the power point content by him/herself. Please help HRT if he/she needs. Please praise the students. Talk with many students. Praise students.
5分	7 アクティビティ 2 Activity 2 ①Yes 集め Do you have〜? 友だちに質問し、友だちがYesと答えたら1ポイント。 ②No 集め Do you have〜? 友だちがNoと答えたら1ポイント。	Do you have の後に他の単語を入れてもよいこととする。 A: Do you have スカート? B: Yes, I do. A: One point!	Demonstrate to the students how to pronounce the words. That's all for today! Good bye, everyone!
5分	8 次時以降の単語 Words desk, chair, bed, sofa, tution	次時の語彙を導入する。 あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!	

16

4年生 Unit 5 (2時間目/4時間)

発展バージョン

Do you have a pen? 『おすすめの文房具セットをつくろう』

1 目標 文房具などの持ち物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。

2 新出単語・表現 相手に配慮しながら文房具などの持ち物について尋ねたり答えたりしようとする。
A: Do you have any pencils? B: Yes, I do. / No, I don't.
A: How many pencils do you have? B: I have 5 pencils.
scissors, stapler, magnet, sticker, marker, pencil sharpener

3 使用教材 文房具フラッシュカードまたはコンテンツ、CD

4 展開

時	学習内容	HRT の動き	ALT の動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it? What time is it?	- 児童とあいさつをする。 - 互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
10分	3 復習 Review ①既習ダイアログ(復習) ②前時の復習 A: Do you have a pencil? B: Yes, I do. A: Do you have a pen? B: No, I don't.	- 互いに会話、練習させる。 - ALT とやってみせる。 T: Talk with three people, And sit down. - 児童と会話し、励ます。	Talk with many students. Praise students.
15分	4 単語練習 Words: scissors, stapler, magnet, sticker, marker, pencil sharpener 5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialog practice ①状況設定 A: Do you have (any) pencils? B: Yes, I do. I have five pencils. ②ダイアログ練習 ①リビート練習 ②教師がB役、児童がA役 ③教師がA役、児童がB役 6 アクティビティ Activity 3人と会話する。 ②ダイアログ練習 ①リビート練習 ②教師がB役、児童がA役 ③教師がA役、児童がB役	2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 - A: Do you have (any) pencils? B: Yes, I do. I have five pencils. ①状況設定 単身枚や複数枚を言い間違えても、強制しません。 教師は、正しく言い接えます。 ②頭練習させる。 T: Make pairs. Talk with three people. ・児童と会話し、励ます。 - A: Do you have any pencils? B: Yes, I do. I have two pencils. A: One pencil, please. A: B: Rock, scissors, paper, 1,2,3! (A勝ち) B: Here you are. A: Thank you.役割交代。	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students.
5分	7 アクティビティ 2 カード集め 全員カードを3枚ずつもち、互いに聞き合いながら、カードを集める		Demonstrate to the students how to pronounce the words. Say good-bye to students.
5分	8 次の時の単語 Words 兄弟、姉妹 brother, sister	児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Demonstrate to the students how to pronounce the words. Say good-bye to students.

17

4年生 Unit 5 (3時間目/4時間)

ページバージョン

Do you have a desk? 『理社の部屋をつくろう』

1 目標 持っているものの数を尋ねたり答えたりして伝え合う。
How many chairs do you have? I have two (chairs).
2 新出単語・表現 歌やチャンツのCD、単語 (desk, chair, bed, sofa, futon) のフラッシュカードやコンテンツ
3 使用教材 状況設定のフラッシュカードまたはコンテンツ
4 展開

時	学習内容	HRT の動き	ALT の動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it? What time is it?	- 児童とあいさつをする。 - 互いに会話をさせる。 ※始め方は工夫してください。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
10分	3 復習 Review ① A: Do you have a pencil? B: Yes, I do. / No, I don't. ② A: Do you have (any) pens? B: Yes, I do. / No, I don't.	- 前時に使ったカードで復習させる。 - ALT とやってみせてもよい。 T: Talk with three people. And sit down. 児童と会話し、励ます。	HRT can review by himself. If he/she wants to do by him/herself, please repeat after him. If he/she wants to show a demonstration with you, please help him/her.
15分	4 単語練習 Words desk, chair, bed, sofa, futon 5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialog practice ①状況設定 A: Do you have any chairs? B: Yes, I do. A: How many chairs do you have? B: I have two chairs. ②ダイアログ練習 ①リビート練習 ②教師がA役、児童がB役 ③教師がB役、児童がA役 6 アクティビティ Activity ①隣の人とペアで会話する ②3人と会話する 7 会話をつなげる Long talk A: Do you have any chairs? B: Yes, I do. A: How many chairs do you have? B: I have two chairs.	2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 - どの様な状況での会話なのかを見せる。 部屋の写真、イラストなどを見せながら A: Do you have any chairs? B: Yes, I do. A: How many chairs do you have? B: I have two chairs. ・口頭練習させる。 T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. ・児童と一緒に言う、励ます。 A: How many chairs do you have? B: I have two (chairs).	Practice new words Help HRT to pronounce the new words. HRT can set the context and practice dialogue with the cards or the power point content by him/herself. Please help HRT if he/she needs. Talk to the students and praise the students.
5分	8 発表 Challenge time	A: Do you have any futons? B: No, I don't. A: Do you have any beds? B: Yes, I do. A: How many beds do you have?	Demonstrate to the students how to pronounce the sentence. Talk with many students. Praise students.
5分		つなげた会話を数組のペアに発表させ、ほめる。 あいさつをして終わりにする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Say good-bye to students.

17

4年生 Unit5 (3時間目/4時間)
Do you have a pen? 『おすすめの文房具セットをつくろう』

発展バージョン

- 1 目標 兄弟について、尋ねたり答えたりして伝え合う。
2 新出単語・表現 A: Do you have any brothers?
B: Yes, I do. / No, I don't.
A: How many brothers?
brother, sister, cousin
兄弟/姉妹フラッシュカードまたはコンテンツ、OD
3 使用教材
4 展開

時	学習内容	HRT の動き	ALT の動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it? What time is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Praise students. Sing with students.
10分	3 復習 Review ① A: Do you have a pencil? B: Yes, I do. / No, I don't. ② A: Do you have any pencils? B: Yes, I do. / No, I don't.	・互いに会話、練習させる。 ・ALT とやってみせる。 T: Talk with three people, And sit down. ・児童と会話し、励ます。	Review Talk with the students and praise them.
15分	4 単語練習 Words brother, sister, cousin 5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialog practice (1)状況設定	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 A: Do you have any brothers? B: Yes, I do. A: How many brothers do you have? B: I have two brothers. A: How many brothers do you have? B: I have two. ・口頭練習させる。 T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. ・児童と会話し、励ます。	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students.
5分	(2)ダイアログ練習 ①リビート練習 ②教師がA役、子どもがB役 ③教師がB役、子どもがA役 6 アクティビティ Activity (1)藏の人とペアで会話を ②3人と会話する 7 会話をつなげる Long talk	A: Do you have any brothers? B: Yes, I do. A: How many brothers do you have? B: I have two brothers. A: Do you have any brothers? B: No, I don't. A: Do you have any sisters? B: Yes, I do. A: How many sisters do you have? B: I have two brothers.	Demonstrate with HRT. Demonstrate to the students how to pronounce the sentence. Talk with many students. Praise students. Say good-bye to students.
5分	8 ふりかえり	口頭で感想を言わせる。 That's all for today! Good bye, everyone!	

18

4年生 Unit5 (4時間目/4時間)
Do you have a desk? 『理想の部屋をつくろう』

ベシックバージョン

- 1 目標 理想の部屋を作るために、英語で交流する。
2 新出単語・表現 TV, computer, clock
3 使用教材 単語フラッシュカードまたはコンテンツ (TV, computer, clock)
4 展開

時	学習内容	HRT の動き	ALT の動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it? What time is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
5分	3 復習 Review ① A: Do you have any sofas? B: Yes, I do. / No, I don't. ② A: Do you have any sofas? B: Yes, I do. A: How many sofas do you have? B: I have two.	・互いに会話、練習させる。 ・ALT とやってみせる。 T: Talk with three people, and sit down. ・児童と会話し、ほめる。	HRT can review by himself, if he/she wants to do by him/herself, please repeat after him. If he/she wants to show a demonstration with you, please help him/her.
25分	4 単語練習 Words TV, computer, clock 5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialog practice (1)状況設定 教師の英語を聞く (2)ダイアログ練習 ①繰り返し練習 ②教師がA,児童がB ③教師がB,児童がA 6 アクティビティ Activity 理想の部屋を作ろう Bチームが、紙をもつ。Aチームはもらう。(3分程度) 交代。Aチームが紙をもつ。Bチームがもらう。(3分程度)	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。※やりとり、コンテンツなど 状況設定 A: Do you have any chairs? B: Yes, I do. A: How many chairs do you have? B: I have two chairs. A: One chair, please. B: Here you are. A: Thank you. ・口頭練習させる。 T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. ・児童と会話し、ほめる。 アクティビティ。会話を聞かせる。 A: Do you have any sofas? B: Yes, I do. A: How many sofas do you have? B: I have two sofas. A: One sofa, please. B: Here you are. もらったものを、のりなどでワークシートに貼る。ラベルシールに印刷するそのまま貼れます。 ※時間があったら、発表できます。 I have a sofa, I have two chairs, I have one clock. This is my room! ※色をぬってもよいです。	Practice new words Help HRT to pronounce the new words. HRT can set the context and practice dialogue with the cards or the power point content by him/herself. Please help HRT if he/she needs. Talk to the students and praise the students. Show a demonstration of the activity.
5分	8 ふりかえり Reflection	単元のふりかえりをする。 ・児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Say good-bye to students.

20

4年生 Unit 6 (2時間目/3時間)

Alphabet 『アルファベットで文字遊びをしよう』

1 目標 2 新出単語・表現 3 使用教材 4 展開	アルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。 A: How many letters? B: 5 letters. letter, donut, coffee, juice, taxi, popcorn, news / Hint please. / Try again. 英辞英単語カード、看板 (サイン) フラッシュカードまたはコンテンツ、CD		
時	学習内容	HRT の動き	ALT の動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it? What time is it?	- 児童とあいさつをする。 - 互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
10分	3 復習 Review (1) 既習ダイアローグ復習 (2) アルファベットの復習※英辞英単語カード (3) 前時の復習 A: What's this? B: It's "Book store".	- 互いに会話、練習させる。 - ALT とやって見せる。 T: Talk with three people, And sit down. - 児童と会話し、励ます。	Talk with many students. Praise students.
15分	4 単語練習 Words donut, coffee, juice, taxi, popcorn, news	2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words.
三	5 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice (1) 状況設定 A: How many letters? B: 5 letters.	- どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALT とのやりとり、コンテンツなど - 口頭練習させる。 T: Make pairs Talk and sit down. T: Talk with three people. - 児童と会話し、励ます。	(Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students.
5分	6 アクティビティ Activity 3人と会話する。 7 会話をつなげる Long talk イラストカードを持ち、自分の持っているカードについて、相手に尋ねる。	やり方を見せる。 どんな質問をすれば、答えが分かるかを、子どもたちに考えさせるといひです。	Demonstrate with HRT. Demonstrate to the students how to pronounce the sentence. Talk with many students. Praise students.
5分	8 歌またはチャンツ Song or Chant アルファベットソングや、ABCステップなどを歌う。	apple にあるアルファベットの時にはジャンプする、など、エ失して歌うとよい。 ・児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!!	Say good-bye to students.

21

4年生 Unit 6 (3時間目/3時間)

Alphabet 『アルファベットで文字遊びをしよう』

時	学習内容	HRT の動き	ALT の動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it? What time is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
10分	3 復習 Review (1) 既習ダイアローグ復習※英辞英単語カード A: What's this? B: Donut? A: No. Try again. B: How many letters? A: 5 letters. B: It's "juice". A: No. B: Hint please. A: It's red/ sweet/ a fruit. B: It's "apple". A: That's right!	・互いに会話、練習させる。 ・ALT とやって見せる。 T: Talk with three people, And sit down. ・児童と会話し、励ます。。	Talk with many students. Praise students.
15分	4 単語練習 Words street, open, closed, sale, off 5 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice (1) 状況設定 A: How do you spell? B: "a • p • p • l • e". (2) ダイアローグ練習 ① 答え方練習 ② 尋ね方練習 ③ ペア練習 6 アクティビティ Activity 7 会話をつなげる Long talk イラストカードを持ち、自分の持っているカードについて、相手に尋ねる。	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALT とのやりとり、コンテンツなど ・口頭練習させる。 T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. ・児童と会話し、励ます。。 ・やり方を見せる。 A: What's this? B: Donut? A: No. Try again. B: How many letters? A: 5 letters. B: It's "juice". A: No. B: Hint please. A: It's red/ sweet/ a fruit. B: Do you have "a"? A: Yes, I do. B: How do you spell (in apple)? A: "a • p • p • l • e". B: It's "apple". A: That's right!	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students. Demonstrate with HRT. Demonstrate to the students how to pronounce the sentence. Talk with many students. Praise students.
5分	8 ふりかえり Reflection	・3つのポイントが出来ていたか手を上げさせ確認する。 ・児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!!	Say good-bye to students.

どんな場面でも、答えさせます。
 ・What's this?と会話がスタートしたら、どの質問から尋ねてもよいです。
 ・全ての質問をこなすなくても、答えが出る場合もあります。

- 1 目標 食材の言い方や欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。
- 2 新出単語・表現 A: Do you want mushrooms? B: Yes, I do. / No, I don't.
potato, cabbage, corn, cherry,
- 3 使用教材 食材フラッシュカードまたはコンテンツ、CD
- 4 展開 ※本題に続いて、パワエトリ、フルーツポンチ作りなどを最終目標に定めて、いくつかの

時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it? What time is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant or Chant	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
10分	3 復習をする。 Review A: Do you like dogs? B: Yes, I do. A: Do you have any dogs? B: Yes, I do. A: How many dogs do you have? B: I have three dogs.		HRT can review by himself. If he/she wants to do by him/herself, please repeat after him. If he/she wants to show a demonstration with you, please help him/her.
20分	4 単語練習 Words potato, cabbage, corn, carrot, onion, 5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialog practice ①状況設定	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。※ALTとのやりとり、コンテツなど状況設定 カレーを作っている A: Do you like pork curry? B: Yes, I do. A: Do you want carrots? B: Yes, I do.	Practice new words Help HRT to pronounce the new words. HRT can set the context and practice dialogue with the cards or the power point content by him/herself. Please help HRT if he/she needs.
構成 3分	②ダイアログ練習 ① リピート練習 ② 教師がA役、児童がB役 ③ 教師がB役、児童がA役		Talk to the students and praise the students.
5分	6 アクティビティ Activity ①隣の人とペアで会話をする。 ②3人と会話をする。	□頭練習させる。 T. Make pairs. Talk and sit down. T. Talk with three people. ・児童と会話し、励ます。。	
5分	7 次時の単語 Words 食材: meat, chicken, pork, beef	・フラッシュカードやかるたなどでリズム・テンポよく復習させる。 ・児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!!	Demonstrate to the students how to pronounce the words.

- 1 目標
- 2 新出単語・表現
欲しい食材などを尋ねたり要求したりすることができる。
A: What do you want? B: I want carrots, meat, chicken, pork, beef, fish, egg
- 3 使用教材
食材フロッピーカードまたはコンテンツ、CD 展開

時	学習内容	HRT の動き	ALT の動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What day is it? What time is it?	- 児童とあいさつをする。 - 互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
10分	3 復習 Review A: Do you like pork curry? B: Yes, I do. A: Do you want carrots? B: No, I don't. A: Do you want potatoes? B: Yes, I do.	- 互いに会話、練習させる。 - ALT とやって見せる。 T: Talk with three people, and sit down. - 児童と会話し、励ます。	HRT can review by himself. If he/she wants to do by him/herself, please repeat after him. If he/she wants to show a demonstration with you, please help him/her.
15分	4 単語練習 Words meat, chicken, pork, beef,	2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 - どの様な状況での会話なのかを見せる。	Practice new words the new words.
三構成法	5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialog practice (1)状況設定 (2)ダイアログ練習 ① 答え方練習 ② 尋ね方練習 ③ パート練習	A: Do you like pork curry? B: Yes, I do. A: Do you want carrots? B: No, I don't. A: What do you want? B: I want potatoes. A: What do you want? B: I want potatoes. T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. 児童と会話し、励ます。	HRT can set the context and practice dialogue with the cards or the power point content by him/herself. Please help HRT if he/she needs. Talk to the students and praise the students.
5分	6 アクティビティ Activity (1)隣のひととペアで会話をする。 (2)3人と会話をする。 7 次時の単語 Long talk cherries, grapes, apples, bananas, peaches	単語練習をしたあとに、つなげる。 A: Let's eat dessert. B: What do you want? A: I want peaches. B: Nice.	Demonstrate with the students how to pronounce the sentence. Talk with many students. Praise students.
5分	8 歌またはチャンツ Song or Chant	児童とあいさつをつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!!	Say good-bye to the students.

- 1 目標 相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。

2 新出単語・表現 A: How many do you want? B: I want three.

3 使用教材 cherry, pineapple, peach, orange, grape, kiwi fruit

4 展開 フルーツ・教科フラッシュカードまたはコンテンツ、CD

時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What time is it?	- 児童とあいさつをする。 - 互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant Chant or Chant	教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
5分	3 復習 Review A: Do you like pork curry? B: Yes, I do. A: Do you want carrots? B: No, I don't. A: What do you want? B: I want potatoes.	- 互いに会話、練習させる。 - ALTとやって見せる。 T: Talk with three people, and sit down. - 児童と会話し、励ます。	HRT can review by himself. If he/she wants to do by him/herself, please repeat after him. If he/she wants to show a demonstration with you, please help him/her.
10分 三構成 法	4 単語練習 Words cherry, pineapple, peach, orange, grape, kiwi fruit 5 状況設定とダイアログ練習 Dialog practice (1)状況設定 A: How many do you want? B: I want two potatoes. (2)ダイアログ練習 ① 答え方練習 ② 尋ね方練習 ③ ペア練習	2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 - どの様な状況での会話なのかを見せる。※ALTとのやりとり、コンテンツなど - A: Do you want carrots? B: No, I don't. - A: What do you want? B: I want potatoes. - A: How many do you want? B: I want two potatoes. - 口頭練習させる。 - A: How many do you want? B: I want two potatoes. - T: Make pairs. - Talk and sit down. - T: Talk with three people. - 児童と会話し、励ます。	HRT can set the context and practice dialogue with the cards or the power point content by him/herself. Please help HRT if he/she needs. Talk to the students and praise the students.
15分	6 会話をつなげてアクティビティ カレーを作ろう (ワークシート 使用)	やり方を見せる。	Make curry on the worksheet. Show a demonstration with HRT.
5分	A: Do you want carrots? B: No, I don't. A: What do you want? B: I want potatoes. A: How many do you want? B: I want two. A: Let's eat dessert. B: What do you want? A: I want grapes. B: Nice. ※This is my beef curry.など発表もできます。 ※3つのポイントが出来ていたか手を上げさせ確認する。	勇躍 A: Do you want carrots? B: No, I don't. A: What do you want? B: I want potatoes. A: How many do you want? B: I want two. A: Let's eat dessert. B: What do you want? A: I want grapes. B: Nice.	Say good-bye to students. for today! Good bye, everyone!!

- 1 目標 世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、教科名や教室名の使い方に慣れ親しむ。

2 新出単語・表現 A: Let's go to the music room. B: Yes, let's go.

3 使用教材 music/ science/ art and crafts/ room, classroom, cooking room, computer room

4 展開 部屋フラッシュカードまたはコンテンツ、CD

時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What time is it?	- 児童とあいさつをする。 - 互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
10分 三構成 法	3 復習 Review (1)既習ダイアログ復習 (2)前時の復習 A: What do you want? B: I want grapes. A: Do you want cherries? B: Yes, I do. / No, I don't. A: How many do you want? B: I want 3. A: Here you are. B: Thank you. A: You're welcome. 4 単語練習 Words music/ science/ art and crafts/ room, classroom, cooking room, computer room 5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialog practice (1)状況設定 A: Let's go to the music room. B: Yes, let's go. (2)ダイアログ練習 ① 答え方練習 ② 尋ね方練習 ③ ペア練習	- 互いに会話、練習させる。 - ALTとやって見せる。 T: Talk with three people, And sit down. - 児童と会話し、励ます。	Talk with many students. Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students.
5分	6 アクティビティ Activity (1)隣の人とペアで会話する。 (2)3人と会話する。 7 次の単語 Words entrance, library, gym, playground boy's room, girl's room	児童を増やす。	Demonstrate to the students how to pronounce the alphabets. Say good-bye to students.
5分	8 ゲーム	単語を使って、キーワードゲームをする。 - 児童とあいさつをする。 - That's all for today! Good bye, everyone!!	Say good-bye to students.

26 4年生 Unit 8 (2時間目/4時間) This is my favorite place. 『お気に入りの場所をしようかいしよう』			
1 目標	自分が気に入っている校内の場所に入ったり、その場所について自分の考えを伝え合ったりする。 A: Go straight. Turn right. Turn left. B: OK. A: Here is the music room. Go straight. Turn right. Turn left. 方向・部屋フラッシュカードまたはコンテンツ、CD		
2 新出単語・表現			
3 使用教材			
4 展開			
時	学習内容	HRT の動き	ALT の動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What time is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
10分	3 復習 Review (1) 既習ダイアローグ復習 (2) 前時の復習 A: Let's go to the music room. B: Yes, let's go.	・互いに会話、練習させる。 ・ALTとやってみせる。 T: Talk with three people. And sit down. ・児童と会話し、励ます。	Talk with many students. Praise students.
20分	4 単語練習 Words Go straight. Turn right. Turn left.	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。	Praise students.
三構成	5 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice (1) 状況設定 A: Go straight. Turn right. Turn left. Go up. Go down. B: OK. A: Here is the music room. This is my favorite place. (2) ダイアローグ練習 ① 答え方練習 ② 尋ね方練習 ③ ペア練習 6 ゲーム 英語を聞いて、方向転換しよう 7 アクティビティ Activity 道案内をしよう 8 次時の準備 Words teacher's office, principal's office, nurse's office, go up, go down	フラッシュカードでの練習後、実態に立たせて、動かして、練習させると覚えやすくなります。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALTとのやりとり、コンテンツなど ・口頭練習させる。 T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. ・児童と会話し、励ます。 T: Turn left 児童はその場で左に向く。 T: Turn right 児童はその場で右に向く。 児童はその場で右に向く。 目をつぶって行ってよい。 児童の机やロッカーなどに、教室名を書いたカードを置く。 ペアになり、案内をさせる。 ・語彙を増やす。 ・児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!!	Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students. Help HRT to practice new words.
5分			

27 4年生 Unit 8 (3時間目/4時間) This is my favorite place. 『お気に入りの場所をしようかいしよう』			
1 目標	相手に配慮しながら、自分が気に入っている校内の場所について、伝えようとする。 A: Go straight. Turn right. Turn left. Go up. Go down. B: OK. A: This is my favorite place. Go up. Go down, favorite, place 方向・部屋フラッシュカードまたはコンテンツ、CD		
2 新出単語・表現			
3 使用教材			
4 展開			
時	学習内容	HRT の動き	ALT の動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What time is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
10分	3 復習 Review (1) 既習ダイアローグ復習 (2) 前時の復習 A: Let's go to the music room. B: Yes, let's go.	・互いに会話、練習させる。 ・ALTとやってみせる。 T: Talk with three people. And sit down. ・児童と会話し、励ます。	Talk with many students. Praise students.
15分	4 単語練習 Words go up, go down, favorite, place 5 状況設定とダイアローグ練習 Setting the context and Dialog practice (1) 状況設定 A: Go straight. Turn right. Turn left. Go up. Go down. B: OK. A: Here is the music room. This is my favorite place. (2) ダイアローグ練習 ① 答え方練習 ② 尋ね方練習 ③ ペア練習 6 アクティビティ Activity ペア活動。教室のかべに各教室の絵カードを貼り、自分のお気に入りの場所に入りの場所に入る。	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALTとのやりとり、コンテンツなど "like" ♡ ♡ ♡ ♡ No.1 "favorite" ♡ ♡ ♡ ♡ No.1 など、イラストでイメージを示すと、分かりやすくなります。 ・口頭練習させる。 T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. ・児童と会話し、励ます。 A: Go straight. Turn left. right B: OK (動く) A: Here is the music room. This is my favorite place. 役割交代 A: Go straight. Turn left. right B: OK (動く) A: Here is the music room. This is my favorite place. B: Why? A: Because I like drums. 発表したペアをほめる。 ・児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!!	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the alphabets. Say good-bye to students.
5分	7 つなげる お気に入りの理由を聞き、会話を続ける。		
5分	8 発表 Challenge time 数組のペアに発表させる。		

28		4年生 Unit 8 (4時間目/4時間)		This is my favorite place. 『お気に入りの場所をしようかいしよう』	
1 目標 相手に配慮しながら、自分が気に入っている校内の場所について、自分の考えも含めて伝えようとする。					
2 新出単語・表現 A: Why? B: Because I like music.					
3 使用教材 教科フラッシュカードまたはコンテンツ、CD					
4 展開					
時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き		
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What time is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.		
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.		
10分	3 復習 Review ①既習ダイアログ復習 ②前時の復習 A: Go straight. Turn right. Turn left. B: OK. A: Here is the music room. This is my favorite place.	・互いに会話、練習させる。 ・ALTとやって見せる。 T: Talk with three people, and sit down. ・児童と会話し、励ます。 ・歩く真似でよい。	Talk with many students. Praise students.		
15分	4 単語練習 Words home economics 復習: music, science, art and crafts, P.E. I like P.E. 5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialog practice ①状況設定 A: (音楽室の絵カードを指して) This is my favorite place. B: Why? A: Because I like music. Do you like music? B: Yes, I do. ②ダイアログ練習 ① 答え方練習 ② 尋ね方練習 ③ ペア練習 6 アクティビティ Activity 学校の地図などを用いて、道案内をする。	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALTとのやりとり、コンテンツなど ・口頭練習させる。 T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. ・児童と会話し、励ます。 A: Go straight, turn right... B: (言われた通り、地図の上で消しゴムを動かす。) A: Here is the gym. This is my favorite place. B: Why? A: Because I like 跳び箱。 Do you like 跳び箱? B: Yes, I do. A: Let's go to the library. B: OK. A: Go straight... B: Here is the library. (6と同様)	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students.		
5分	7 つなげる ペアを変え、Let's go to~, をつけて、会話を続ける。 8 ふりかえり Reflection	児童とあいさつをする。 That's all for today! bye, everyone!	Say good-bye to students.		

29

4年生 Unit 9 (1時間目/4時間)

This is my day. ～ Good Morning. ～ 『ぼく・わたしの一日』

世界の同年代の子供たちの共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、日課を表す表現に慣れ親しむ。

2 新出単語・表現

A: What do you do in the morning?

B: I wash my face / brush my teeth / comb my hair.

動詞フラッシュカードまたはコンテンツ、CD、かるた、絵本 (DVD)

4 展開

時	学習内容	HRTの動き	ALTの動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What time is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
10分	3 復習 Review ①既習ダイアログ復習 ②前時の復習 A: Here is the music room. This is my favorite place. B: Why? A: Because I like music.	・互いに会話、練習させる。 ・ALTとやって見せる。	Talk with many students. Praise students.

20分

単語練習 Words

morning
wash my face/ brush my teeth/ comb my hair

5 状況設定とダイアログ練習

Setting the context and Dialog practice
①状況設定
絵本の読み聞かせ

A: What do you do in the morning?

B: I wash my face.

②ダイアログ練習

① 答え方練習

② 尋ね方練習

③ ペア練習

6 ゲーム (かるた) Cards game

児童: What do you do in the morning?

教師: I wash my face.

7 アクティビティ Activity

ジェスチャーをしながら会話をさせる。

5分 発表 Challenge time

・テンポよく練習させる。

朝/昼/夜、行こう、など。
単語は、カテゴリー分けして提示すると、取り組みやすくなります。

・絵本を使って、状況を理解させる。

絵本だけでは状況設定が十分ではないので、教師がジェスチャーをつけて英語を再度聞かせる。

T: Make pairs.

Talk and sit down.

T: Talk with three people.

・児童と会話し、励ます。

①ペアで対決

②3人組。1人が単語を答え、2人が札を取る。

A: What do you do in the morning?

B: I eat 納豆。

数組のペアに発表させ、ほめる。

・児童とあいさつをする。

That's all for today!

Good bye, everyone!!

Praise students.
Demonstrate to the students how to pronounce the words.

Talk with many students.
Praise students.

Help the students.

Say good-bye to students.

34 4年生 Unit10 (2時間目/3時間)
Welcome to Ogasawara. 『ようこそ小笠原へ』

1 目標 小笠原の文化や食べ物、観光地について伝え合う。

2 新出単語・表現 A: What do you want to do?
B: I want to see ogasawarakomori/go ~.
観光地や動植物

3 使用教材 観光地・動物フラッシュカードまたはコンテンツ、CD

4 展開

時	学習内容	HRT の動き	ALT の動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What time is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。	Sing with students.
10分	3 復習 Review (1)既習ダイアログ復習 (2)即時の復習 A: What do you want to do? B: I want to go diving.	・互いに会話、練習させる。 ・ALT とやってみせる。 T: Talk with three people. And sit down. ・児童と会話し、励ます。	Talk with many students. Praise students.
15分	4 単語練習 Words アカボクサ、グリーンアノール、島オクラ、黒レモン、オガサワラコウモリ、オガサワラハンミョウ、島菜、など。 eat, see, go 観光地	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 子どもたちの身近な単語を漢字と書いて。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALT とのやりとり、コンテンツなど ・口頭練習させる	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.)
3構成法	5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialog practice (1)状況設定 A: What do you want to do? B: I want to see ogasawarakomori/go ~. (2)ダイアログ練習 6 アクティビティ Activity (1)隣の人とペアで会話する。 (2)3人と会話する。 A: Welcome to Ogasawara! What do you want to do? B: I want to see ogasawarakomori/go ~. 7 小笠原の特産物紹介 ~Where is the sightseeing spot in Ogasawara~ I want to eat~.	T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. ・児童と会話し、励ます。	Talk with many students. Praise students.
5分	8 会話を続ける Long talk	小笠原の観光名所や、特産物について、子どもたちに、考えさせます。 習った表現を用いて、会話を続けさせる。 ・児童とあいさつをする。 That's all for today! Good bye, everyone!	Praise students. Say good-bye to students.

35 4年生 Unit10 (3時間目/3時間)
Welcome to Ogasawara. 『ようこそ小笠原へ』

1 目標 相手に小笠原の良さが分かるよう伝える。

2 新出単語・表現 A: What do you want to do?
B: I want to eat shimazushi.
料理・特産物

3 使用教材 料理・特産物フラッシュカードまたはコンテンツ、CD

4 展開

時	学習内容	HRT の動き	ALT の動き
5分	1 あいさつ Greeting How are you? How is the weather? What time is it?	・児童とあいさつをする。 ・互いに会話をさせる。	Greet students. Talk with many students. Praise students.
5分	2 歌またはチャンツ Song or Chant	・教師が率先して歌い、楽しい雰囲気を作る。 ・互いに会話、練習させる。 ・ALT とやってみせる。 T: Talk with three people. And sit down. ・児童と会話し、励ます。	Sing with students. Talk with many students. Praise students.
10分	3 復習 Review (1)既習ダイアログ復習 (2)即時の復習 A: What do you want to do? B: I want to see ogasawarakomori/go ~.		
15分	4 単語練習 Words eat 料理・特産物	・2回→1回→0回で、リズム・テンポよく練習させる。 子どもたちの身近な単語を漢字と書いて。 ・どの様な状況での会話なのかを見せる。 ※ALT とのやりとり、コンテンツなど ・口頭練習させる。	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.)
3構成法	5 状況設定とダイアログ練習 Setting the context and Dialog practice (1)状況設定 A: What do you want to do? B: I want to eat shimazushi. (2)ダイアログ練習 ① 答え方練習 ② 尋ね方練習 ③ ペア練習 6 アクティビティ Activity 3人と会話する。 A: Welcome to Ogasawara! What do you want to do? B: I want to eat shimazushi.	T: Make pairs. Talk and sit down. T: Talk with three people. ・児童と会話し、励ます。	Talk with many students. Praise student S is.
5分	7 会話を続ける Long talk	A: Welcome to Ogasawara! My name is Suzuki. Nice to meet you. B: My name is Mike. Nice to meet you, too. A: Where are you from? B: I'm from America. A: What do you want to do? B: I want to go diving / see ogasawarakomori/go to~ /eat shimazushi. A: Let's go diving. B: Nice! どのように良さを伝えるかを、子どもたちに考えさせます。 例： 姿勢、声、笑顔、言葉、実物を示せる、など。	Praise students. Demonstrate to the students how to pronounce the words. (Demonstrate with HRT.) Talk with many students. Praise students. Say good-bye to students.
5分	8 発表 Challenge time	数組のペアに発表させる。 ・児童とあいさつをする。That's all for today! Good bye, everyone!	

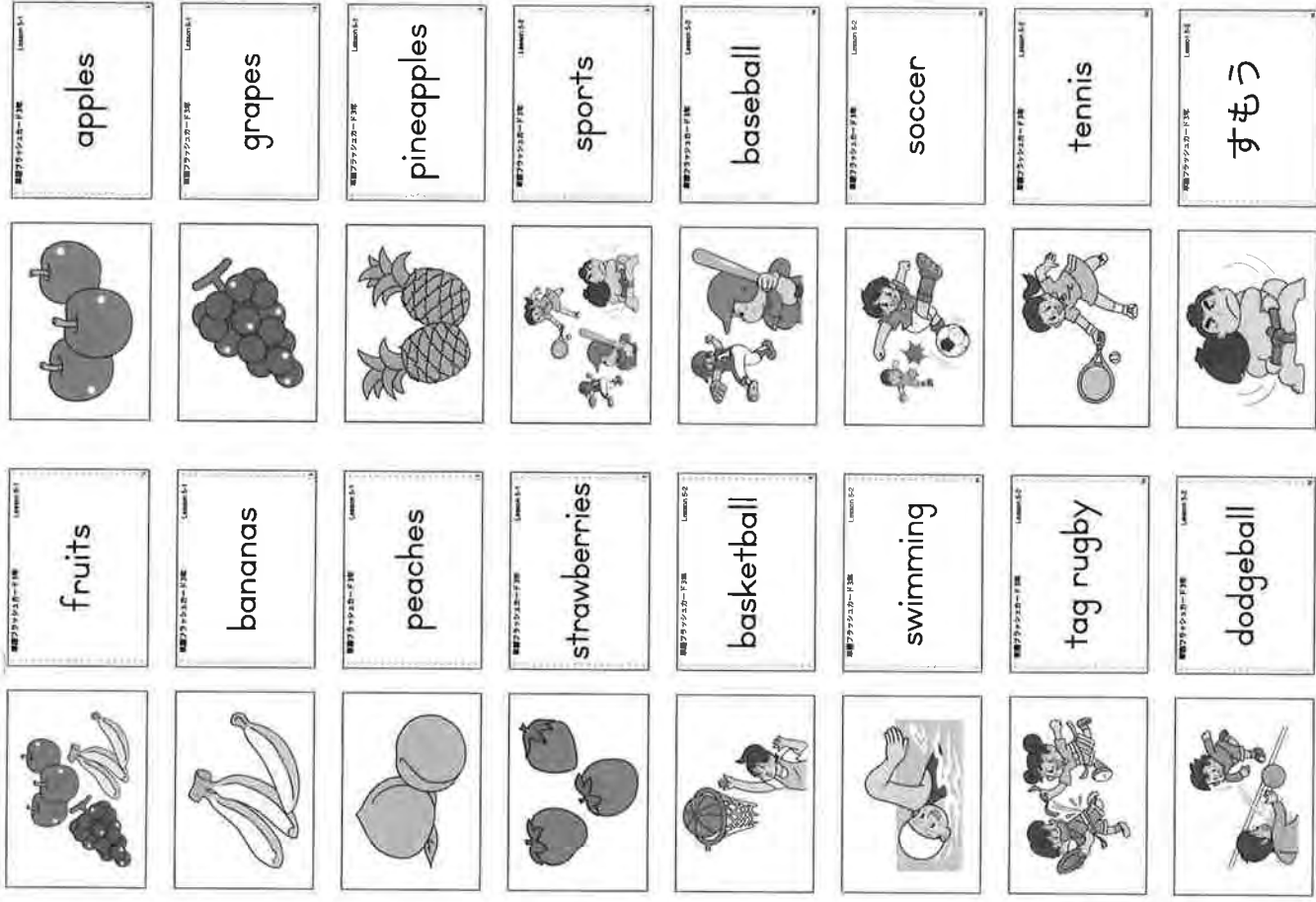
単語フラッシュカード (3 年) 状況設定フラッシュカード (3 年)

番号	Unit	単語
1		fruits
2		apples
3		bananas
4	5-1	grapes
5		oranges
6		pineapples
7		strawberries
8		sports
9		basketball
10		baseball
11	5-2	swimming
12		soccer
13		tennis
14		volleyball
15		dodgeball
16		sumo
17		japanese food
18		sushi
19		udon
20	5-3①	tempura
21		onigiri
22		teriyaki
23		oden
24		japanese culture
25		kimono
26		kyozukue
27	5-3②	kenkan
28		百人一首
29		着物
30		あやとり
31		ふうせん
32		water
33	7-①	green tea
34		tea
35		juice
36		coffee
37		hot
38	7-②	cold
39		thirsty
40		hungry
41		fat
42		water
43	7-2	おき水
44		heater
45		jacket
46		つかいずてカイロ
47		star
48		heart
49		circle
50	7-3	diamond
51		square
52		triangle
53		rectangle
54		big small
55		animals
56		dog
57	7-4	cat
58		hamster
59		lion
60		panda
61		rabbit
62		bear

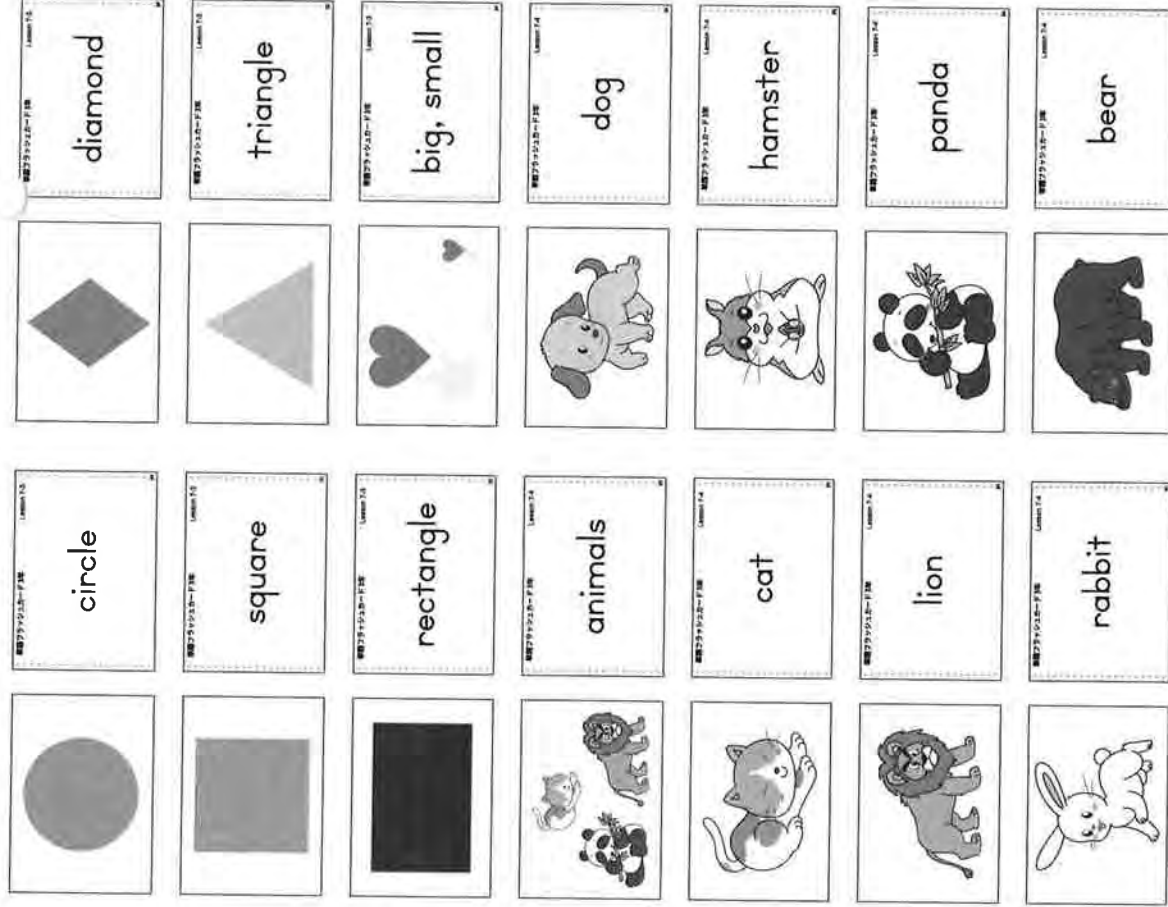
番号	Unit	単語
1		apples, bananas, grapes, snowapples, strawberries, peaches
2		What fruits do you like?
3	5-1	I like bananas.
4		What fruits do you like?
5		I like apples.
6		ダイアローグまとめ
7		basketball, baseball, swimming, soccer, tag, rugby, tennis, dodgeball, sumo
8		Do you like sports?
9		Yes, I do.
10	5-2	What sports do you like?
11		I like soccer.
12		Do you like soccer?
13		Yes, I do.
14		ダイアローグまとめ
15		すし, うどん, そば, おにぎり, 天ぷら, おでん
16		Do you like Japanese food?
17		Yes, I do.
18	5-3	What Japanese food do you like?
19		I like sushi.
20		Let's eat sushi.
21		OK.
22		ダイアローグまとめ
23		Do you like sports?
24		Yes, I do.
25	5-4	What sport do you like?
26		I like soccer.
27		Do you have a soccer ball?
28		Yes, I do.
29		No, I don't.
30		ダイアローグまとめ
31		hotter, green tea, tea, juice, coffee
32		How are you?
33		I'm thirsty.
34		Do you want water?
35		Yes, I do.
36		Here you are.
37	7-1	Thank you.
38		How are you?
39		I'm hungry.
40		Do you want orange?
41		Yes, I do.
42		Here you are.
43		Thank you.
44		ダイアローグまとめ
45		hot, cold, fan, water, かき氷, stove, jacket, つかいずてカイロ, hamburger
46		How are you?
47		I'm hot.
48	7-2	What do you want?
49		A fan, please.
50		Here you are.
51		Thank you.
52		ダイアローグまとめ
53		heart, star, circle, square, diamond, rectangle, triangle
54		What do you want?
55		A heart, please.
56	7-3	Big or small?
57		Big, please.
58		Here you are.
59		Thank you.
60		ダイアローグまとめ
61		dog, cat, hamster, lion, panda, mouse, bear
62		Do you like animals?
63	7-4	Yes, I do.
64		What animals do you like?
65		I like dogs.
66		Do you have a dog?
67		No, I don't.
68		Do you want a dog?
69		Yes, I do.
70		ダイアローグまとめ

5. 教材 (3 年生)

番号	Unit	単語
1	5-1	apples
2		bananas
3		grapes
4		peaches
5		pineapples
6		strawberries
7	5-2	basketball
8		baseball
9		swimming
10		soccer
11		tag rugby
12		tennis
13	5-3	dodgeball
14		すもも
15		すし
16		そば
17		うどん
18		おにぎり
19	7-1	天ぷら
20		おでん
21		佃煮
22		梅干
23		けんだま
24		百人一首
25	7-2	漬物
26		あやとり
27		ふうりん
28		water
29		green tea
30		tea
31	7-3	juice
32		coffee
33		hot
34		cold
35		thirsty
36		hungry
37	7-4	fan
38		water
39		かき水
40		heater
41		jacket
42		つかいすてカイロ
43	7-5	star
44		heart
45		circle
46		diamond
47		square
48		triangle
49	7-6	rectangle
50		big
51		small
52		dog
53		cat
54		hamster
55	7-7	lion
56		panda
57		rabbit
58		bear

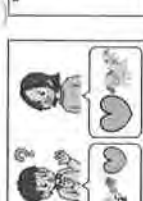
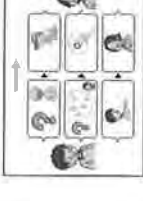
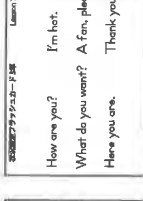
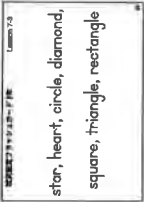
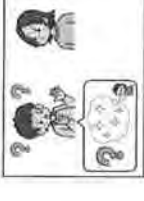
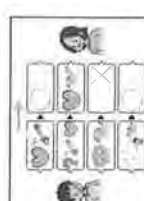
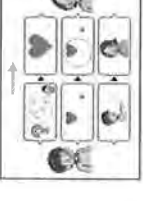
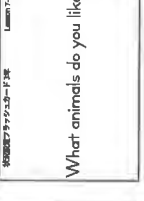


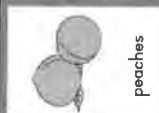
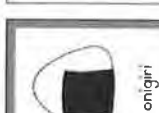


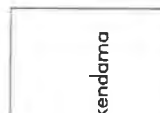
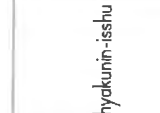
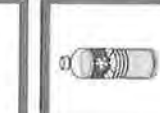
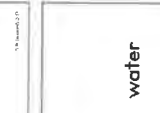
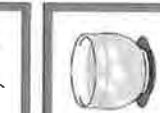
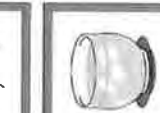
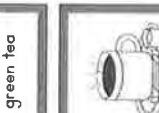
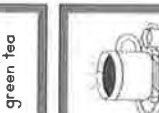


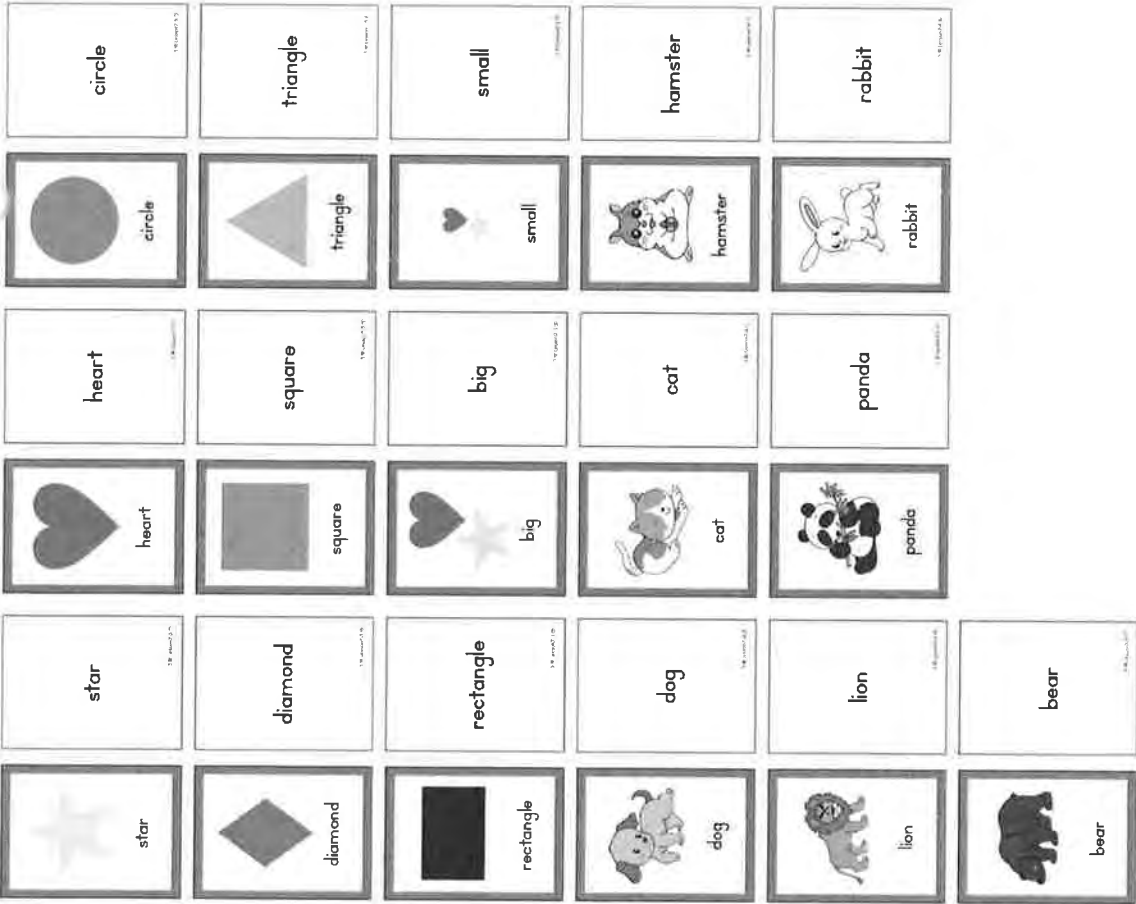
The image displays a set of 48 Japanese language flashcards for Lesson 1, organized in a 4x12 grid. Each card includes a cartoon illustration, a Japanese phrase, and its English translation.

- Row 1:**
 - Card 1: Illustration of a boy and girl. Japanese: どうぞ、おはようございます。 (Dōzo, ohayou gozaimasu.) English: Hello.
 - Card 2: Illustration of a boy and girl. Japanese: こんにちは。 (Konichiwa.) English: Hello.
 - Card 3: Illustration of a boy and girl. Japanese: さようなら。 (Sayonara.) English: Goodbye.
 - Card 4: Illustration of a boy and girl. Japanese: どうぞ、おやすみ。 (Dōzo, oyasumi.) English: Good night.
- Row 2:**
 - Card 5: Illustration of a boy and girl. Japanese: はい、そうです。 (Hai, sou desu.) English: Yes, that's right.
 - Card 6: Illustration of a boy and girl. Japanese: いいえ、違います。 (Iie, chigaimasu.) English: No, that's wrong.
 - Card 7: Illustration of a boy and girl. Japanese: はい、そうです。 (Hai, sou desu.) English: Yes, that's right.
 - Card 8: Illustration of a boy and girl. Japanese: いいえ、違います。 (Iie, chigaimasu.) English: No, that's wrong.
- Row 3:**
 - Card 9: Illustration of a boy and girl. Japanese: はい、そうです。 (Hai, sou desu.) English: Yes, that's right.
 - Card 10: Illustration of a boy and girl. Japanese: いいえ、違います。 (Iie, chigaimasu.) English: No, that's wrong.
 - Card 11: Illustration of a boy and girl. Japanese: はい、そうです。 (Hai, sou desu.) English: Yes, that's right.
 - Card 12: Illustration of a boy and girl. Japanese: いいえ、違います。 (Iie, chigaimasu.) English: No, that's wrong.
- Row 4:**
 - Card 13: Illustration of a boy and girl. Japanese: はい、そうです。 (Hai, sou desu.) English: Yes, that's right.
 - Card 14: Illustration of a boy and girl. Japanese: いいえ、違います。 (Iie, chigaimasu.) English: No, that's wrong.
 - Card 15: Illustration of a boy and girl. Japanese: はい、そうです。 (Hai, sou desu.) English: Yes, that's right.
 - Card 16: Illustration of a boy and girl. Japanese: いいえ、違います。 (Iie, chigaimasu.) English: No, that's wrong.

	apples		bananas		grapes
	peaches		pineapples		strawberries
	basketball		baseball		swimming
	soccer		tag rugby		tennis
	dodgeball		sumo		sushi
	soba		udon		onigiri
	tempura		oden		igo

	shogi		kimono		water
	kendama		ayatori		green tea
	hyakunin-issu		furin		tea
	shogi		kimono		water
	kendama		ayatori		green tea
	hyakunin-issu		furin		tea
	shogi		kimono		water
	kendama		ayatori		green tea
	hyakunin-issu		furin		tea
	shogi		kimono		water
	kendama		ayatori		green tea
	hyakunin-issu		furin		tea
	shogi		kimono		water
	kendama		ayatori		green tea
	hyakunin-issu		furin		tea
	shogi		kimono		water
	kendama		ayatori		green tea
	hyakunin-issu		furin		tea
	shogi		kimono		water
	kendama		ayatori		green tea
	hyakunin-issu		furin		tea
	shogi		kimono		water
	kendama		ayatori		green tea
	hyakunin-issu		furin		tea



6. 教材 (4 年生)

単語フラッシュカード (4年)

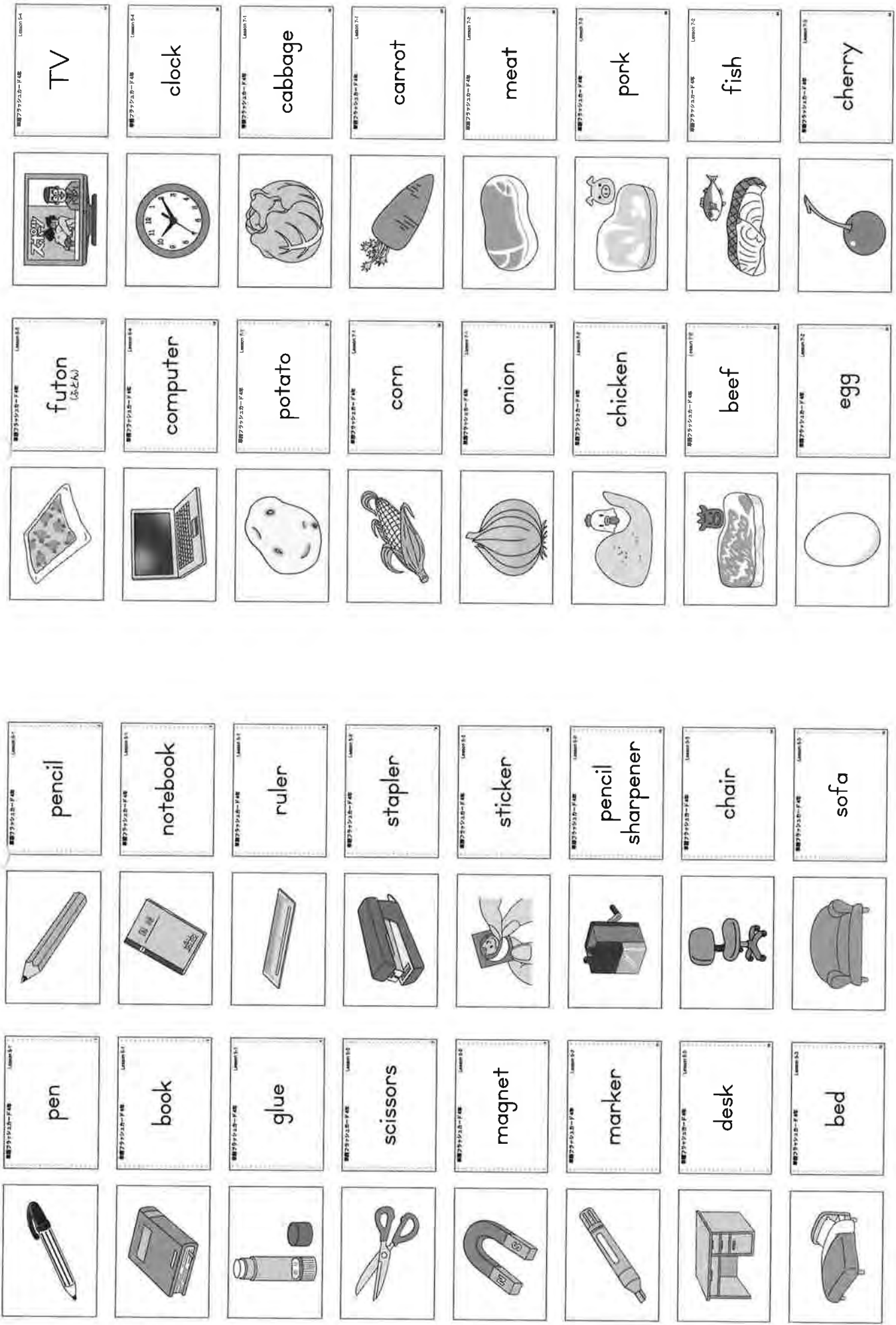
番号	Unit	単語
1	5-1	pen
2		pencil
3		book
4		notebook
5		glue
6	5-2	ruler
7		scissors
8		stapler
9		magnet
10		sticker
11	5-3	marker
12		pencil sharpener
13		desk
14		chair
15		bed
16	5-4	sofa
17		futon(ふとん)
18		TV
19		computer
20		clock
21	7-1	potato
22		cabbage
23		corn
24		carrot
25		onion
26	7-2	meat
27		chicken
28		pork
29		beef
30		fish
31	7-3	egg
32		cherry
33		pineapple
34		peach
35		orange
36		grape
37		kiwi fruit

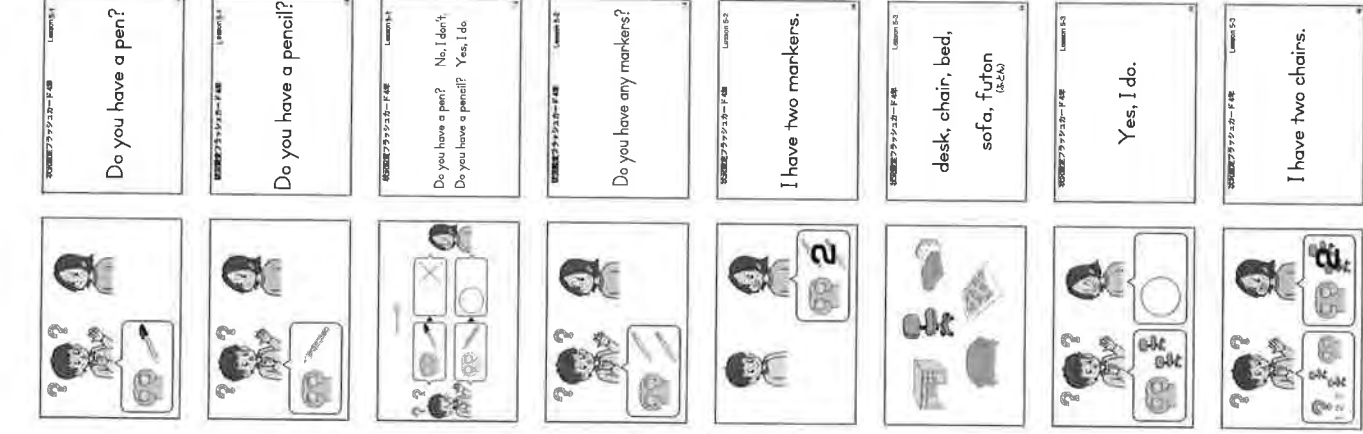
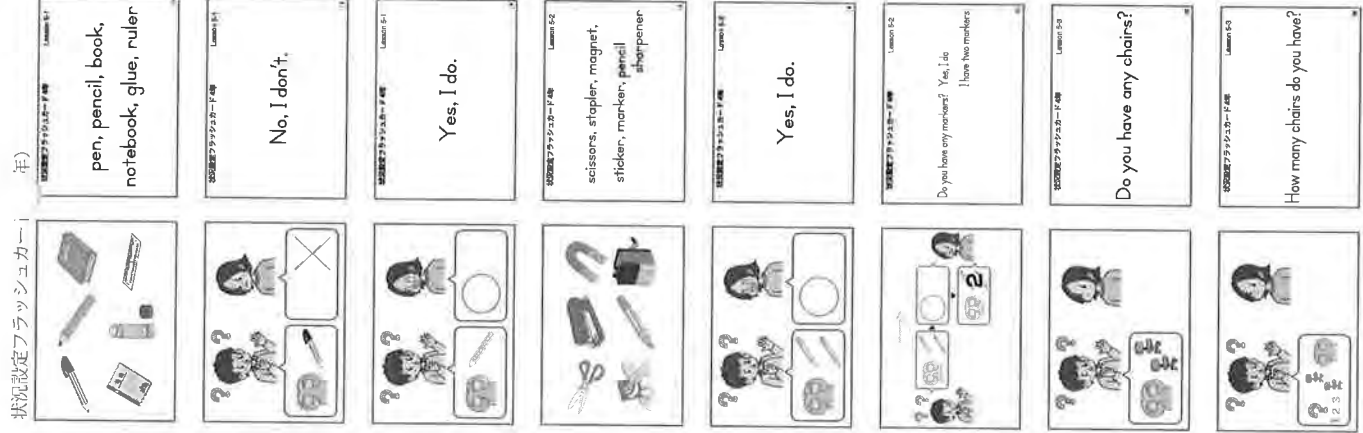
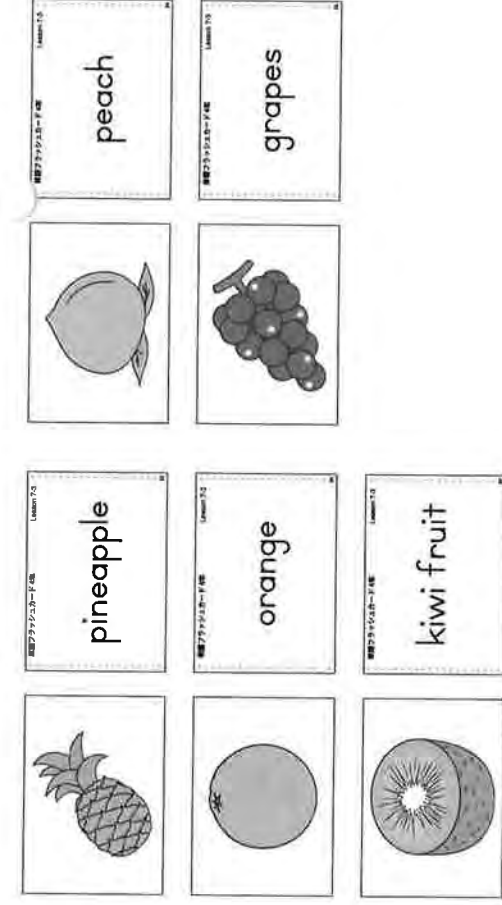
状況設定フラッシュカード (4年)

番号	Unit	ダイアログ
1	5-1	pen, pencil, book, notebook, glue, ruler
2		Do you have a pen?
3		No, I don't.
4		Do you have a pencil?
5		Yes, I do.
6	5-2	ダイアログまとめ
7		scissors, stapler, magnet, sticker, marker, pencil sharpener
8		Do you have any markers?
9		Yes, I do.
10		I have two markers.
11	5-3	ダイアログまとめ
12		desk, chair, bed, sofa, futon(ふとん)
13		Do you have any chairs?
14		Yes, I do.
15		How many chairs do you have?
16	5-4	I have two chairs.
17		ダイアログまとめ
18		TV, computer, clock
19		Do you have any clocks?
20		Yes, I do.
21	7-1	How many clocks do you have?
22		I have two clocks.
23		Two clocks, please.
24		Here you are.
25		Thank you.
26	7-2	ダイアログまとめ
27		potato, cabbage, corn, carrot, onion
28		Do you like pork curry?
29		Yes, I do.
30		Do you want carrots?
31	7-3	No, I don't.
32		Do you want potatoes?
33		Yes, I do.
34		ダイアログまとめ
35		meat, chicken, pork, beef, fish, egg
36	7-4	Do you like pork curry?
37		Yes, I do.
38		Do you want carrots?
39		No, I don't.
40		What do you want?
41	7-5	I want potatoes.
42		ダイアログまとめ
43		cherry, pineapple, peach, orange, grape, kiwi fruit
44		Do you want carrots?
45		No, I don't.
46	7-6	What do you want?
47		I want potatoes.
48		How many do you want?
49		I want two potatoes.
50		ダイアログまとめ

単語かるた (4年)

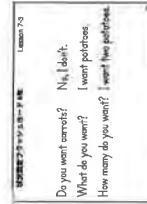
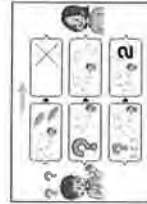
番号	Unit	単語
1	5-1	pen
2		pencil
3		book
4		notebook
5		glue
6	5-2	ruler
7		scissors
8		stapler
9		magnet
10		sticker
11	5-3	marker
12		pencil sharpener
13		desk
14		chair
15		bed
16	5-4	sofa
17		futon(ふとん)
18		TV
19		computer
20		clock
21	7-1	potato
22		cabbage
23		corn
24		carrot
25		onion
26	7-2	meat
27		chicken
28		pork
29		beef
30		fish
31	7-3	egg
32		cherry
33		pineapple
34		peach
35		orange
36		grapes
37		kiwi fruit





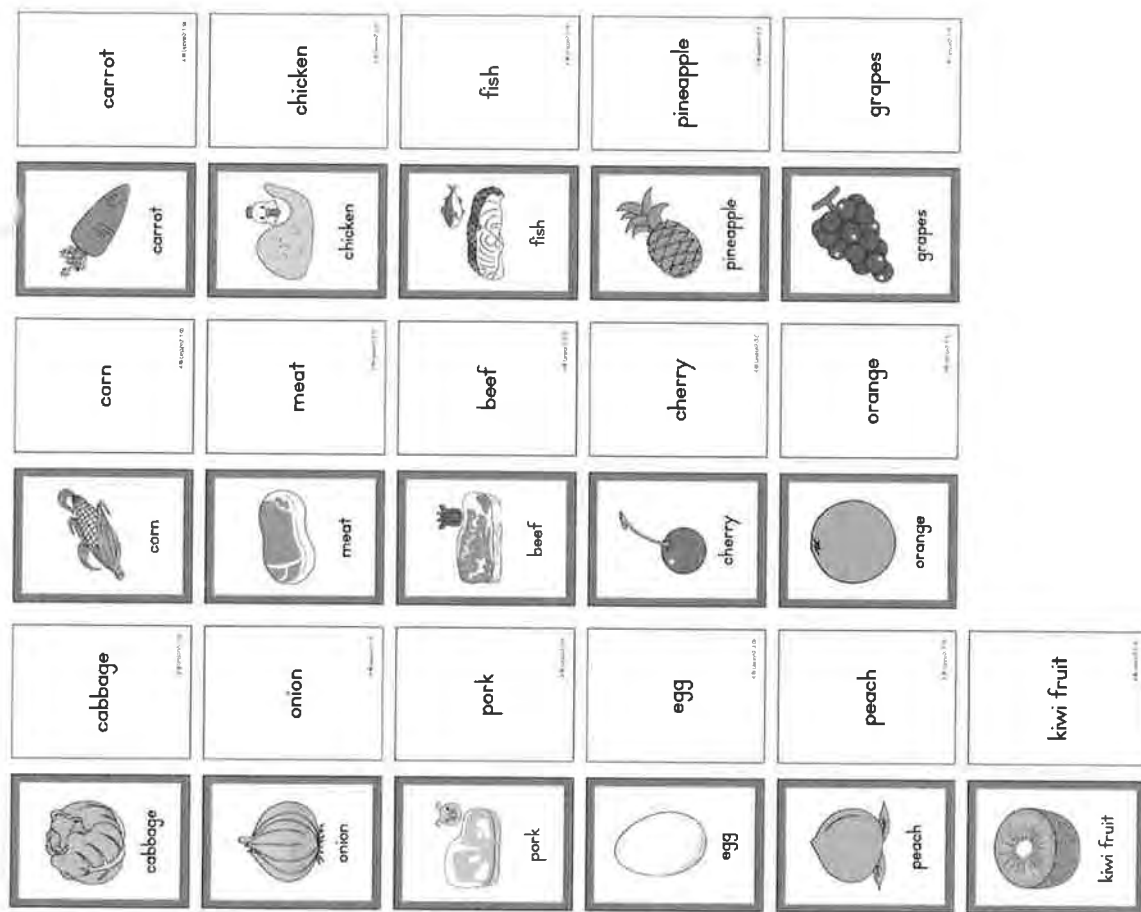
The image displays a collection of 48 flashcards arranged in an 8x6 grid. Each card is designed for language learning and includes a cartoon illustration of a person, a speech bubble, and a specific English sentence. The cards are organized into pairs of lessons, with labels like 'Lesson 1-1' and 'Unit 1-1' at the top. The sentences cover a variety of topics, including food preferences (e.g., 'Do you like pork curry?'), food requests (e.g., 'I want potatoes.'), time-related questions (e.g., 'Do you have any clocks?'), and general inquiries (e.g., 'What do you want?'). The cards are visually appealing with colorful illustrations and clear, legible text.

[illegible]



単語かるた (4年)





**平成 29 年度
教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業 報告書**

平成 30 年 3 月 発行

編集・発行 特定非営利活動法人 TOSS

東京都品川区旗の台 2-4-12 TOSS ビル

TEL:03-5702-5835

FAX:03-5702-2384